

令和2年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業計画
成果目標

令和2年4月1日

那覇市	1	嘉手納町	107
宜野湾市	18	北谷町	111
石垣市	27	北中城村	114
浦添市	35	中城村	119
名護市	42	西原町	123
糸満市	48	与那原町	127
沖縄市	51	南風原町	131
豊見城市	58	渡嘉敷村	139
うるま市	62	座間味村	142
宮古島市	69	粟国村	145
南城市	76	渡名喜村	147
国頭村	80	南大東村	149
大宜味村	83	北大東村	151
東村	86	伊平屋村	154
今帰仁村	87	伊是名村	157
本部町	91	久米島町	160
恩納村	94	八重瀬町	163
宜野座村	95	多良間村	168
金武町	99	竹富町	170
伊江村	101	与那国町	174
読谷村	104		

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	1	観光案内所外国人対応スタッフ等配置事業	H25 ～ R3	外国人観光客への利便性確保を図るため、外国語対応可能なスタッフを配置している観光案内所の運営を支援する。	・英語、中国語、韓国語での観光案内の実施に必要なスタッフ(常勤7名、パート3名)配置等に係る経費を支援する。 ・アンケートの実施等により利用者の満足度及びニーズを把握し、サービスの更なる充実に努め、本市の観光イメージのアップ及び観光誘客を図る。	外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(満足度80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】案内所を利用する外国観光客の多様化するニーズに対応できるよう、アンケート調査を継続して実施し、アンケート結果の内容からニーズの把握を分析し、今後のサービス向上に努める。	【R2成果目標設定の考え方】事業の成果目標として、案内所を利用する外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたと回答した割合を80%以上とした。
1	2	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ R2	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。	迷惑行為に対する指導及び、具体的手法の検討	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数月平均360件以内	【今後のスケジュール】今後も良好な観光地を保つため、巡回指導を続ける。また、関係団体との調整会議を行い、課題解決に向けて具体的手法の検討を行う。	【R2成果目標設定の考え方】昨年度と指導員数が違うため、現在の指導員数に合わせ、今年度の件数を目標値とした。
1	3	バス停上屋整備事業	H24 ～ R3	観光客がバス停で強烈な日差しや風雨を避け快適に利用できるようにするため、バス停上屋を整備する。	バス停上屋の設置工事:1基(設置箇所:おもろまち)	本事業により、整備を行ったバス停上屋について、観光客へのアンケート調査等を実施し、快適にバスを待てるようになったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】R3年度 上屋設置:2基	【R2成果目標設定の考え方】事業の成果目標として、観光客へのアンケート調査等を実施し、「快適にバスを待てるようになった」と回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
1	4	歴史散歩道整備事業	H24 ～ R3	観光客が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。	歴史散歩道の整備:道路整備工事(整備路線:識名4号外2路線)	本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】R3年度 整備工事:識名地域	【R2成果目標設定の考え方】事業の成果目標として、観光客へのアンケート調査等を実施し、歴史を感じて歩くことができた」と回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	5	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	H24 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るとともに、観光地としてふさわしい公園を創出することができるようにするため、トイレ整備、公園の美化(剪定・植栽)等を行う。	観光客の利便性の確保を図るとともに、観光地としてふさわしい公園を創出することができるようにするため、公園の美化(剪定・植栽)等を行う。植栽剪定業務の実施	本事業について、観光客等へのアンケート調査等を実施し、観光地としてふさわしい公園美観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	<p>【R3成果目標】</p> <p>本事業について、観光客等へのアンケート調査等を実施し、トイレが整備されたことにより利便性が確保されたか、観光地としてふさわしい公園美観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <p>R3:トイレ整備工事、植栽剪定業務</p>	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としてふさわしい公園景観であると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	6	福州園再整備事業	H28 ～ R3	観光客を含めた利用者数の増加を図るため、県内唯一の中国式庭園である福州園において、機能強化を行う。	福州園再整備工事(2期)の実施	福州園再整備工事(2期)の完了	<p>【R4成果目標】</p> <p>整備工事完了後1年目の目標を以下のとおりとする。 利用者数:100,000人 【今後のスケジュール】 R3:福州園再整備工事(3期)</p>	【R4成果目標設定の考え方】 開園当初の平成5年度実績を参考値として、後年度効果が発現する成果目標(指標)に利用者数を設定した。 (参考)平成5年度実績 110,882人
1	7	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ R3	観光資源である景観の保護を図るため、県木であるリュウキュウマツへの薬剤注入等により、マツ枯れ予防対策を行う。	リュウキュウマツへの薬剤注入の実施	リュウキュウマツへの薬剤注入の完了	<p>【R4成果目標】</p> <p>予防達成率を90%以上とする。 【今後のスケジュール】 R3:リュウキュウマツへの薬剤注入</p>	【R4成果目標設定の考え方】 枯損木の本数を過去の事業実績を考慮し、予防達成率90%以上の予防を目標と設定した。
1	8	花いっぱい運動推進事業	H24 ～ R3	観光都市として、亜熱帯ならではの魅力的な都市緑化景観を創出するため、観光振興に資する路線沿線を対象に、市民、自治会、学校関係、ボランティア団体へ草花苗の配布を行う。併せて、公共花壇にも年間を通して草花苗の植え付けなどを行い、潤いのある都市空間づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 対象路線沿線の市民、自治会、学校関係、ボランティア団体等へ草花苗の配布数:約13,200鉢 公共花壇の年間管理:4箇所 	本事業により、花壇への植付を行った路線について、観光客へ「観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)」を含めたアンケート調査を実施し、本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>R3年度 13,200鉢、4箇所</p> <p>上記の活動目標を達成し、緑化推進を図ることで、観光振興に資する。</p>	【R2成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客等へのアンケート調査を実施し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じる人の割合を指標として設定した。大多数の観光客がふさわしいと考えられる数値として「80%以上」と設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	9	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ R3	幹線市道や観光地周辺市道の美化(剪定・除草・植栽整備等)を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	・観光に資する路線の街路樹剪定約300本 ・観光に資する路線の除草約20,000㎡ ・久茂地前島線の植栽整備約152㎡	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に道路美化(剪定・除草・植栽整備等)を行い観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	【R2成果目標設定の考え方】 観光地としてふさわしい良好な道路環境及び景観の創出を客観的にはかるため、当該路線について観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じる人の割合を指標にした。大多数の観光客がふさわしいと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
1	10	那覇三大祭り関連事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、那覇市の三大祭りである「那覇ハーリー」「那覇大綱挽」「琉球王朝祭り首里」の開催支援等を行う。	・「那覇ハーリー」事業等の開催支援 ・「那覇大綱挽まつり」の綱製作など事業実施に係る支援 ・「琉球王朝祭り首里」の古式行列等を支援 ・「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」における会場設営・ボランティアスタッフ配置・広報 ・「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」における雑踏警備の実施	・「那覇ハーリー」来場者数:194,000人 ・「那覇大綱挽」来場者数:272,000人 ・「琉球王朝祭り首里」来場者数:48,600人(参考:平成30年度、令和元年度は中止)	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」の開催の支援等を行う。	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	11	観光入込統計調査事業	H28 ～ R3	那覇市における国内観光客の旅行動向を把握し、その結果の活用を図る。	国内観光客を対象に、WEBを用いたアンケート調査及び従来通りの那覇空港においてアンケートを配布し、郵送回収する方法を用いた観光に関する調査を行う。アンケート結果から観光施策全般に対する評価の把握・分析を行い、観光行動等を把握し、本市の観光の実態を明らかにし、今後の観光振興に役立てるための観光統計資料として作成する。	・アンケート調査における回収率25%以上。 ・WEBを利用した新たな調査方法の確立	【今後のスケジュール】 WEB及び郵送回答によるアンケート調査により、宿泊人数、平均泊数、消費額等について年平均伸び率(R元年度とR2年度)を比較し、また全国・沖縄県と比較することで今後の事業のあり方を検証する。 また、新たに行ったWEB調査について検証する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 アンケートの回収件数を確保することで、より正確な旅行者の行動等の内容の把握及び分析を行うことができると考え設定した。 郵送回収に代わる新たな調査方法を確立するため、初めてWEB調査を実施する。
1	13	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ R3	観光誘客を図るため、観光資源である「琉球王朝絵巻行列」の開催支援等を行う。	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数:33,400人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「琉球王朝絵巻行列」の開催支援等を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	14	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ R3	読売巨人軍春季那覇キャンプ及びプロ野球公式戦を実施することで、観光誘客を図る。	・巨人主催試合を「那覇の日」協賛試合として「キャンプ地那覇」をPR活動を実施し、キャンプ誘客を図る。 ・雨天時に対応する屋外ブルペン用大型テントを設置する。 ・屋外ブルペン及びグラウンド等整備し、キャンプ実施支援を行う。 ・奥武山野球場内に選手食堂を整備する。 ・陸上競技場、補助競技場をプロ野球キャンプ仕様に整備作業を行う。 ・来場者と選手の安全確保を行う。 ・公式戦開催に向け主催者の事業費を支援する。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 118,000人 ・プロ野球公式戦 1試合入場者数:13,500人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、読売巨人軍春季那覇キャンプの誘致及びプロ野球公式戦への支援等を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	15	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ R3	読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	・キャンプ期間中ステージイベント等の実施 ・案内施設等の設置 ・運営(インフォメーションブース、受付ブース、選手ケータリングブース、警備員控室、マスコミ控室、スタッフ控室、ゴミ箱の設置、各種案内看板の設置、夜間警備) ・キャンプ休養日警備 ・広報活動の実施	1-12プロ野球キャンプ等支援事業と同様 ・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 118,000人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等の設置を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	16	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ R3	観光客・地元客の誘客を図るため、那覇市国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組を支援する。	那覇市国際通り商店街振興組合連合会のトランジットモール実施を支援 実施回数:35回 過去(下記の実績)の平均値で設定 【実績】 H24:35回 H25:37回 H26:35回 H27:36回 H28:34回 H29:36回 H30:35回	歩行者通行量1日:23,500人	【今後のスケジュール】 引き続き、トランジットモールの実施を支援するとともに、国際通りトランジットモールビジョンに基づき、通りの魅力を強化し、誘客につなげる。	【R2成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	17	一万人のエイサー踊り隊推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、観光資源である「一万人のエイサー踊り隊」の開催支援等を行う。	一万人のエイサー踊り隊の開催支援(8月上旬に開催R2年度で26回目の実施)	来場者数:95,000人	【今後のスケジュール】 引き続き、一万人のエイサー踊り隊の開催を支援する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	R2事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	18	那覇まちまーい推進事業	H24 ～ R3	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」の支援を行う。	「那覇まちまーい」実施に要する費用の支援	参加者数 8,200人	【今後のスケジュール】 今後も(一社)那覇市観光協会が実施する「那覇まちまーい」に要する費用に対する支援を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績及び人気コース継続不可を考慮し、設定した。
1	19	歴史博物館企画展事業	H24 ～ R3	地域の歴史・文化を学べる機会を増やすため、歴史博物館において、沖縄の歴史・文化に特化した企画展を開催する。	・企画展の開催(年4回) ・チラシ及びポスターの作製(年4回) ・資料梱包運搬業務委託(年1回)	来館者数 12,943人 前年度比の1%増で目標設定する。 H30企画展の実績 12,815人 12,815 × 1.01 = 12,943人	【今後のスケジュール】 令和2年～令和3年 那覇・沖縄の歴史文化に関する企画展の開催。 【令和3年成果目標】 前年度比の1%増で目標設定する。 12,943人 × 1.01 = 13,072人	【令和2年成果目標設定の考え方】 H30年から企画展が6回 4回になったため前年度の実績の1%増で目標設定する。
1	20	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ～ R3	那覇市の観光振興に寄与する拠点施設である第一牧志公設市場を再整備することにより、観光客の誘客を図る。 今年度は、仮設市場の賃貸借および必要な商業支援を実施する。	仮設市場賃貸借の実施 商業支援業務等の実施	仮設市場賃貸借の実施 商業支援業務等の完了	【R4成果目標】 供用開始後1年目(令和4年度)の目標を以下のとおりとする。 年間来訪者数目標256万人 【今後のスケジュール】 R2～R3年度 仮設市場での営業、商業支援 R4年度 供用開始予定	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	21	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ R3	市内観光地への観光誘客を促進するため、観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。	・観光プロモーション映像等の放映(毎日9:00～20:00) ・那覇大綱挽等のイベント中継(年8回以上)	視聴者測定システムによる集計数 H30年度視聴者数に過去対年度比の平均値21.7%程度増の19,700人(月平均)	【今後のスケジュール】 大型ビジョンの多用途活用により中心市街地の魅力向上を図り、来街者の増加に継続的に取組む。	【R2成果目標設定の考え方】 これまでの実績値と増加率を基に目標値を設定した。
1	22	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ R3	外国人観光客の受入体制の整備を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援、市街地や周辺店舗・事業所へサポート要員の派遣、語学講座の実施等を行う。	・店舗へのサポート要員の派遣 ・語学講座の開催 ・クルーズ受入に係る事業に対する支援	外国人観光客にアンケートを実施し、受入体制について満足であるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も外国人観光客の受入体制の整備を図るため実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 外国人観光客にアンケートを実施し、受入体制について満足であるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	23	マチグラー総合案内所事業	H26 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街(マチグラー)に、案内所を設置する。	案内所の運営 案内スタッフ 常時1名以上配置 (開所時間9時～20時 年中無休 元旦を除く) 中心商店街(マチグラー)情報の発信 HP、SNS、情報誌制作等	案内所利用者数:23,400人 (H30年度実績 23,127人)	【今後のスケジュール】 引き続き、案内所を運営する。 案内スタッフの配置:常時1名以上 中心商店街(マチグラー)情報の発信	【R2年成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	25	観光イベント等映像発信事業	H24 ～ R3	市内観光地への観光誘客を促進するため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	各イベントに移動式車載大型ビジョンを派遣して那覇市の観光情報を発信	年間稼働数:75回 内訳 ・クルーズ船の那覇港寄港時の歓送迎:26回 ・沖縄国際映画祭:1回 ・那覇ハーリー:3回 ・那覇大綱挽まつり:2回 ・琉球王朝祭り首里:1回 ・那覇マラソン:2回 ・読売巨人軍那覇キャンプ:24回 ・貸出し7回 ・那覇市観光基本計画の推進に資するイベント:9回	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、各イベント会場での情報発信を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24 ～ R3	「那覇市の魚(市魚) マグロ」の消費促進を図るため、漁業組合等のイベントへ助成を行うとともに、民間企業及び組合等への業務委託をし、PR活動を実施する。	・イベント等開催:1回 ・イベント等開催支援:3回 ・水産教室等開催支援:3回	・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持:5,610円以上 ・PRイベント来場者40,480人 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者:107人 ・アンケートを実施し、その結果「マグロが市魚であることを知っているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に漁業組合等へ助成や企業及び組合等への業務委託を行うことで、マグロの消費促進を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ・アンケート調査を実施し、大多数が「マグロが市魚であること」の認知度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24 ～ R3	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁船近代化機器等の設置経費への支援実施:10件	漁業者数 184名	【今後のスケジュール】 今後も継続的に漁船の近代化機械等の整備を支援することで、漁業者数の維持を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	3	外国人漁業研修生受入推進事業	H26 ~ R3	マグロ延縄漁船数の維持及び確保を図るため、市内漁協が実施する外国人漁業研修生受入事業を支援する。	外国人研修生受入:15名	マグロ延縄漁船数 47隻	【今後のスケジュール】 今後も継続的に市内漁協が実施する外国人漁業研修生受入事業を支援することで、マグロ延縄漁船数の維持及び確保を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ~ R3	販路開拓の前段となる商談会への出展して、商談の機会を増やし、商談成約を図る。	・販路拡大支援:6件 (県外4件、海外2件)	商談成約率(商談成約件数/商談件数)が10%以上	【今後のスケジュール】 中小企業者支援の実施 【R3成果目標】 ・商談件数:1,500件 (H24~R3累計) ・商談成約率 10年間平均値:10%以上	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	2	那覇市長賞選定・販売促進支援事業	H24 ~ R3	那覇市長賞を受賞した商品、その他市内事業者の商品を知ってもらい、売上増加に繋げるため、様々な媒体を活用した情報発信等を行う。	・那覇市長賞商品の選定 ・那覇市長賞及び、那覇市長賞受賞商品のPR	市長賞申込件数:17件以上	【今後のスケジュール】 今後も市長賞商品の選定及びPRを展開する。	【令和2年成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	3	民間資金調達促進等ビジネスマッチング事業	H30 ~ R3	中小企業等の資金調達の支援を図るため、市内の起業家等の施策に対し、民間等の資金の投資及びビジネスマッチング等を促す環境等を整備する。	・起業家及び投資家募集、事前審査等 ・支援プログラム実施(マーケティング、資金調達、プレゼンテーション、その他個別メンタリング支援等) ・マッチング業務(出資マッチングイベント開催1回以上、個別マッチング) ・サポート業務(出資契約及びビジネスマッチング後のサポート等)	出資及びビジネスマッチング件数5件以上、又はマッチング率50%以上	【今後のスケジュール】 今後も引き続き創業間もない起業家等の資金調達が促進される環境整備を行なう。成果目標等については事業を進めていく上で適宜見直しを図っていく。	【成果目標設定の考え方】 「ビジネスマッチング率」等も成果指標に入れるべきと判断した。R2年度の成果指標は前年と据え置き(50%)とした
3	4	企業誘致活動サポート事業	H24 ~ R3	本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施する。	・委託事業者の募集、プロポーザル審査、契約 ・意向調査、企業訪問等 ・現地視察ツアー・ビジネスマッチング交流会の実施	誘致企業:3社 ビジネスマッチング参加企業:30社	【今後のスケジュール】 今後も継続的に本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施し、雇用の創出及び経済振興を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ R3	市内中小企業の経営基盤の強化を図るため、各種セミナーや企業の実情に合った制度導入のための専門家派遣を実施する。	海外販路開拓に向けたセミナーを3回開催 経営課題解決に資するセミナーを14回開催 専門家派遣を20社×3回(計60回実施)	セミナーに参加した事業者や専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合を80%以上	【今後のスケジュール】 今後も、市内事業者を対象としたセミナーの実施、企業の実情にあった制度導入のための専門家派遣を実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 事業者へのアンケート調査等を実施し、セミナーへの参加等により経営基盤の強化に役立ったと回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
3	6	頑張るマチグー - 支援事業	H25 ～ R3	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	【補助】 商店街振興組合等が取組み、中心商店街の活性化に向けた事業への支援(20件程度) 【通行量調査】 市内38地点で、歩行者通行量の調査を行なう。 【来街者調査】 市内5カ所で地元客や観光客を対象に来街頻度の聞き取り調査を行なう。	中心商店街の平日歩行者通行量 108,900人	【今後のスケジュール】 引き続き中心商店街で実施するハード整備、誘客活動等の事業支援を行なう。	【R2成果目標設定の考え方】 過去2年間の伸び率の平均値を最新データ(H30年度)に乗じて目標値を設定した。
3	7	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ～ R3	なは産業支援センターに入居する企業等の育成を図るため、相談等の支援を行う。	なは産業支援センターに入居する企業等の育成を図る。	対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に経営課題の相談や指導、セミナー等を実施し、なは産業支援センター入居企業及び市内・県内企業を育成し、産業の振興発展、経済活性化を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、事業者へのアンケート調査を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったと回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
3	8	企業立地促進事業	H28 ～ R3	那覇市における雇用拡大と産業の振興を目的に、市内に事務所等を設置し、一定数・一定期間以上、市民の新規常用雇用を行った企業からの申請に基づき、事業内容、雇用効果、産業振興への効果を総合的に検討し、助成金を交付する。	・市民新規雇用支援 ・市内立地企業への支援	・新規常用雇用者数:24名 ・新規企業立地社(申請者):3社	【今後のスケジュール】 今後も、雇用の創出及び企業の立地促進を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	9	なはし創業・就職ポートセンター運営事業	H24 ～ R3	創業・就職の支援を図るため、創業・就職相談等を行う。	・創業・就職相談実施。 ・創業・就職セミナー開催	相談窓口利用者1,800人 創業者5人以上 就職した人数の割合3.06%以上	【今後のスケジュール】 今後も創業・就職支援の体制づくりを図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績と那覇市創業支援事業計画を勘案して設定した。
3	10	新商品開発支援事業	H29 ～ R3	那覇市の観光・地域資源を活用した商品、サービスの販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品、サービスの企画・開発を支援する。	・支援対象事業者数：5社以上	各事業者が開発した商品件数のうち、目標(販売額等)を達成した割合80%以上	【今後のスケジュール】 商品・サービスの販売・売上計画を立て、販売等を行う。 【R3成果目標】 各事業者が設定した目標(販売額等)を達成した商品等の件数が、開発した商品等の全件数に占める割合80%以上	【R2成果目標設定の考え方】 各事業者において、概ね達成したと考えられる値として設定した。
3	11	小中学生キャリア教育支援	R2 ～ R3	若年層の早期からの職業意識の醸成ならびに職業観及びキャリアデザインの形成を目的に、市内の小中学生を対象に、那覇市で活躍する中小企業の職業人の講話や企業見学・体験を実施する。	・職業人講話実施校2校 ・小中学校の職場体験70名以上	対象児童にアンケートを実施し、職業観や就業意識が上昇したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、職業観の多様化に対応した、職業意識の醸成ならびに職業観及びキャリアデザインの形成に向け取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 アンケート調査を実施し、「職業観や就業意識が上昇した」と回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、大多数の回答者が肯定的であるといえる数値として設定した。
4	1	万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり事業	H29 ～ R3	那覇港において、歓送迎セレモニーを行うことにより、クルーズ船の寄港回数の増加を図る。	地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニーの実施等。	クルーズ船寄港回数 259回	【今後のスケジュール】 引き続き地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニーを実施し、クルーズ船の寄港回数の増加を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 令和元年度の寄港回数見込みと平成30年度伸び率を基に設定した。 255 × 1.016 = 259 【実績】 H29年度 247回 H30年度 251回(101.6%)

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	2	那覇港輸出貨物増大促進事業	H29 ～ R3	沖縄県は地理的要因などから輸送コストが割高となっているため、その解消策として、那覇港に寄港する船社を対象とした実証実験を実施し、取扱貨物量の増加及び航路の拡充を図る。	船社を対象とした実証実験及び検討業務委託の実施。	取扱貨物量の増加を図るため、新規外航航路を開設する。(1航路)	【今後のスケジュール】 引き続き新規航路開設のため、船社を対象とした実証実験を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 取扱貨物量の増加に資する新たな航路を開設する。
5	1	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ～ R3	生涯スポーツのまちづくりを目指し、ウォーキングを通じた市民の健康づくりの推進に向けて、市民に運動を習慣化することの大切さを認識してもらうため、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。	健康ウォーキング大会 1回 ウォーキング講座 5講座	健康ウォーキング大会 参加者 4,500人以上 満足度 90%(参加者アンケート) ウォーキング講座 講座終了後も継続して歩く割合 80%(受講者アンケート)	【今後のスケジュール】 令和2年度～令和3年度 健康ウォーキング大会の開催「健康フェア」との同時開催 開催数:1回/年 ウォーキング大会参加者数:4,500人以上 (参加者人数の定着化) ウォーキング講座の開催 開催数:5講座(20回)/年 講座参加者数:600人 (H26年度からの参加者数維持)	【令和2年成果目標設定の考え方】 ・1～4回大会の参加者が4,000人前後で推移して、5回大会は約4,500人の参加があったが第6回大会は3,500名程度に落ち込んだ。今後は4,500人規模程度を維持できる大会で定着を図りたい。 ・講座については、運動の習慣化が図られたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
6	1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ～ R3	小学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣により学力の向上を図る。	学習支援員配置:36名 学習ボランティア:54名	沖縄県学力到達度調査の県平均との差 小学校算数(3年):2.1ポイント上回る こと 中学校数学(2年):3.1ポイント上回る こと	・学校と教育委員会との連携を充実・強化し、きめ細かな教育環境の提供を図ることで、児童の積極性や学習意欲が向上し、基礎学力の向上を図る。 また、学校教育に精通した退職教員を中心にボランティア確保に努め、学習に遅れのある児童生徒を個別に対応することによって、基礎学力の定着を図り、本人のやる気を導き出せる指導に取り組んでいく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	2	英語指導員配置事業	H24 ～ R3	英語指導員を配置することにより、長期的な英語指導を行い、英語能力の向上を図る。	・英語指導員の配置 小学校(外国人18人、日本人18人) 中学校(外国人10人)	・英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合 62.5%以上(前年度の実績以上)	(事業実施後の効果) R3事業終了後: 英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合 62.5%以上(前年度の実績以上)	【R2成果目標の考え方】 ・英語能力判定テストにおいて英検4級レベルの生徒の割合を前年度実績以上とした。 中学2年の5月に実施し、この時点で4級レベル(2年生修了程度の目安)の実力を持つ生徒の割合を把握し、検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	3	特別支援教育充実事業 (小・中学校)	H24 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒へ、教育相談員の派遣や特別支援教育ヘルパーの配置を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を行う。	・特別支援教育ヘルパー配置:小中学校88人 ・学校の要請による特別支援教育相談員の派遣・教育相談・検査・面談等の実施	特別支援教育ヘルパーの対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育相談員や特別支援教育ヘルパーを配置し、支援を要する児童生徒への継続した支援を行う。	【R2成果目標の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。また、アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。
6	4	特別支援教育充実事業 (認定こども園)	H24 ～ R3	特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、こども園での教育活動上等の困難の改善を図る。	【特別支援教育ヘルパーの配置】 特別な支援を要する園児数に応じて適切な人数を各園へ配置する <ヘルパー配置基準> (1)障がい者手帳1級・療育手帳Aレベル程度 1人に対し1人配置 (2)障がい者手帳2級・療育手帳Bレベル程度 2人に対し1人配置 (3)その他支援を要する幼児 5人に対し1人配置 (配置目途数)教育時間中52人、預かり保育時間中36人 【特別支援教育主任ヘルパーの配置】 障がい者手帳1級又は療育手帳Aレベル相当で、且つ個別支援計画等による支援を特に必要とする園児が在籍する園に配置する(配置目途数)10人 【巡回相談員の派遣】 対象園児の保護者やヘルパー、学級担任等の相談依頼に応じて派遣する(派遣目途数)17園×2回配置基準に沿った適正配置に努める。	特別支援教育のヘルパー対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に実施し、特別支援教育の拡充を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
6	5	発達支援強化事業(乳幼児期)	H27.4 ～ R4.3	発達の気になる乳幼児の就学後の学校生活での不適応行動を少なくするために、小学校就学前の段階から、発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を持つ保護者等の早期把握、早期支援を行う。	親子教室の実施(24回) 育児教室等の実施(25回) 4.5歳児発達相談の実施(28回) 発達支援連携会議の実施(1回)	アンケート調査により市民(保護者)の満足度が80%となる。	【今後のスケジュール】 アンケート調査により事業の内容を検証し、必要に応じ改善しながらR3年度まで支援を継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 概ね肯定的であるといえる数値として80%と設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	6	学力向上に向けた調査研究事業	H25 ~ R3	授業の改善に資するため、学力調査を小学校で実施し、その結果を分析して、教師が指導するに当たっての資料を提供する。	小学校第4学年の、全国での位置づけが判る学力調査の実施により、実態や課題を把握し、結果概要を作成し学力向上の推進を図る。	調査結果を踏まえて、指導方法等、授業の改善に役立ったか(80%以上)を含め、教師へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 那覇市内全36小学校が全国平均を超えることを目指し、また定着を確認するため令和3年度まで毎年実施予定。	【R2成果目標設定の考え方】 成果目標としては、大多数が授業の改善に役立ったと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
6	7	不登校対策等支援事業	H24 ~ R2	不登校など課題のある児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。	心理士等の配置数:9人 きら星学級支援員の配置数:9人 きら星学級事務員の配置数:1人 学習支援員の配置数:3人	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 30%以上 中学校 68%以上	【今後のスケジュール】 不登校児童生徒等の教育相談全般に継続的支援を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 那覇市は全国的に見ても児童生徒の不登校率が高く、その改善が必要である。そのため不登校児童生徒の登校復帰率の向上を目標とする。過去の実績を勘案し、H31年度の目標を据え置いた。
6	8	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24 ~ R2	学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行うことで、不登校の改善を図る。	教育相談支援員の配置率(数) 小学校:100%(36校:36人) 中学校:100%(17校:17人) 生徒サポーターの配置率(数) 中学校:100%(17校×2人)	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 30%以上 中学校 68%以上	【今後のスケジュール】 学校内の相談室において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援を継続的にを行い、学校等の連携を深める。	【R2成果目標設定の考え方】 那覇市は全国的にみても児童生徒の不登校率が高く、その改善が必要である。そのため不登校児童生徒の登校復帰率の向上を目標とする。過去の実績を勘案し、H31年度の目標を据え置いた。
6	9	青少年旗頭事業	H24 ~ R3	伝統文化の保存継承を図るため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を実施する。	・児童生徒へ伝統文化の旗頭演舞指導を実施 ・児童生徒の成果発表の場として旗頭フェスタ開催 ・旗頭の制作及び修繕	旗頭フェスタに参加した児童生徒数: 947人	【今後のスケジュール】 今後も伝統文化の保存継承を図るため「やる気・元気旗頭フェスタinなは」を開催する。	【R2成果目標設定の考え方】 成果目標は過去3年度の実績値の平均の1.05倍で設定した。
6	10	街頭指導(がいとうPolaris)事業	H24 ~ R2	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員を学校外に配置し、巡回指導等を行う。	専任指導員の配置数:6人 青少年指導員の配置数:72人	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 2.45%	【今後のスケジュール】 今後も継続的に巡回指導を行い、問題行動の把握と青少年の非行の早期発見及び早期対応を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 H30年の実績値(2.58)を基準として、5%減に設定した。 (2.58×0.95=2.45)
6	11	児童のスポーツ県外派遣補助金	H24 ~ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒の県外大会派遣支援	児童生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、沖縄の振興に資する人材育成のため、学校教育以外のスポーツ活動で、市・県を代表して派遣される児童生徒に対する支援を継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 保護者へ児童生徒の変化の状況を聞き取ることで検証を行う。80%の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	12	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒の県外大会派遣支援	児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童・生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の県外派遣の補助を継続的に行い、費用の一部を助成することにより、大会への積極的な参加を促す。	【R2成果目標設定の考え方】 保護者へ児童生徒の変化の状況を聞き取ることで検証を行う。80%の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。
6	13	自然教室実施事業	H24 ～ R3	児童の豊かな社会性を育むため、自然体験活動を実施する。	自然体験学習実施学校数:小学校:36校(5年生対象)	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 88.9%以上	【今後のスケジュール】 自然体験活動実施児童数(累計) R3年度まで:26,858人	【R2成果目標設定の考え方】 学校からの実施報告書内でのアンケートにより、児童生徒の変化の状況を聞き取ることで検証を行う。88.9%の設定については、H30年度の結果をもとにその数値以上を目標とした。
6	14	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ～ R3	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装対応を行う。	・校舎等外壁の塗装:中学校1校 ・実施設計:小学校1校	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数:0件 ・外壁の亀裂等件数:0件	【今後のスケジュール】 R3...小学校2校、中学校2校	【R2成果目標設定の考え方】 事業の効果(劣化の抑制状況)を確認するため、学校長及び教育委員会による点検を実施し、事業を実施した建物に剥離や亀裂等生じないこと(0件)を成果目標とした。 過年度に実施した事業については、学校長による点検を実施する。
6	15	教育用ソフト購入事業	H27 ～ R3	教育環境の充実を図り、将来の沖縄振興に資する人材を育成するため、主要教科のデジタル教科書を市内小中学校に配布し、児童生徒の学習能力の向上を図る。	市内小学校における教育用ソフトの導入率:100% 国語・社会・算数・理科・英語	・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率) 小学校算数A:4.0%以上(H28～H30平均:4.0%) 小学校国語A:1.2%以上(H28～H30平均:1.2%)	【成果目標】 R3事業終了後: 全国学力・学習状況調査において小中学校の平均正答率が、全国平均以上を維持する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の結果をもとにその数値以上を目標とした。
7	1	文化芸術ふれあい事業	H24 ～ R3	組踊を題材としたワークショップ等を行い、より深く組踊を理解する機会を創出することで、沖縄伝統芸能の普及継承を図る。	組踊を題材とした担い手育成のためのワークショップの実施、講演会の開催	講演会への来場者 190名以上	【今後のスケジュール】 今後も沖縄伝統芸能に触れる機会の創出を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	2	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24～R2	市民、県民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図るため、新文化芸術発信拠点施設を建設する。 本年度は、施設本体の建設工事等を実施する。	施設本体建設工事 一式 建設工事業務委託(監理) 一式 備品購入業務 一式	施設本体建設工事 3年目完了 建設工事業務委託(監理) 3年目完了 備品購入業務 完了	【R3成果目標】 年間利用者数 延べ20万人 【今後のスケジュール】 R3 開館	【R3成果目標設定の考え方】 施設規模や稼働日数等を想定し設定した。
7	3	市民文化支援事業	H24～R3	那覇市の指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存継承を図る。	本市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存、伝承、普及、後継者育成などに関わる事業に対し補助金を交付する。	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数 12団体(約390名)	【今後のスケジュール】 本市の民俗芸能を保存継承するため、継続的に支援を実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 民俗芸能を保存継承するため、現状を維持することとし、民俗芸能団体数を指標として設定した。
7	4	伝統文化継承種まき事業	H24～R3	沖縄の伝統文化を学習、体験する機会の確保を図るため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣する。	児童が沖縄の伝統文化を学習、体験する機会の確保を図る。	伝統文化を学習・体験した園児数 414人(4こども園)	【今後のスケジュール】 1施設への派遣回数が限られているので、地域の伝統文化に精通する講師や学習・体験する内容を厳選していく。	【R2成果目標設定の考え方】 公立こども園4ヵ所における2歳以上の園児の定員数を目標数値として設定した。
7	5	子どもが輝くまちづくり事業	H24～R3	伝統芸能の保存継承を図るため、「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	「子どもフェスタinなは」の開催を支援し、子ども達の活動発表の場を創出	子どもフェスタ参加児童生徒数:730人	【今後のスケジュール】 今後も伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7	6	なは青年祭補助事業	H29～R3	地域における伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため、青年団体等が日頃の活動の成果を披露する「なは青年祭」の開催を支援する。	「なは青年祭」の開催を支援し、青年団体等の活動発表の場を創出。	「なは青年祭」 演舞団体数 21団体 演舞者数 280人	【今後のスケジュール】 今後も地域における伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため、「なは青年祭」の開催を支援する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8	1	認可外保育施設的环境整備事業	H24～R3	認可外保育施設において、指導監督基準を維持継続し保育環境の向上を図るため、改修整備費の補助を行う。 また、施設の衛生環境の向上を図るため、認可外保育施設の害虫駆除を行う。	改修施設数 1施設 衛生消毒及び防虫駆除実施施設数 約50施設	保育従事者や保護者等を対象に、施設の改修等により保育環境の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に、施設の害虫駆除や改修等により保育環境の質の向上を目指す。	【R2 成果目標設定の考え方】 成果目標としては、大多数の保育従事者や保護者等が保育環境が向上したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	2	児童クラブ賃借料補助金	H24 ～ R3	児童クラブの運営を支援することにより、子供たちが安心・安全な環境で保育を受けることができるようになることで、育児の負担感の軽減を図る。	民間賃貸物件を賃借して活動している放課後児童クラブに対し、賃借料補助を行う。 ・対象放課後児童クラブ数:59クラブ	対象となる児童の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 賃借料補助を行うことで、公的施設で活動している児童クラブとの格差是正、保護者の負担軽減及び利用児童の増加を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8	3	ナノホイク案内人(ナビイ)設置事業(コンシェルジュ設置)	H25 ～ R3	認可外保育所を含めた本市の保育資源の最大活用のために、保育施設情報総合サイトによる情報発信と保育相談をきめ細かに行うための専門的相談員を常駐させることにより、待機児童の解消を図る。	保育施設情報相談員(1名)を設置しての相談対応 保育施設情報総合サイト「ナノホイク」を活用した相談対応	待機児童数の減少割合 3%以上	【今後のスケジュール】 継続して、保育施設情報総合サイト「ナノホイク」を有効に活用し、認可外保育所を含めた保育・教育資源の紹介等の保育相談をきめ細かにを行い、待機児童の解消を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8	4	認可外保育施設・絵本読み聞かせ実施事業	H25 ～ R3	「絵本等読み聞かせ」の定着を図るため、保育従事者に「絵本等読み聞かせ」に関する研修等を行う。	研修実施(年2回) 絵本等配付 一施設あたり約20冊(絵本等とは、絵本、紙芝居も含む)	研修への参加施設数9割以上 保育計画において「絵本の読み聞かせ」を導入した割合 8割以上	【今後のスケジュール】 研修実施に関して、より魅力的で目標達成に効果的な内容を検討する。「絵本等読み聞かせ」の定着を図る目的により保育計画等の導入率を把握し、今後も維持できるよう継続していく。	【R2成果目標設定の考え方】 立入調査で保育計画を確認し、「絵本等読み聞かせ」の導入状況を確認する。認可外保育施設の件数は、年度途中での閉園や認可化移行により変動があるため、割合で設定した。また、読み聞かせ導入率の8割以上については、概ね読み聞かせが実施されているといえる数値として設定した。
8	5	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ R3	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決を資するため、総合相談窓口を設置する。	専任相談員の配置:1名	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も生活課題を抱え、困っている人が気軽に相談でき、早期に支援が受けられるよう相談窓口の体制を継続的に強化する。	【R2成果目標設定の考え方】 生活課題を抱えた相談者が相談したことにより課題の解決に役立ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	6	ボランティア振興事業	H27 ～ R3	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	ボランティア支援員1名配置	ボランティア登録者数(新規)80人 ボランティアのマッチング件数320件	【今後のスケジュール】 ボランティア活動を促すため、今後もボランティア活動のコーディネートを継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 行政の福祉サービス等には該当しない生活課題を地域のボランティア等による相互扶助の構築が求められている。ボランティア事業を促進するため、ボランティア登録者数(新規)及びマッチング件数の値として設定した。
9	1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H24 ～ R3	那覇市と関連が深い国や地域等と結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、研修や沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会を提供する。	・海外の那覇市民会から研修生の受入: 2名 ・沖縄伝統芸能、文化、歴史等を学ぶ機会を提供	受け入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 南米各国の那覇市民会等において、那覇市との懸け橋となる人材育成を図るため、継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定している。
9	2	那覇長崎平和交流事業	H25 ～ R3	平和について理解を深めるため、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に生徒を派遣する等の事業を行う。	・長崎市へ派遣する平和学習派遣生徒を選定:8名 ・沖縄戦を学ぶ事前研修を実施し、長崎市で開催する「青少年ピースフォーラム」へ派遣	参加生徒の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、対象生徒及び保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 戦争の恐ろしさについて理解を深め、平和の尊さを学ぶことにより、平和に対する意識の高揚や次の世代へ継承する人材育成を図るため、継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
10	未来に羽ばたく臨港型都市再開発事業	H24 ~ R3	返還後の土地活用を円滑に進めるための跡地利用計画の策定に向け、計画策定のための条件、課題、手続等の整理、資料の策定や各種調査等を行うとともに、地権者等との合意形成を図る。	跡地利用計画策定に向けた取り組み ・有識者委員会(4回) ・プロセス検討部会(2回) ・庁内検討会議(2回) ・関係機関協議(10回) ・民間事業者懇話会(1回) ・民間参画意向調査(1回:100社) ・地主会意見交換会(5回) ・手順書策定に係る地権者説明会(6回) 地権者等合意形成活動 ・先進地視察(1回) ・地権者向け勉強会(2回) ・地権者向けPRイベント(1回) ・次世代の会定例会(10回) ・地権者向け情報誌発行(2回:3000部発行) ・まちづくりフォーラムの開催準備	跡地利用計画に対する合意形成活動参加者が合意形成活動へ評価すると回答した者の割合(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R2 中南部エリアにおける那覇エリアの位置づけ 整理 R3 那覇軍港周辺エリアのまちづくり基本構想の検討 R4 那覇軍港跡地の開発計画の検討(まちづくり基本構想等の作成)	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の者が満足していると考えられる数値として80%以上を指標に設定した。	
11	救命講座普及啓発推進事業	H24 ~ R2	災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	・定期救命講習会の実施:28回(普通救命講習 /12回、 普通救命講習 /8回、 上級救命講習/4回、 普及員講習/4回) ・出前救命講習会の実施:120回 ・応急手当の重要性及び救命講習に関するPR活動:10回 ・消防署見学における救命講習(入門コース):40回	応急手当講習受講者数:8,000人以上 救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うが(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も目標設定の講習会を継続的に開催し、市民の救命能力の向上を図る。	【R2年度成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 受講者のうち大多数が緊急時に応急手当を実施できると考えられる値として設定した。また、講習会実施後のアンケートにより検証する。	
12	地下壕対策事業	H24 ~ R3	地下壕に起因する事故の危険性を軽減させるため、危険性のある地下壕の埋め戻し等の対策を行う。	・地下壕対策工事(1箇所)の着手	・地下壕対策工事(1箇所)の完了	【R3成果目標】 対策を実施した地下壕での事故発生件数 0件 【今後のスケジュール】 令和3年度 地下壕対策工事完了(2箇所) 地下壕実施設計完了(1箇所)	【R3成果目標設定の考え方】 危険性のある地下壕の対策工事を行うことで、陥没・落盤等の事故や、子供たちの地下壕への侵入による事故の防止に繋がると考え、設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
1		宜野湾市西海岸エリア活性化事業	R2 ~ R3	沖縄西海岸の中心に位置するアクセス性の高い立地を生かして、年間を通じてコンサートや各種イベントを開催し、観光産業の振興を図る。	「琉球海炎祭」、「うたの日コンサート」、「はごろも祭り」、「産業まつり」の開催を支援する。	・琉球海炎祭・・・来場者数1.6万人(うち県外8千人、海外2千人) ・うたの日コンサート・・・来場者数8千人 ・はごろも祭り・・・来場者数16.5万人 カチャーシー大会参加者個人35人、25団体 ・産業まつり・・・来場者数2.5万人 ・海浜公園周辺宿泊施設宿泊者数5%増(H30年度実績:279,874人 目標:294,000人)	【今後のスケジュール】 事業を継続して開催することにより、来場者数の増加を図り、西海岸地域活性化に繋げていく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1		企画展開催事業	H24 ~ R3	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展を開催:2本	企画展1本あたりの平均入館者数:1,470人以上	【今後のスケジュール】 年間2本以上企画展を開催する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1		文化財説明板・標識設置事業	H24 ~ R3	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」を設置する。	文化財に文化財説明板と標識を作成設置する。 地域文化財案内板を自治会事務所等に設置する。	文化財標識・説明板設置件数:2件 地域文化財案内板:5件	【R3成果目標】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加人数 200人以上 【今後のスケジュール】 地域文化財案内板および文化財説明板等を必要な個所に設置する。 そのことにより地域・市民の方々が市の自然・歴史・文化に対する知識と理解が深められる。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1		横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業	H25 ~ R3	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	植樹する花の苗(10,000鉢)	来場者へのアンケート調査による満足度調査80%以上	【今後のスケジュール】 プロ野球キャンプ地としての魅力的な景観形成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の来場者にとって魅力的な景観形成が図られていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量を表したものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30～R3	海浜という立地を活かした公園としての魅力の向上及び誘客の促進を図るため、文化スポーツ施設を中心に宜野湾海浜公園及びその周辺施設の整備を実施する。	建築及び土木工事(1期)の実施	建築及び土木工事(1期)の完了	[R4成果目標] 施設利用者数 611,000人 【今後のスケジュール】 R2: 整備工事 R3: 整備工事	[R4成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。	
1	嘉数高台公園等施設整備事業	H30～R3	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性向上を図るため、公園施設の整備を実施する。	建築及び土木工事(1期)の実施	建築及び土木工事(1期)の完了	[R4成果目標] 戦跡等を活用した観光地としての利便性の向上が図られたか(80%以上)を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R2: 整備工事 R3: 整備工事	[R4成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数が利便性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H30～R3	野球場施設の機能拡張整備を実施し、継続して合宿を受け入れる体制を確保する。	建築工事の実施	建築工事の完了	[R3成果目標] ・プロ野球キャンプ実施件数 1件 ・スポーツ合宿誘致件数 3件 【今後のスケジュール】 R2: 整備工事	[R3成果目標の考え方] 過去の実績を参考に設定した。	
1	博物館機能強化事業	H26～R3	観光振興及び生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である市立博物館の案内板充実など機能強化を実施する。	館内施設整備(空調設備改修工事)	館内施設整備(空調設備改修工事)の完了	【今後のスケジュール】 整備後(R4) ・年間利用者数 24,573人	過去の実績を参考に設定 【実績】 H27: 15,461人 H28: 10,713人 H29: 22,972人 【目標】 過去3年間の平均値(16,382人)を基準値とし、そこから1.5倍向上することを目指して目標値を設定。	

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量を表したもの

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
2		スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ～ R3	スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行動の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	小学校9校に各1名 中学校4校に各2名の計17名の学校配置とセンター内にコーディネーター4名及びアドバイザー1名を配置、学校と連携し寄り添い支援や関係機関につなぐ支援活動を実施	スクールソーシャルワーカー等の支援による不登校児童生徒学校復帰率（「学校復帰、学級復帰、未然防止」に占める「学校復帰」の割合）30%	【今後のスケジュール】 配置されたスクールソーシャルワーカー（学校配置の相談支援員、センター配置のコーディネーター、アドバイザー）の業務分担や役割を整理、強化し学校との連携により児童生徒の支援に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2		適応指導教室事業	H24 ～ R3	児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	適応指導教室支援児童生徒数:8名	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:20%	【今後のスケジュール】 他の適応指導教室との宿泊学習での交流や講師を招いての体験交流会等を行い、集団生活に適応するための意識向上やコミュニケーション能力向上を図るための支援を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2		児童生徒等相談事業	H24 ～ R3	臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、相談等支援をとおして、不登校等の課題の改善に取り組む。	臨床心理士2名と青少年教育相談指導員3名を配置 教育相談等を実施	青少年サポートセンターに通所する児童生徒等のうち、主訴「不登校」とする児童生徒 学校復帰人数 6人	【今後のスケジュール】 配置された臨床心理士と青少年教育相談指導員が、スクールソーシャルワーカーと連携し困り感のある子どもの相談対応をし、問題行動の未然防止や適応指導教室との連携により不登校児童生徒の学校復帰につなげる。	【R2成果目標設定の考え方】 過去3年平均での算出
2		非行防止等巡回活動事業	H24 ～ R3	街頭指導員を配置して夜間街頭指導等を実施し青少年の健全育成に寄与するため関係機関や地域と連携しながら青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。	4中校区から各4名の街頭指導員を計16名委嘱し、4グループを編成 4名1グループが週3回(平日21時～23時)(金・土曜日21時半～23時半)の公園を中心に巡回し夜間街頭指導等を実施	夜間街頭指導件数:526件以下 ・H30年度実績の12%減 (計算式:598×(1-0.12))	【今後のスケジュール】 地域や学校からの情報を活かし、季節に見合う巡回指導を強化することで、青少年の深夜はいかいい、非行防止や事件事故の抑止につなげる。	【R2成果目標設定の考え方】 H30年度の指導件数が前年度比60%の大幅な増となっているため、H27～29年度の平均の減少率を設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量を表したものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	学習支援員活用事業	H24 ～ R3	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	小、中学校において学力の定着に遅れがちな児童生徒に対して、個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 国語：+2.2ポイント以上 算数：+2.0ポイント以上 ・中学校 数学：-1.7ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も、小、中学校において学力の定着に遅れがちな児童生徒に対して、個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	派遣費補助金交付事業	H24 ～ R3	児童生徒の文化及びスポーツ活動を奨励し、県外の人との競争や交流の機会を増やすため、学校教育の一環としての県外派遣を支援する。	県外へ派遣される団体への支援を実施 支援団体数：15団体 (文化活動団体：5団体、スポーツ活動団体：10団体)	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「子どもの視野が広がったと思う」：80%以上	【今後のスケジュール】 R2～R3の支援団体数見込は、概ね30団体(各年度15団体)	【R2成果目標の考え方】 アンケート結果「視野が広がったと思う」80%は、大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。	
2	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ～ R3	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団に加盟している団体又は個人の県外派遣を支援する。	県外へ派遣された団体等への支援を実施する。 支援団体数：65団体	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「子どもの視野が広がったと思う」：80%以上	【今後のスケジュール】 引き続きスポーツ少年団等への支援を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。	
2	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R3	宜野湾市立の幼小中学校における障がい児の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員派遣 (幼稚園：12人、小学校46人、中学校19人)	特別支援教育支援員を宜野湾市立幼小中学校へ77名派遣する。支援員の対応に対して、対象児童・生徒の保護者へ満足度についてアンケートを実施。成果目標としては大多数が満足していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。	【今後のスケジュール】 今後も宜野湾市市立の幼小中学校における障がい児の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量を表したもの

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	文化財保存整備事業	H24～R3	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	野高クシヌカーの保存整備工事と、本部御殿墓の基本実施設計を行う。	野高クシヌカー保存整備工事:1件 本部御殿墓の基本実施設計:1件	【R3成果目標】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加人数 200人以上 【今後のスケジュール】 重要な文化財を景観・安全に配慮した保存整備を行い、文化教育、観光振興につなげる。 野高クシヌカー R2年度:工事完了 R3年度:公開 本部御殿墓 R3年度:工事完了 R4年度:公開	【R2成果目標設定の考え方】 類似の学習会(市文化課主催の文化財教室)等を参考に設定した。	
3	歴史公文書等整理・活用事業	H24～R3	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的に、公文書等の保存及びデータベースへの登録を行い、公開基準を基に順次公開を行う。	・歴史的価値を有する公文書等の整理 ・公開基準に基づいた公文書の順次公開	・アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が80%以上とする。	【今後のスケジュール】 公文書と写真整理を継続して整理を完遂させ、公開できる簿冊等を増やすとともに、歴史公文書の順次公開をすすめていく。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、市の歴史や文化への理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	平和市民啓発事業	H24～R3	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名を派遣する。 沖縄戦から74年余が経過する中で、平和祈念事業を実施し、改めて戦争の悲惨さ・平和の大切さを市民に啓発する。	平和学習派遣事業 平和学習派遣する人数 ・市内中学生: 8名 ・市内青年層: 1名 平和祈念事業 啓発イベント実施回数: 5回	本事業に参加した生徒や市民からアンケートを徴収し (1)「平和に対する理解が深まった。」 (2)「この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う。」と回答する割合:80%以上	【今後のスケジュール】 R2年度同様、市内中学生8名及び市内青年層1名を平和学習に派遣するとともに、派遣後も、市が実施する平和に関するイベントに積極的に関わっていただくことで、さらに市民に戦争の悲惨さや平和の大切さを啓発していく。	啓発事業のため、どのように感じたのかだけでなく、アウトプットについてもアンケート項目に入れ、本事業の効果的な在り方について検証を行う。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量を表したものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		小学校英語教育課程特例校事業	H24～R3	外国人英語指導助手(ALT)及び日本人英語教師(JTE)を小学校に派遣し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	英語教育を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的に英語によるコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指し、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、英語によるコミュニケーション能力の素地を養うとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。	小学1～4年生 英語による質問4項目に対する平均正答率 85%以上 小学5～6年生 小学校児童英語検定において、全国と本市との平均正答率の差 +1.7ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も英語によるコミュニケーション能力の素地を養うとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4		外国人教師招致事業	H24～R3	外国人英語指導助手(ALT)を中学校に派遣し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	本市では、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との英語による実践的コミュニケーション能力の基礎を育むとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・中学校 英語: +1.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も英語による実践的コミュニケーション能力の基礎を育むとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4		学校ICT活用指導支援事業	H24～R3	ICT支援員2名を配置し、ICTを活用する授業の支援、教職員向けの校内研修の実施、ICT機器整備に関する施策・事業計画の作成を行う。	ICT活用主任担当員1名、ICT活用補助員1名配置 情報夏期講習会13回 情報教育研究会検証授業4回	教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合を80%以上を目標とする。 ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童生徒の割合80%以上	【今後のスケジュール】 教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」割合を求め、積極的にICT機器を活用した授業の展開を促進させる。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が理解・習熟していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量を表したものを

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		ICT機器活用推進事業	H31～R2	児童の情報活用能力の育成環境を整備するため、小学校にICT機器を整備する。	指導者用デジタル教科書:国語、社会、算数、理科、音楽、英語	<p>教員にアンケート調査を実施し、授業にICT機器とデジタル教科書を活用して指導できる率:80%以上</p> <p>児童にアンケート調査を実施し、ICT機器とデジタル教科書の活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童の割合:80%以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 教員を対象にした研修会を実施し、ICT機器を活用した情報教育授業を推進する。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、電子黒板等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。</p> <p>事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。</p>
4		宜野湾市中学校短期海外留学派遣事業	R1～R3	本市在住中学生をアメリカ合衆国へ派遣し、国際性豊で将来郷土に尽くす有能な人材を育成するため、海外の生活習慣、文化に接し識見と教養を高め、英語学習の動機付けを図ることを目的とする。	海外での留学の機会を与え、生活体験を通じた異文化理解と英語による実践的コミュニケーション能力の向上を目指す。	<p>留学派遣生徒へ本事業へのアンケート調査による満足度を80%以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 今後も海外での留学の機会を与え、生活体験を通じた異文化理解と英語による実践的コミュニケーション能力の向上を目指す。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量を表したもの
R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	市民防災事業	H27 ～ R3	宜野湾市地域防災計画に基づき食糧、飲料水の備蓄や、自主防災組織の強化を行い、適切な被災者支援を行う。	保存食及び保存水の備蓄 ・R2年度備蓄食糧購入5,500食 ・R2年度保存水購入(500m ³)1,104本 自主防災組織への資機材整備完了(4団体)	保存食及び保存水の備蓄 ・R2年度備蓄食糧 備蓄率97% (H31年度備蓄食糧率75%) ・R2年度保存水 備蓄率10% (H31年度備蓄食糧率0.06%) 資機材を整備することにより、自主防災組織の活動を推進できる団体 ・R2年度自主防災組織活動カバー率 約64%(自主防災組織の活動範囲世帯/全世帯)	【R2成果目標】 ・整備した備蓄食糧及び備品等を活用した防災訓練(1回以上/年)の実施。 【今後のスケジュール】 ・令和3年度までに目標の約2.7万食の備蓄を行ったあとは、保存期限が過ぎた食糧分の備蓄を年次的に行い、常に約2.7万食を備蓄し、大災害に備える。 ・福祉避難所へ簡易トイレを整備する ・市内すべての自治会(23自治会)において自主防災組織の結成を支援し、設立後は資機材整備に係る補助金を交付し、地域の自主防災力の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 ・本事業の目的から、本来災害時の活用状況等を設定すべきであるが、実際に災害が発生しないことには検証が困難なため、防災訓練(1回以上/年)により検証を行うことで、住民及び観光客等の安全確保に繋がると考え、成果目標と設定した。	
6	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ～ R3	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	市民向けの意向醸成イベント等・地権者向けの意見交換会の実施	市民向けの意向醸成イベント 来場者数:100人 地権者向けの意見交換会 参加者:100人	【今後のスケジュール】 今後も普天間飛行場の跡地利用計画の意向醸成・合意形成の推進を図るため、若手の会及びNBミーティングの活動を支援する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
6	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ～ R3	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	跡地利用計画(素案)策定に向けた検討	跡地利用計画(素案)策定に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	【R3成果目標】 跡地利用計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【今後のスケジュール】 R1 配置方針・配置方針図の更新 R2 跡地利用計画(素案)策定へ向けた検討 R3 跡地利用計画(素案)策定	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数から肯定的な評価を得られたと考えられる値として設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量を表したものを

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	被覆資材等導入推進補助事業	H27 ～ H33	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行う。	被覆資材等導入にかかる経費に対して支援し、導入面積率を上げる事で、安定的な農業生産活動を推進する。	被覆資材等導入面積：40,000㎡	【R3成果目標】 被覆資材等を導入したことによる生産上昇率5% 【今後のスケジュール】 台風等の気象災害や害虫による農作物被害を軽減する為、被覆資材等導入にかかる経費に対して支援し、導入面積率を上げる事で、安定的な農業生産活動を推進する。	【R3成果目標設定の考え方】 類似事業を参考に設定した。	
8	地域キャリア教育支援事業	H30 ～ R3	地域の企業、学校、保護者等が連携した連携協議会を開催、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、市内小中学校で職業体験プログラムを実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	・宜野湾市みらいづくり連携協議会の開催(2回) ・市内小中学校全校での職業体験プログラムの実施 ・中学生の職場体験事業所の開拓支援 ・保護者向けキャリア教育講演会の拡大	就業意識の肯定的変化(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。	【今後のスケジュール】 地域ぐるみでの子どもたちのキャリア教育の取り組みが充実したものになるよう、連携協議会の活性化を図っていく。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の意識に肯定的な変化が生じたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
9	市民会館機能強化事業	H30 ～ R2	建設から35年以上が経過し施設の老朽化が進んでいる現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図る。	大ホール・集会場天井落下防止対策工事等【工事】 客席ダウンライトLED化【工事】 舞台機構改修【設計】 バリアフリー対策による客席改修【工事】 駐車場等整備【設計】	【今後のスケジュール】 R3 舞台機構改修工事 駐車場等整備工事	【施設利用者数】 施設利用者数：59,287人 【公演回数】 施設の強化による利便性の向上により、イベント回数の増を見込み数年後に公演回数の数値を成果目標として設定する。 年間公演数：75回	

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量を表したもの

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	1	観光誘客プロモーション事業	H24 ～ R3	観光地としての知名度向上及び観光誘客を図るため、観光イベントに出展し、プロモーション活動を行う。	・観光誘客PR業務の実施	・PRブース来場者数:1,200人以上 ・撮影ロケ地誘致件数:2件以上	【今後のスケジュール】 観光誘客の年間での平準化を図り、観光需要の安定化を確保する。そのため観光動態調査等による戦略的な誘客事業を推進する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	2	スポーツウェルカム!石垣島!事業	H24 ～ R3	本市で各種スポーツ合宿が開催されることによって島外から競技関係者及び観客等の誘客を図るため、プロスポーツキャンプ等の誘致及び受入環境の整備を行う。	・スポーツ合宿の誘致活動 ・プロ野球チーム等への営業活動 ・スポーツ合宿受入環境の整備 ・プロ野球キャンプ開催に係る案内、広報、警備業務	・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数 8団体以上 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に来場した観客数 20,000人以上	【今後のスケジュール】 運動施設の有効利用、スポーツツーリズムの情報提供や受入が継続できるように来場者と選手に安全で快適な会場を提供する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	3	観光地受入基盤強化事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、観光客歓迎イベントの開催や観光スポット等における受入態勢構築、観光誘客イベントへの支援を行う。	・クルーズ船での来島客を対象とした案内所設置 ・石垣島天文台内の「星空学びの部屋」で案内業務等を実施 ・市民等を対象とした観光に関するシンポジウム開催、観光受入の課題を議論する場の設置 ・観光パンフレットや多言語マップの作成 ・南の島の星まつりへの補助 ・とぅばらーま大会への補助	・クルーズ船での来訪客数:360,583人以上 ・南の島の星まつりへの来場者数:10,000人以上 ・とぅばらーま大会への来場者数:3,300人以上	【今後のスケジュール】 『石垣市観光基本計画』に基づき、観光まちづくりの課題解消と推進施策に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	4	南ぬ島石垣空港観光案内所運営事業	H25 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るため、空港ターミナル内において観光案内所を運営し、観光案内サービスを実施する。	・観光案内サービスの実施	・観光案内によって利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 本市玄関口での観光案内人による接遇力を高めること、また案内所に付加価値を図れるよう推進する。	【R2成果目標設定の考え方】 利用者のうち大多数にとって利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	5	石垣市内文化財環境整備事業	H27 ～ R3	市民が市内にある文化財に触れる機会を確保するとともに、文化財を活用した観光誘客を図るため、指定文化財等の周辺環境を整備し、説明板、案内板等を設置する。	・文化財案内板設置5箇所	・文化財案内板設置完了	【R3成果目標】 地元のエコツーリズム協会が整備完了後の文化財を活用して行う史跡めぐりの実施(年12回以上開催) 【今後のスケジュール】 R3 多言語説明板設置	【R3成果目標設定の考え方】 月1回の開催を想定して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	6	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24 ～ R3	歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、博物館所蔵資料の修復及びデジタル化を行いそれらを展示に活用するとともに、研究に供する。	・所蔵資料の修復及び修復済資料のデジタル化	・新聞資料2点、絵画資料10点の修復及びデジタル化	【R3成果目標】 令和2年度に修復した資料を活用した企画展を開催し、観覧者数250人以上を目指す。 【今後のスケジュール】 所蔵資料のうち、状態の良いものやレファレンスなどの優先度が高いものから年次的に修復・デジタル化を推進し、資料の保存管理を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を助案して設定した。
1	7	花満開いしがきじま事業	H29 ～ R2	観光地としての魅力的な景観の形成を図るため、観光中心地に植栽を実施する。	・植栽工事の実施	・植栽工事の完了	【R3成果目標】 観光地としての魅力的な景観となっているか(80%以上)を含め、本事業のあり方を観光客を対象としたアンケートで検証	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって魅力的な景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	1	旧空港跡地環境影響評価事業	H24 ～ R2	旧石垣空港跡地の有効利用を図るため、土地区画整理事業を実施するために必要な環境影響評価を実施する。	・評価書作成手続きの実施	・評価書手続きの完了(環境影響評価事業の完了)	【R3成果目標】 円滑な土地利用に向けた取組の実施 【今後のスケジュール】 R2 評価書手続	【R3成果目標設定の考え方】 土地区画整理事業の実施など、旧石垣空港跡地の円滑な有効利用に向けた取組の実施につなげることを目標とした。
2	2	新港地区国際クルーズ船寄航誘致支援事業	H24 ～ R2	クルーズ船の寄港増加を図るため、外国船受け入れに必要な保安設備の整備を行う。	・保安設備の整備実施	・保安設備の整備完了(全部完了)	【R3成果目標】 クルーズ船の年間寄港回数 150回以上/年 【今後のスケジュール】 クルーズ船寄港回数の増加する施策を継続して行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を助案して設定した。
2	3	亜熱帯都市公園整備促進事業	H25 ～ R3	市民や観光客等の利便性の確保を図るため、石垣市特有の街区公園の整備を行う。	・宮島公園工事の実施	・宮島公園工事の完了	【R3成果目標】 ・宮島公園 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を公園利用者を対象としたアンケートで検証 【今後のスケジュール】 R3:うぶ公園整備	【R3成果目標設定の考え方】 アンケート対象者のうち大多数にとって利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	4	平久保半島エコロード整備事業	H25 ～ R3	平久保半島の自然をスポーツツーリズムの資源として活用し、観光誘客を図るため、平久保半島エコロードを整備する。	・測量設計の実施	・測量設計の完了	<p>【R5成果目標】 エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン＆ウォーク大会」への参加者数810人以上</p> <p>【今後のスケジュール】 スポーツツーリズム資源としての活用促進に取り組む。</p>	【R5成果目標設定の考え方】 既存大会における現在の最大参加可能人数を勘案して設定した。
2	5	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24 ～ R3	観光施設利用者の利便性を確保するため、便益施設の整備、機能強化を行う。	・底地海水浴場の実施設計 ・平久保灯台駐車場用地の取得	・底地海水浴場の実施設計完了 ・平久保灯台駐車場用地の取得完了	<p>【R4成果目標】 底地海水浴場及び平久保灯台利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R3:底地海水浴場整備工事、平久保灯台駐車場工事</p>	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	6	石垣市中央運動公園リニューアル事業	H27 ～ R3	スポーツを通じた観光誘客を含め、中央運動公園の利活用促進を図るため、中央運動公園のリニューアル整備を行う。	・再整備基本計画の策定完了	・再整備基本計画の策定完了	<p>【R6成果目標】 リニューアル整備後の施設を活用したスポーツ大会等の参加者数13,000人以上/年間</p> <p>【今後のスケジュール】 公園全体の再整備に向けた基礎資料を整理(基本計画・基本設計等)し、各施設の再整備を行っていく。</p>	【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	1	離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ R3	待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島内外からの保育士誘致や島内在住者の保育士資格取得支援等を行う。	・島外保育士の渡航費、転居費等の支援 ・潜在保育士の再就職の支援 ・保育士養成校への支援 ・保育士試験離島開催に係る本部長研修への参加	・保育施設の新規開設による受入可能園児数:98人以上	<p>【今後のスケジュール】 待機児童解消に必要な保育士を確保する。</p>	【R2成果目標設定の考え方】 開園を予定している保育園による受入可能園児数から設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	2	ひとり親家庭生活支援モデル事業	H30 ～ R3	ひとり親世帯の生活状況の改善を図るため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親世帯に対し、各家庭の状況に応じた支援を組み合わせて実施する。	・年間支援対象世帯数:4世帯	・支援開始1年後の自立した世帯の割合:65%以上	【今後のスケジュール】 自立に向けた意欲のあるひとり親家庭の支援を継続して行う。	【R2成果目標設定の考え方】 他自治体の過去の実績を勘案して設定した。
3	3	商店街・中心市街地活性化並びに商工施策基盤づくり事業	H24 ～ R3	本市の中心市街地の活性化として、観光客の回遊性向上を図るため、中心市街地関係者を対象としたワークショップを開催し、誘導看板の作成・設置や回遊体験プログラムの構築等を行う。	・中心市街地関係者(従事者等)を対象としたワークショップ開催 ・誘導サイン、看板等の作成・設置 ・回遊体験プログラムの構築、試験運用(スタンブラリーなどを想定)	・中央通りと銀座通りに訪れる観光客の平均立ち寄り店舗数 ・本事業実施前より5割以上増	【今後のスケジュール】 中心市街地が更なる賑わいを創出できるような施策を継続して行う。	【R2成果目標設定の考え方】 中心市街地の主要ポイントとなる2つの通りの回遊性を高めることができたと考えられる値として設定した。
3	4	ものづくり・マーケティング総合支援事業	H24 ～ R3	本市のものづくり産業に関する販路開拓を図るため、石垣空港からの海外輸出体制の構築、国内外でのPR販促活動、伝統工芸館における展示内容の強化等を行う。	・関税空港活性化運用業務 石垣空港から海外へ物品を輸送するための体制構築(保税蔵置場の設置・運営、利活用促進) ・販路開拓業務 需要調査、特産品の営業活動 ・物産PRイベント業務 物産展等への出展 ・伝統工芸館展示強化業務 工芸館展示ルームのリニューアル ・八重山上布技術者養成事業 八重山上布生産技術の伝承 ・後継者育成制度設計業務 伝統工芸技術習得者の就業に向けた支援制度検討 ・粘土原材料確保業務、広報業務 焼き物に適した粘土の確保、島内で生産した焼き物の販促	・特産品の保税輸出量:1.1トン以上 ・PR催事(離島フェア)における出展ブース来場者数 延べ2,750人以上 ・八重山上布の研修終了者:8人以上	【今後のスケジュール】 特産品やものづくりの更なる振興に資する施策を継続して行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	5	石垣市就労支援事業	H30 ～ R3	本市の将来を担う小中学生の職業観の醸成や就業意識の向上、起業精神の育成のため、職業体験イベント開催等のキャリア教育に取り組む。	・石垣市グッジョブ連携協議会による、小学生向けの職業体験イベントの開催 や中学生向けのキャリア教育セミナープログラムの実施	・「わくわくワーク仕事体験会」来場者数:1,000名以上 ・島内の就業に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証	【今後のスケジュール】 島内での就業意欲が向上する施策を継続して行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち大多数が意欲が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	1	"石垣産の牛"生産推進事業	H24 ~ R3	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛及び肥育牛の増産及び売上増加に向けた支援並びに家畜伝染病対策を行う。	・優良母牛導入補助の実施 ・優良肥育素牛への補助実施 ・石垣牛宣伝活動への補助実施 ・殺虫剤購入費補助の実施 ・靴底消毒の実施(空港、離島ターミナル)	・素牛の年間出荷頭数:6,575頭以上 ・素牛の平均販売額:741千円以上/頭 ・肥育牛の年間出荷頭数:776頭以上 ・肥育牛の年間売上高:1,045百万円以上 ・伝染病等にかかった頭数:0頭	【今後のスケジュール】 石垣産の牛の供給量の増加及び価値向上に向けた施策を継続して行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	2	農水産物プロモーション事業	H27 ~ R2	石垣島産農水産物の認知度向上のため、石垣島産農水産物の情報発信拠点(アンテナレストラン)を設置し、プロモーションを行う。	・石垣島農水産物情報発信拠点施設の設置及び運営企画	・情報発信拠点施設への来場者数2,500人以上	【今後のスケジュール】 石垣島産農水産物の認知度向上に向けた施策を継続して行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	3	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ~ R3	本市に水揚げされた生鮮水産物の販路確保を図るため、石垣市から沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の輸送費を補助する。	・生鮮水産物の空路輸送(沖縄本島)に対する補助	・生鮮水産物の沖縄本島への出荷量:130トン以上	【今後のスケジュール】 島内需要と島外出荷との需給バランスをみながら、沖縄本島への出荷量が更に増加するような支援を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	4	水産振興事業	H24 ~ R3	沖縄ミーバイの生産量の増加を促進するため、沖縄ミーバイ種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。	・沖縄ミーバイ種苗の輸送費支援(種苗輸送数57,000尾)	・沖縄ミーバイ種苗の輸送費支援完了	【R4成果目標】 沖縄ミーバイ出荷量:8,550尾以上 【今後のスケジュール】 ミーバイ生産量の増加に資する支援を継続して行う。	【R4成果目標設定の考え方】 種苗購入予定数と出荷サイズに成長するまでの標準的な歩掛を勘案して設定した。
4	5	石垣島産マグロ類販売力強化支援事業	H30 ~ R2	島産マグロの品質及び価格の向上を図るため、島産マグロの流通に関わる者がブランド向上に向けた情報共有を行う機会を設定する。また、島内外においてPR活動を実施する。	・鮮魚店、流通関係者及び生産者による意見交換会 ・石垣産マグロのPR活動 ・島内ホテル関係者によるマグロ流通に関する勉強会 ・市内飲食店、鮮魚店販促企画	・石垣島産マグロの販売力強化支援業務完了	【R3成果目標】 令和3年度の沖縄本島の市場におけるキハダマグロの平均単価に対する八重山漁協セリ単価の割合:77%以上 【今後のスケジュール】 全国に向け島産マグロの情報を発信	【R3成果目標設定の考え方】 過去のセリ単価を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	1	防災体制整備事業	H24 ～ R3	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、災害時の情報提供手段の確保や住民の避難、災害応急対応等の諸活動の円滑化を推進する仕組みを整備する。	・防災行政無線設備デジタル化移行工事の実施(17基)	・防災行政無線設備デジタル化移行工事の完了(17基)	【R3成果目標】 平時の防災無線放送が確実に伝達されたか(100%)を、防災行政無線等を活用した避難訓練への参加者に対するアンケートで検証 【今後のスケジュール】 整備した防災行政無線等を活用した避難訓練を実施し、災害時の市民や観光客等の安全を確保する。	【R3成果目標設定の考え方】 防災行政無線等を活用した避難訓練への参加者にアンケート調査等を実施し、防災無線が確実に伝達されたか等を検証することで、市民や観光客等の災害時の確実な避難誘導等ができるものと考え設定した。
6	1	児童・生徒派遣費助成事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒並びにその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	・県内外大会等派遣児童生徒支援	・申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答割合80%以上	【今後のスケジュール】 児童・生徒が島外の人との競争や交流の機会を持てるような支援を継続して行う。	【R2成果目標設定の考え方】 派遣された児童生徒のうち大多数が島内ではできない経験をする事ができたと考えられる値として設定した。
6	2	平和推進事業	H24 ～ R3	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。	・児童生徒を対象とした「平和を考える作文」「平和を考える絵画」コンクールの実施 ・広島・長崎への平和大使派遣:4名 ・慰霊祭、平和フォーラム等の開催	・平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、コンクールや催事に参加した児童生徒を対象としたアンケートにより本事業の在り方について検証する ・慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数 延べ740名	【今後のスケジュール】 市民が平和について学ぶ機会をつくる。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が平和に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 参加者数については、過去の実績を勘案して設定した。
6	3	石垣市発達支援システム事業	H28 ～ R3	発達の気になる子を早期に発見し、早期の支援につなげるため、臨床心理士を配置し、乳幼児期から就労までライフステージに応じて、臨床心理士による発達相談等を実施する。	・臨床心理士1名の確保 ・臨床心理士による発達に係る各種相談の実施	乳幼児健診(1歳6か月児・3歳児)等において発達要フォロー児と判断された乳幼児について、1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合:10%以上	【今後のスケジュール】 発達の気になる子の早期発見・早期支援に向け、より多くの保護者が発達相談を受けられる体制の構築を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	4	気になる子のすこやかな学び支援事業	H25 ～ R3	発達支援を必要とする乳幼児や心身の発達に配慮が必要な児童生徒を抱える者の不安軽減を図るため、臨床心理士、子育て相談員を雇用し、必要に応じて各幼児教育施設や学校、関係機関に派遣し、教育相談や子育て相談等を行う。	・臨床心理士2人配置 ・子育て相談員5人配置	・臨床心理士等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方について検証	【今後のスケジュール】 支援を要する乳幼児や配慮が必要な児童生徒の支援体制の構築を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 相談・支援を受けた児童生徒の保護者のうち大多数が育児・発達等に対する不安が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	5	「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、学校教育支援員の配置及び、学力先進地域より講師を招聘し教員を対象とした研修会を開催する。また、英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。	・授業時並びに放課後学習支援(学校教育支援員配置数32名) ・外国語活動と英語指導支援(外国語学習支援員配置数:小学校4名、中学校2名) ・学力先進地域交流招聘実施(学力先進地域交流研修会:招聘3名)	・沖縄県到達度調査の全体平均正答率:小学校60%以上、中学校50%以上 ・英語への興味・関心が向上したと回答をした児童生徒の割合(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 決め細やかな学習支援による学力の向上及び英語に対する興味・関心の向上を図る取組を継続して行う。	【R2成果目標設定の考え方】 平均正答率は、過去の実績を勘案して設定した。 外国語活動については、児童生徒のうち大多数が英語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。
6	6	情報教育充実事業	H24 ～ R3	ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。	・学校ICT支援員の配置:4名 ・教職員研修会の実施(定期研修会7回/年)	・ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	【今後のスケジュール】 ICT利活用に関する研修会等を実施し、教員の指導力向上と教科におけるICT活用の定着を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	7	専門人材育成事業	H28 ～ R3	島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	・一般、教職教養、専門教科試験対策講座の開催	・小学校での教員採用試験合格者数:9人以上 ・中学校での教員採用試験合格者数:4人以上 ・受講することで有効な試験対策ができたか(80%以上)を含め、受講者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 教員採用試験対策講座を継続して実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 対象者のうち大多数にとって有効な試験対策ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	8	姉妹都市カウアイ郡中学生派遣事業	H27 ～ R3	国際交流を通して児童生徒の視野を広げるため、姉妹都市ハワイ州カウアイ郡へ市内の中学生を派遣する。	・中学生のカウアイ郡派遣3名の実施	・国際交流を通して生徒の国際的な視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・市内の生徒が、本事業による派遣・交流の報告書を見て英語や外国に以前より興味を持ったか(80%以上)を含め、市内の生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の視野を広げるための姉妹都市への派遣を継続して行う。	【R2成果目標設定の考え方】 派遣された生徒のうち大多数が視野が広がり、事業報告書を見た生徒のうち大多数が英語や外国語に以前より興味を持ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	9		スポーツ教室・交流事業	R1 ～ R3	市民が様々なスポーツに触れる機会を創出するため、トップアスリートによる講演会、指導者講習会、スポーツ教室を実施する。また、スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野を広げるため、県外市町村とのスポーツ交流を実施する。	・トップアスリートによる講演、指導者講習会、スポーツ教室の実施 ・県外市町村とのスポーツ交流の実施	・トップアスリートによる講演会、指導者育成講習会、スポーツ教室の参加者数：延べ320名以上 ・指導者講習会を通じて指導力の向上につながったか(80%以上)を含め、参加者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、参加した本市児童生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 市民のスポーツへの参画を促進する。また、児童生徒の視野を広げるため、県外の同世代の児童生徒との交流を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 参加者数については、定員数を考慮し設定した。 対象者のうち大多数が、指導力の向上につながった、または視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	10		石垣市小学生・中学生教育交流事業	H28 ～ R3	異文化に触れることで児童生徒の視野を広げるため、台湾蘇澳鎮の小学生中学生及び岩手県北上市の中学生と相互教育交流を実施する。	・台湾蘇澳鎮との教育交流(受入・派遣) ・岩手県北上市との教育交流(受入・派遣)	・異文化に触れることで交流した児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した児童生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の視野を広げるための教育交流を継続して行う。	【R2成果目標設定の考え方】 参加児童生徒のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	11		不登校対策等支援員配置モデル事業	H30 ～ R3	児童生徒の不登校未然防止及び不登校児童生徒の復学を図るため、市内の小・中学校にスクールライフサポーターを配置し、児童生徒の学校生活支援や不登校児童生徒の復学支援を行う。	・スクールライフサポーターの配置：2名 ・学校生活支援、復学支援の実施	・スクールライフサポーターを配置したモデル校の不登校率： 小学校1.35%以下 中学校6.8%以下	【今後のスケジュール】 不登校の児童生徒に対応した支援を行うため、スクールライフサポーターの配置を継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	12		子ども若者総合相談支援事業	R1 ～ R3	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者の困難の解消を図るため、子ども若者相談窓口を設置、ユースアドバイザーを配置し、相談受付及び支援を実施する。	・ユースアドバイザーの配置：4名 ・相談窓口の設置 ・相談・支援業務の実施	・本事業で支援を受けた者の数30名以上 ・支援を受けた者のうち、本事業の支援によって支援を要しない状態となった者の割合：27%以上	【今後のスケジュール】 支援を必要としている子どもや若者が適切な支援を受けられるよう、関係機関との連携を継続して行う。 支援を必要としている児童生徒や若者の相談支援を行うため、ユースアドバイザーの配置を継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7	1		新石垣空港国際線旅客施設強化事業	H27 ～ R3	八重山圏域の戦略的な国際観光拠点として、国際線旅客ターミナルを中型機対応施設として整備することにより、受入態勢の強化を図るため、施設の増改築に係る工事費を補助する。	・建築工事の一部実施の補助	・建築工事の一部実施の補助完了	【R4成果目標】 国際線旅客数 106,400人以上 【今後のスケジュール】 R3年度：建築工事(外溝工事等)	【R4成果目標設定の考え方】 ・数値目標について 国際線の就航便数、機材及び搭乗率を踏まえ設定。

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」事業	H24～R3	観光誘客及び地域住民の健康意識の向上を図るため、ウォーキングイベント「てだこウォーク」を開催する。	・てだこウォーク(てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」)の開催 ・プロポーザル公募による大会プロモーション及びイベントの実施 ・歴史ガイドによる史跡紹介	市外からの参加者:3,430名 市内からの参加者:4,030名	【今後のスケジュール】 引き続きてだこウォークを開催し、観光誘客及び住民の健康意識の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	ありんくりんクリーン事業	H24～R3	史跡浦添城跡などの古城跡や中頭方西海道及び普天満参詣道などの歴史の道、石橋、歴史上の人物の墓などのほか、地域の御嶽や湧水等を観光資源として活用するために、それらの文化財の環境整備を図る。	・文化財の清掃:1箇所 ・文化財の除草等環境整備:11箇所	魅力的な観光地としての景観形成を図れたか(80%以上)を含め、見学者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に清掃や除草等環境整備を行い観光地としての魅力向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	歴史・文化ガイダンス強化事業	H25～R3	歴史文化の継承と観光誘客を図るため、市内の歴史・文化ガイダンス施設へガイドを配置する。また、各施設で配布する文化財案内ガイドブックを作成する。	市内ガイダンス施設へのガイド配置:2名/315日 文化財ガイドブックの作成:10,000部	ガイダンス施設入館者数:15,560名以上/年 文化財ガイドブックの配布:10,000部	【今後のスケジュール】 引き続き観光客の受入体制の強化を実施すると共に、文化財案内の充実化を推進する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績とモノレール開通など新たなニーズの見込みを勘案して設定する。	
2	てだこ市民によるウラボイ風景づくり推進事業	H24～R3	観光地としての魅力向上及び、地域文化継承を図るため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生に向けた各種取り組みを行う。	景観計画委託業務の完了 風景づくり推進調査業務による計画策定に向けた検討等(シンボルロード、都市モノ沿線地区等) 補助工事の完了 風景づくり推進のためのまちなみ景観支援を修景するための支援(例)赤瓦、琉球石灰岩を使用した石張り工事に対する支援 地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援(例)浦添グスク、ようどれ探索、カヌー体験教室等	風景づくり推進調査業務の完了 補助工事15件 ・赤瓦葺き工事:5件 ・石積み、石張り等の工事:5件 ・生垣等の工事:5件 地域の歴史や文化に対する興味、関心度の確認(80%以上)を参加者に対し、アンケートを実施するとともに本事業のあり方の検証も行う。	【R3成果目標】 魅力的なまちなみ景観形成の取り組みを実感できる(80%以上)内容を含め、観光客及び市民等を対象にアンケートを行い、本事業のあり方について、検証を行う。 【今後のスケジュール】 R2～R3 ・地域における景観向上に関する計画等の策定。 ・地域における景観向上を図るための景観修景支援。 ・地域景観資源を活用したまちづくり活動の支援。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の参加者が地域の歴史文化に興味、関心をいざいざ確認できる数値として、80%以上を設定している。また、本事業のあり方については、アンケートにより検証を行う 【R3成果目標設定の考え方】 魅力的なまちなみ景観形成の取り組みに対する評価を客観的に図るため、当該取り組みを実感できる人の割合を指標に設定している。また、本事業のあり方については、アンケートにより検証を行う。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	地域資源復元推進事業	H24 ～ R3	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進することにより、文化・観光の振興を図る。そのために、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルート整備を行う。 令和2年度は市指定史跡「仲間火又神」の復元整備工事を行う。	仲間火又神の復元整備工事	仲間火又神の復元整備完了	【R3成果目標】 仲間火又神を活用したイベントへの参加人数 290名以上/年 【今後のスケジュール】 R3: 仲間火又神供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 類似のイベント等を参考に設定した。	
3	悠々ロマン漆とアートに出会うまち浦添推進事業	H24 ～ R3	市民への文化の継承と観光振興を図るため、琉球漆器の歴史や文化等を紹介する市美術館において常設展や講座等を実施する。	・常設展 ・企画展 ・広報宣伝体験事業 ・美術作品購入・修復事業	常設展観覧者数:4,360人以上/年	【今後のスケジュール】 ・市内の文化施設等を活用し、周遊する仕組みをつくる。 ・アンケートを活用し、来館者の満足度を分析、リピーター獲得や観光誘客の効果的な広報に取り組む。 ・美術作品購入と修復に重点を置き、収蔵品の充実化と展示公開を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	島桑オジー & オバーで観光・産業・街おこしプロジェクト	H24 ～ R3	浦添市の特産品である沖縄在来種のシマグワ関連商品の販売額の増加を図るため、シマグワの栽培、加工、商品開発・製造、販売等を行う。	・桑の栽培 ・商品製造 ・商品開発 ・販売促進	桑関連事業売上目標:30,000千円	【今後のスケジュール】 桑の生産量については、概ね目標値に近づくことが出来たため、今後は商品開発や販売促進に比重を置き事業を展開する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	浦添市農業フェスタ支援事業	H24 ～ R3	市民や観光客等へ市産品の認知向上を図るため、浦添市産の農作物を紹介するためにJAおきなわ浦添支店が開催する農協まつりへ支援を行う。	農協まつり開催支援 (支援概要) ・会場設営費 ・広告費 ・イベント費	農協まつり来場者数:4,100人以上	【今後のスケジュール】 まつり内容を改善し、来場者数を増やし市産品の周知拡大を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	浦添観光振興事業	H29 ～ R3	観光誘客を図るため、観光ポータルサイトの活用等により市の観光資源の情報発信を行う。また観光客のニーズ把握及び情報収集の利便性向上を図るため、実態調査や公衆無線LAN環境を整備する。	<p>【浦添観光振興業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 浦添PR(Web)120件、市内シェアサイクルの活用 プロ野球キャンプファン誘客イベント2回 <p>【観光設備整備業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi環境の整備、データ分析1回 <p>【観光客実態調査業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> スクリーニング調査1回 	ポータルサイト訪問者数683,000以上 プロ野球春季キャンプファン誘客34,000人以上 マーケティング戦略の策定	【今後のスケジュール】 マーケティング戦略に基づき、ポータルサイトを活用した観光コンテンツの情報発信やプロ野球春季キャンプへの誘客を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
5	災害時備蓄食料及び保管倉庫等整備事業	R1 ～ R3	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、未整備の避難所に備蓄倉庫を設置し、備蓄米、飲料水及び災害用備品等を配備する。	備蓄食料及び災害用備品等の配備 ・JICA ・指定避難所等31カ所	備蓄食料及び災害用備品等の配備完了 ・JICA ・指定避難所等31カ所	【今後のスケジュール】 今後新たに避難所が追加された場合、該当箇所へ防災倉庫を設置し、避難所生活における必要最低限の備品や消耗品を整備する。 【R3成果目標】 整備した備蓄食糧及び備品等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	【R3成果目標設定の考え方】 整備した食糧及び備品等を活用した避難訓練の実施、検証を行うことで住民の安全確保に資すると考え成果目標として設定した。	
6	那覇港輸出貨物増大促進事業	H29 ～ R3	沖縄県は地理的要因などから輸送コストが割高となっているため、その解消策として、那覇港に寄港する船社を対象とした実証実験を実施し、取扱貨物量の増加及び航路の拡充を図る。	船社を対象とした実証実験及び検討業務委託の実施。	取扱貨物量の増加を図るため、新規外航航路を開設する。(1航路)	【今後のスケジュール】 引き続き新規航路開設のため、船社を対象とした実証実験を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 取扱貨物量の増加に資する新たな航路を開設する。	
6	万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり事業	H29 ～ R3	那覇港において、歓送迎セレモニーを行うことにより、クルーズ船の寄港回数の増加を図る。	地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニーの実施等。	クルーズ船寄港回数 259回以上/年	【今後のスケジュール】 引き続き地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニーを実施し、クルーズ船の寄港回数の増加を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を基に設定した。	

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24～R3	市内在住又は市内小中学校在籍の児童生徒がスポーツ・文化活動の全国大会において、県外生徒との競争や交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、全国大会に参加する児童生徒を対象として、大会開催地までの渡航に必要な経費の一部を支援する。	県外大会等派遣支援の実施	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業の効果を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に派遣支援を実施し、競争や交流を通じて技術向上や健全育成、並びに経済的負担の軽減を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象児童生徒の大多数に効果があったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
8	エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業	H24～R3	児童の豊かな社会性を育むため、市内全11小学校の5年生全員を対象に、農漁村部での2泊3日の宿泊体験学習を行う。	・農村部での2泊3日の宿泊体験学習 ・市内全11校の5年生1,323人が対象	宿泊体験学習によって児童にプラスの変容があったかを児童自身及び保護者を対象としたアンケート等で検証する。 事業のねらいに沿った5つの質問項目(児童対象)における事業実施後(事業実施後1ヶ月以内)調査において、肯定的な回答児童(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 自然体験活動を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したか(80%以上)を含め、保護者アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R2年度～R3年度 ・本事業終了後の効果的な後続事業の実施方法について調査研究を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 対象児童のキャリア教育の一環として効果があったと考える値として設定した。また、アンケート及び報告書により成果と課題を検証する。 大多数の保護者が、体験後の児童の社会性等の考え方や行動に変化が生じたと考える値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
8	学力等底上げ推進支援事業	H24～R3	児童生徒の学力向上を図るため、各小中学校へ学校教育支援員及び日本語教育支援員を配置し、学習支援を行う。	学校教育支援員 ・小学校 19名(各校1名～2名) ・中学校 9名(各校1名～2名 5校) 日本語教育支援員 ・4名	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする ・小学校:算数 +0.2ポイント以上 ・中学校:数学 +0.2ポイント以上	【今後のスケジュール】 R2年度～R3年度 学校教育支援員・日本語教育支援員の配置 ・学校教育支援員 R1年度からR3年度まで、学校教育支援員を継続配置し、沖縄県学力到達度調査における浦添市と県の差が減少し、小中学校がともに県平均以上になるように学力の底上げを図るとともに、学力の二極化の改善を図る。 ・日本語教育支援員 支援を必要とする児童が小学校を卒業し、中学校の生徒数が増加するため、より計画的な支援を継続していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	課題を抱える児童生徒支援事業	H26～R3	情緒不安やあそび非行傾向等課題を抱える不登校児童生徒へ支援を行うために、各支援員を配置し登校復帰や不登校未然防止を図る。	臨床心理相談員1名 教育相談員6名 青少年相談員6名 自立支援員3名 教育相談支援員16名	不登校児童生徒復帰率 小学校:40.1%以上 中学校:46.5%以上	【今後のスケジュール】 R2～R3:各支援員配置 教育相談の充実とあそび・非行傾向生徒への支援を継続的に実施する。学校配置相談員による効率的・効果的な支援を行うため、学校との連携をより強化する。 事業終期のR3年度において、不登校児童生徒出現率を沖縄県平均以下を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
8	適応教室適応指導員配置事業	H26～R3	不登校児童生徒の学校復帰を図るため、適応指導教室に適応指導員を配置し、個々の状況に応じた学習指導や体験活動、教育相談などの支援活動を行う。	・適応指導教室に適応指導員1名配置 ・適応指導教室入級児童生徒数:5名以上 ・不登校児童生徒保護者交流会の年3回実施	本事業で支援した不登校児童生徒の学校復帰率 100%以上	【今後のスケジュール】 引き続き適応指導員を配置し、支援を必要とする児童生徒に支援を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
8	こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27～R3	学校教育の質の確保を図るため、市内の小中学校にICT機器を整備する。	・市内1小学校及び2中学校へICT機器を整備 【小学校1校・中学校2校】 教育用タブレット端末:42台 電子黒板+PC:普通教室+特別教室	ICT機器を整備した14校の教員にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を授業で活用している」と答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ICT機器を整備した14校の児童生徒にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R3年度:ICT機器2校整備	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の教員が整備した機器を活用していると考えられる数値として80%以上と設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。 大多数の児童生徒にとって授業がわかりやすかったと考えられる数値として80%以上と設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
8	デジタル教科書導入事業	R2～R3	市内小学校へ、指導者用デジタル教科書を導入しICT環境を整備する。	各小学校に、指導書には含まれない指導者用デジタル教材6教科を購入する。	指導用デジタル教科書の活用により「授業がわかりやすかった」とアンケートに回答した児童の割合80%以上	【今後のスケジュール】 R2年度 小学校指導用デジタル教材を導入し、指導方法の工夫・改善を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
9	南米移住者子弟研修生受入事業	H25～R3	戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添出身の子弟を招聘し日本語研修、文化研修等を通して、本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	南米移住者子弟研修生受入:2人 各種研修・交流を実施 ・日本語研修 ・文化研修 ・地域との交流	受け入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 (R3)フォローアップ研修生6人 第7回世界のウチナーンチュ大会に合わせて研修生を招聘し、大会に参加する浦添出身者や県系人、地域や市民とのネットワークを広げる。 (R4)研修生2人 ・本事業の目標 帰国した研修生が移住先国において沖縄文化を受け継ぎ、市人会の発展に寄与。移住先国と浦添市の架け橋として活躍し、ネットワークの強化に貢献。また、市民との交流を通して、地域の国際化及び国際理解の高揚に資する。	【R2成果目標設定の考え方】 招聘した研修生の大多数が沖縄の文化や歴史により興味を持ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
10	浦添市学童っ子応援プロジェクト事業	H24～R3	放課後児童クラブの安定的な運営と保護者の就労を支援する為、家賃補助を行う。	放課後児童クラブへの家賃補助2ヶ所 (補助内容) 家賃と8万円を比較し低い方	安定的な運営となっているか、安心・安全に子どもを預けることができ、就労の支援となっているか(80%以上)を含め、対象となる学童クラブ及び児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証。	【今後のスケジュール】 R3年度 2ヶ所補助/年度	【R2成果目標設定の考え方】 放課後児童クラブの安定的な運営に繋がっているか、また、利用者の大多数が就労の支援となっていると考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
11	浦添市中学生平和交流事業	H25～R3	平和への願いを風化させることなく次代に引き継いでいくため、中学生を対象に平和研修を実施する。研修を修了した者は、「浦添市ピースメッセンジャー」として認定され、壁新聞展などを通して平和伝承の活動を行う。	・事前研修(4回) ・本研修(3泊4日) ・事後研修(研修報告、壁新聞作成) ・日向中学生との交流会(受入) ・浦添市戦没者追悼式 ・事業報告会(浦添市まなびフェスタ) ・ピースメッセンジャー認定:10名	・研修やピースメッセンジャーの活動を通じ、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証。	【今後のスケジュール】 引き続き市内の中学生10人を浦添市中学生平和交流団とし、県内及び県外で平和学習を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 参加生徒の大多数が平和等に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
11	里道及び水路の境界確定復元事業	H24 ～ R3	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、今後の道路整備や緊急時避難路の確保につなげるため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	・里道及び水路の隣接地権者との境界立会による、表示登記 令和2年度における里道の登記済延長7.8km	登記済延長率:93% (R1実施分:8%)	【今後のスケジュール】 今後も継続的に里道及び水路の境界確定・復元を行い、公共用地を適正に管理する。 里道及び水路の目標登記済延長率 R3:100% 【R4成果目標】 公共用地の適正管理に向けた各種施策の実施につなげる。	【R4成果目標設定の考え方】 境界復元・確定の測量中であるため、当該測量後に策定する計画に基づき、施策を実施していくことを成果目標として設定した。	
11	牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24 ～ R3	地主会若手組織の活動体制づくり、地主相互及び地主と行政の連携強化を通して牧港補給地区の跡地利用の円滑な推進を図るため、牧港補給地区地主会若手組織による勉強会等の活動を支援する。	牧港補給地区地主会若手組織による勉強会(年4回)等の活動支援	勉強会への参加者に対して、跡地利用について理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も勉強会を通して跡地利用特措法や土地区画整理事業等に関する法令・制度等への理解を深め、返還を見据え跡地利用計画への提言書とりまとめを支援する。	【R2成果目標設定の考え方】 勉強会に参加した地権者等の大多数が理解が深まっていると考えられる数値として設定した。アンケートの結果を踏まえ本事業のあり方について検証する。	
12	浦添市防犯灯LED化推進事業	H28 ～ R3	二酸化炭素排出量を削減するため、既存防犯灯を消費電力の少ないLEDへ切り替える設置者(自治会)に対して補助金を交付する。	防犯灯をLEDへ切り替えた自治会に対して補助金を交付し、防犯灯350基をLEDへ切り替える。	R2年度中に切り替える防犯灯による二酸化炭素排出量 年30,000kg-CO2の削減 (H29年度からの累計削減量: 320,000kg-CO2/年 (H28年度比))	【今後のスケジュール】 引き続き既存の自治会所有の防犯灯をLEDへ切り替えを図り、二酸化炭素排出量を削減する。 R3年までに自治会所有の防犯灯をLEDに切り替え、R4年の二酸化炭素排出総削減量を約400,000kg-CO2削減する。(H28年比)	【R2成果目標設定の考え方】 切り替え予定の防犯灯の基数からCO2削減量を算定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	学習指導支援者配置事業	H24 ～ R3	市内小中学校に学習指導支援者を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	学習指導支援員19人の配置 対象：主に小学校の算数 主に中学校の数学 学習支援の一環として、ICTを活用した授業準備等を支援に含む 小規模校においては、状況に応じて他教科も支援する。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率(県と市との差) 小学3年生 算数(-4.0以内) 中学2年生 数学(-4.0以内)	【今後のスケジュール】 引き続き学習指導支援者による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査の平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	生徒指導支援者配置事業	H24 ～ R3	生徒指導支援者を配置し、特別な支援を要する不登校及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	市内4小学校、4中学校に生徒指導支援者を配置する。	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 21%	【今後のスケジュール】 引き続き各学校が生徒指導支援者を有効に活用し、不登校及び不登校気味の児童生徒へ個別の支援が効果的に行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ R3	市内小中学校に英語支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	小中学校英語支援員12人を市立小・中学校にシフト配置	学力調査(英語)の正答率 ・小学校5年生:正答率80% ・小学校6年生:正答率80% 沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語: -3ポイント	【今後のスケジュール】 引き続き英語支援員による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査(英語)の平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	中学生海外短期留学派遣事業	H24 ～ R3	中学生を英語圏に短期派遣し、英語に対する興味・関心や実践的なコミュニケーション能力の向上及び国際理解を深める機会を創出する。	派遣生徒選考人数:12人 事前研修会の実施 短期留学の実施 帰国後の研修会及び報告会の実施	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合:100%	【今後のスケジュール】 引き続き派遣留学生のみならず、帰国報告会の実施により、多くの児童生徒の英語への学習意欲の向上に努め、また、応募者数が増加するよう取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	適応指導教室支援員配置事業	H24 ～ R3	適応指導教室へ支援員を配置し、心理的、情緒的要因による不登校児童生徒及び不登校気味の児童生徒に登校復帰のための指導・支援を行う。	適応指導教室へ支援員3名を配置する。	適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合25% 適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合73%	【今後のスケジュール】 引き続き適応指導教室の活動を指導・支援し、適応指導教室に通級する児童生徒の社会適応能力の育成及び学校復帰に資するよう取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
1		名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24～R3	児童生徒が沖縄県外において開催されるスポーツや文化等の大会に参加する際に必要となる派遣費用に補助することで、沖縄県外の人と競争や交流する機会への参加を促進する。	県外で開催される大会等へ派遣する児童生徒への補助金支援	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が県内では出来ない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証。	【今後のスケジュール】引き続き児童生徒に派遣費の補助を実施し、全国におけるスポーツ及び文化の活動・体験による児童生徒の育成に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】対象者のうち大多数が県内では出来ない経験をすることができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		小中一貫教育推進事業	H24～R3	小中一貫教育校「屋我地ひるぎ学園」に非常勤講師を配置し、小中学校において相互乗り入れ授業やチームティーチング(TT)授業等より分かる授業を実践する。	非常勤講師の配置人数:1人	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 小学5年生 算数:県平均以上 中学2年生 数学:+5ポイント以上	【今後のスケジュール】引き続き非常勤講師による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査(算数・数学)の平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
2		ファイターズ・キャンプ支援事業	H24～R3	北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、札幌ドームで名護市PRイベント「名護スペシャルデー」を開催する。	・シャトルバスの運行 ・誘導員の配置 ・名護デーの開催	プロ野球キャンプ時における見学者数 R2年度:29,000人以上 名護市観光統計入込客数 R2年:6,921,142人以上	【今後のスケジュール】平成24年度に事業開始して以来これまでに事故等は発生していないことから、引き続き球場周辺の交通渋滞、事故等の防止に取り組み見学者の安全や利便性を確保する。	【R2成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
2		観光情報インフラ(Wi-Fi)整備事業	H30～R2	観光情報インフラ整備計画に基づき、名護市の市街地を中心とした名護大通り及び周辺通り会を対象にWi-Fi拠点を整備する。	名護市内におけるWi-Fi整備	・Wi-Fi整備完了	【R4成果目標】Wi-Fiが整備されたことにより、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、外国人観光客等に対してアンケートにより本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】Wi-Fi環境を整備することで観光客の利便性の確保する。	【R4成果目標設定の考え方】対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	やがじ地域観光拠点整備事業	H28 ～ R3	やがじ地域の観光地周辺及び観光体験施設の整備を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・オランダ墓物件補償 ・オランダ墓アクセス通路工事の実施 ・塩づくり体験施設用地購入 ・塩づくり体験施設開発許可申請 ・塩づくり体験施設土木工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・オランダ墓物件補償の完了 ・オランダ墓アクセス通路工事の完了 ・塩づくり体験施設用地購入の完了 ・塩づくり体験施設開発許可 ・塩づくり体験施設土木工事の完了 	【R4成果目標】 修学旅行受入数:160校 【今後のスケジュール】 R2年度 <ul style="list-style-type: none"> ・オランダ墓物件補償、通路整備工事(その1) ・塩づくり体験施設用地購入、土木工事 R3年度 <ul style="list-style-type: none"> ・オランダ墓通路整備工事(その2) ・塩づくり体験施設建築工事 	【R4成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
2	名護市地域商業グロウアップ支援事業	R1 ～ R3	名護市特産品の認知度向上を図り、名護ブランドの確立を目的として、県内外での物産展や商談会等への出展を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・物産展：県内外合計3回 ・商談会：県内外合計4回 ・プロモーション活動：7回（物産展・商談会に併せて実施） 	物産展での売上額：1,170千円 商談会での成約件数：2件 物産展等への出展にあたり役立つ支援内容であったか(80%以上)含め、支援を受けた事業者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 パンフレット配布枚数 2,350枚	【今後のスケジュール】 引き続き県内外での物産展・商談会に出展に係る支援を行い市内事業者の強化に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。 対象者のうち大多数が役立つ支援内容であったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	名護市インバウンド受入強化支援事業	R1 ～ R3	インバウンド観光客に対応できる受入体制を構築するため、インバウンド受入先となるモデル事業者のコンサルティングや誘客プロモーション及び事業者向けのセミナーを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルティング：6事業者 ・プロモーション活動：4か国 ・セミナー開催：一式 	インバウンド観光客の受入にあたり役立つ支援内容であったか(80%以上)含め、支援を受けた事業者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【R5成果目標】 インバウンド観光客数:1,560,000人 【今後のスケジュール】 市内の事業者には様々な研修や支援を実施し、インバウンド観光客に対応できる受入体制の強化に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】対象者のうち大多数が県内では出来ない経験をすることができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【R5成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			自転車まちづくり普及事業	R1 ~ R2	健康増進や環境にやさしい交通手段として、自転車の普及や安全運転を啓発するイベントを開催し、サイクルツーリズムを推進する。	自転車普及イベントの開催(3回)	イベント参加者数:72名	【今後のスケジュール】 2年間で安全教育のノウハウをツールドおきなわや沖縄県サイクルツーリズム協会など、自転車関連団体がそのノウハウを蓄積し、自立に向けて取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			21世紀の森公園及び名護漁港エリア活性化事業	H30 ~ R3	名護湾沿岸基本構想において設定した3エリアのうち「21世紀の森公園周辺」及び「名護漁港」エリアを構成する各施設を整備し活性化を図るため、基本計画を策定する。	21世紀の森公園及び名護漁港エリア活性化基本計画の策定	21世紀の森公園及び名護漁港エリア活性化基本計画の策定完了	【R5成果目標】 ・スポーツコンベンション来訪者数:○人 ・公園来訪者の満足度向上の割合:○割 ・名護漁港来訪者数: 人 【今後のスケジュール】 R2 基本計画 R3 実施設計	【R5成果目標設定の考え方】 指標については、基本計画の中で調査・検討し設定する。
3			名護市金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24 ~ R3	金融・情報関連企業の誘致を促進するため、企業向けの広報イベントや誘致活動、学生・市民向けの金融・IT講座を実施する。	・招聘セミナー参加企業:10社/20名 ・県外イベント来場者数:150名 ・高校生・学生・一般市民の金融・IT基礎知識の習得:150名	企業招聘セミナー、沖縄県開催企業誘致県外イベントへ参加した金融・情報通信関連企業のうち名護市へ進出した企業数 2件 金融・情報基礎人材育成講座の参加者:150名	【今後のスケジュール】 金融・情報通信関連企業に対して、企業招聘セミナーなどの広報イベント・誘致活動を実施する。 講座への参加者が増加することで、誘致した企業の求人に対応できる人材の育成する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			優良繁殖雌牛導入事業	H27 ~ R3	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛を導入する際の費用を補助する。	優良母牛導入導入支援:20頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合13%以上	【今後のスケジュール】 白血病などの家畜伝染病の発生リスクを抑制するための対策を県や関係機関と調整しながら実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	救命処置普及強化支援事業	H27 ~ R3	<p>急病や事故、災害等により市民及び観光客が負傷した際の救命体制を確保するため、救命講習会を実施する。また市内全てのコンビニエンスストアへAEDを設置する。</p>	<p>・各種救命講習会開催150回以上、受講者数3,600人以上</p> <p>・まちかど救急ステーションの認定5事業所</p> <p>・市内全てのコンビニエンスストアへのAED設置率100%</p>	<p>適切な応急手当が理解できたか(80%以上)を含め、救命講習会参加者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。</p> <p>まちかど救急ステーション認定事業所:5件以上</p> <p>設置したコンビニエンスストアの従業員へ救命講習会受講を促し、適切な応急手当等が理解できたか(80%以上)を含め、受講後にアンケートを行い本事業のあり方を検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】引き続き各種講習会を開催し、市民半数(約3万人)の救命講習受講を目指す。また、まちかど救急ステーション認定数の増加やコンビニエンスストアAED設置率100%を目標に取り組み安全・安心なまちを実現する。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】対象者のうち大多数が理解できたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。過去の実績を勘案して設定した。</p>	
5	ハブ対策事業	H27 ~ R3	<p>観光客や地域住民からハブ類の目撃情報の提供を受け、目撃箇所周辺にハブ捕獲器を設置し捕獲・駆除する。</p>	<p>ハブ捕獲器の設置総数:500器</p>	<p>捕獲器設置箇所周辺におけるハブ咬傷被害件数:0件</p>	<p>【今後のスケジュール】引き続き捕獲器の設置箇所を増やし、ハブ咬傷被害0件を目指す。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。</p>	
5	環境再生・活用整備事業	H29 ~ R3	<p>喜知留川の集中豪雨による浸水災害防止を図り、地域の自然を活かした教育の場、憩いの場として活用する河川に整備する。</p>	<p>喜知留川拡幅整備に伴う既存橋梁(渡名喜橋)周辺の用地測量と用地取得、物件補償調査と物件補償(ブロック塀、立竹木等)</p>	<p>喜知留川拡幅整備に伴う既存橋梁(渡名喜橋)周辺の用地測量と用地取得、物件補償調査と物件補償(ブロック塀、立竹木等)の完了</p>	<p>【R7の成果目標】環境学習参加数116人</p> <p>【今後のスケジュール】R2:用地取得(用地測量含む)、物件補償(物件補償調査含む) R3:用地取得、物件補償 R4:橋梁整備工事 R5:橋梁整備工事 R6:河川整備工事 R7:供用開始</p>	<p>【R7成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。</p>	
6	名護市自転車まちづくり推進事業	H24 ~ R3	<p>名護市自転車ネットワーク計画に基づき、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、市内の市道に自転車の通行空間となるモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。</p>	<p>自転車指導レーンの整備率:65.7%</p>	<p>令和2年度自転車指導レーン整備延長:430の整備</p> <p>宇座線:200 名護40号線:120 名護42号線:110m</p>	<p>【R4成果目標】温室効果ガス排出量の削減効果: t-CO2</p> <p>【今後のスケジュール】R2年度 整備率:65.7% R3年度 整備率:100% R4年度 まちなか市道部分 全面供用開始</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】H30~R2の交通量調査の結果を踏まえて目標値を設定する。</p>	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	名護市交通不便地域における公共交通実証実験事業	R1 ~ R2	持続可能で安定した公共交通の導入に向けてデマンド型の乗合タクシーやコミュニティバス等の本格導入に向けた実証実験を行う。	実証実験の実施	・地域公共交通検討会議の開催 ・実証実験の評価	【R3成果目標】 利便性の高い公共交通導入に向けた取り組みの確実な実施につなげる。 【今後のスケジュール】 本事業で得られた結果を基に、久志地区のみならず、市内にある他の交通不便地域へ事業展開を行いながら、地域の交通施策の再検討に移行する。	【R3成果目標設定の考え方】 実証実験の結果等を踏まえて、目標利用者数を設定し、久志地区における持続可能で利便性の高い公共交通導入に向けた取り組みの確実な実施につなげる。	
8	スポーツ力向上促進事業	R1 ~ R3	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	スポーツ教室等の開催・・・4回	スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 講習会を受講した参加者(指導者)に対して、指導力が向上したと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【R4成果目標】 市内中学校の運動部への在籍生徒数：1,404名 【今後のスケジュール】 引き続き参加者やスポーツ関係者のニーズに対応した市民参加型のスポーツ教室等の開催をする。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が意識が高まった又は指導力が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
9	幼保連携型総合施設整備事業	R1 ~ R2	働く保護者等の育児負担の軽減及び子育て家庭の孤立化を抑制し、育児不安を軽減するため、二見以北地域の市立幼稚園と保育園を統合し、幼保連携型認定こども園を整備する。	・建築工事 ・機械設備工事 ・電気設備工事 ・厨房設備工事 ・備品購入	・建築工事完了 ・機械設備工事完了 ・電気設備工事完了 ・厨房設備工事完了 ・備品購入完了	【R3成果目標】 ・幼保連携型認定こども園 安心・安全に子どもを預けることができ、就労及び子育てに関する負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、働く保護者等に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・子育て支援室 育児に関する相談や親子の集いの場での交流等によって、育児不安が軽減されたか(80%以上)を含め、利用者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 R2: 整備工事 R3: 供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が子育てに関する負担感又は育児が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	生活感幸(観光)環境づくり事業	H24 ~ R3	観光地としての魅力発信の向上を図るため、各地域の歴史民俗地図を作成する。また、地域の風土、文化、歴史などについて学ぶ市史講座を開催し、受講者による魅力の把握・再発信を促す。	・旧喜屋武村の歴史民俗地図・現況図の作成 ・市史講座の開催(年2回)	・市ホームページ上での歴史民俗地図・現況図へのアクセス数1,650件以上 ・市史講座受講者アンケート「市の歴史・文化への理解が深まったか」に対して「はい」の割合80%以上	【今後のスケジュール】 R3年度:旧摩文仁村の歴史民俗地図・現況図の作成、市史講座開催。	【R2成果目標設定の考え方】 歴史民俗地図のアクセス数については、過去実績を勘案して設定した。市史講座は、大多数の参加者の理解が深まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	沖縄らしい風景づくり事業	H24 ~ R3	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	・重点地区施設実施設計 ・重点地区景観形成への支援((都市景観形成(屋根瓦等の工事)に係る助成金))	・重点地区施設実施設計完了 ・助成金による景観形成整備の完了(5件)	【R3成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R2年度:重点地区施設実施設計、重点地区施設整備工事(3工区)	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	観光地危険生物駆除事業	H25 ~ R3	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	・ハブ捕獲器の設置150基 ・ハブ生息地の調査15ヵ所	・市内における観光客の年間ハブ咬傷被害2件以内	【今後のスケジュール】 R3年度:発生区域の把握、ハブ捕獲器及び注意喚起看板等の設置を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
3	糸満イベント推進事業	H24 ~ R3	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、糸満ふるさと祭りへの支援を行う。	・糸満ふるさと祭りに係る運営費の補助 日程:令和2年8月 会場:糸満漁協北地区 内容:地域伝統芸能、一般団体演舞、県内アーティストステージイベント、市民参加型イベントの開催など	・糸満ふるさと祭り来場者数47,000人	【今後のスケジュール】 イベントの魅力向上や来場者の満足度を高めながら令和3年度まで継続して補助する。	【R2成果目標設定の考え方】 開催場所の糸満漁港北地区では駐車スペースの拡大が困難なことや公共交通の利用手段の少なさから昨年同様とした。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	文化交流・情報発信拠点施設整備事業	H25 ～ R3	観光客のさらなる誘客と訪れる観光客の市内回遊を高めるため、地域の歴史的魅力や文化芸術活動等を内外に発信する文化交流・情報発信拠点施設を整備する。	・本体建設工事 ・工事監理業務 ・展示製作業務	・(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター工事2年目の完了 ・展示製作業務1年目の完了	【R4成果目標】 ・地域発信エリア年間利用者:2.5万人 ・継承体験エリア年間利用者:2.2万人 ・創造発信エリア年間利用者:4万人 【今後のスケジュール】 R3年度:本体建設工事(3年目)完了 R4年度:供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 ・地域発信エリア:同規模の歴史民俗系の博物館の利用者数を参考に設定した。 ・継承体験エリア:市内類似施設の実績を参考に設定した。 ・創造発信エリア:類似規模施設の利用者数を参考に設定した。	
4	確かな学力を育むサポート事業	H24 ～ R3	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不応の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	・市内小中学校に学習指導等支援員を配置し、学習指導等を行う(小学校10校、中学校6校)。	県学力到達度調査の県との差 小学校算数0% 中学校数学-1%	【今後のスケジュール】 各学校の実績・規模に合った学習指導等支援員の適正配置を行い、引き続き学習指導等支援員研修会(年3回程度)も実施。市内全小中学校の学力向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	英語指導事業	H24 ～ R3	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	・市内小中学校に英語指導助手を配置し、英語指導のサポートを行う(小学校4人、中学校3人)。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・中学生 県学力到達度調査の県との差 中学校英語-1%	【今後のスケジュール】 引き続き市内10小学校と6中学校へ英語指導助手を配置。月に2回程度の英語指導助手連絡会を開催し、お互いの指導方法や教材などについて情報交換を行い、授業の工夫改善を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 ・小学生 大多数が興味・関心が高まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・中学生 過去の実績を勘案して設定した。 県学力到達度調査の県との差(過去正答率) 中学校英語H30:-1.7%	
4	適応指導教室設置事業	H25 ～ R3	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	・適応指導教室に人員を配置し、授業支援・登校支援等を行う(主任担当者1人、補助担当者1人、教育相談員2人)。	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率35%	【今後のスケジュール】 適応指導教室へ人員配置(主任担当者、補助担当者、教育相談員)を継続し、心理的・情緒的要因による不登校児童生徒の登校復帰を引き続き支援していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	障害児学習環境づくり事業	H24～R3	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置する。また、認定こども園等他機関との連携や学校での取り組みなどを多方面からの支援が必要であることから、特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	こども園・小学校・中学校に支援ヘルパーを配置し、様々な障害を持つ児童生徒の支援を行う(特別支援教育指導コーディネーター配置(1人)、特別支援教育支援員(こども園・小学校・中学校)配置(38人))。	・対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(85%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 特別支援教育指導コーディネーターによる現場視察や現場職員との情報交換を通して、特別支援教育支援員の適正な人員配置と効果的な支援体制の構築を図る。 各園・学校の特別支援コーディネーターや特別支援教育支援員への研修会を年3回実施し、支援の充実を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別支援員の対応への満足度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	情報教育環境づくり事業	H25～R3	学校のICT環境整備を行うことでパソコン及び電子黒板等を活用し、より分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図るため、情報教育支援員を派遣する。	小学校・中学校に情報教育支援員を巡回させ、情報教育の充実を図る(情報教育支援員の配置(1人))。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 情報教育支援員の配置を継続し、市内小中学校のコンピュータ整備及びクラス数の増加等に応じた電子黒板等整備を計画的に行う。また、教員のICT活用向上のために、情報教育研修会の開催・授業支援のあり方については教員の補助等に努め、自立した授業が行えるよう取り組んでいく。	【R2成果目標設定の考え方】 ・児童生徒の大多数がわかりやすい授業の展開が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・教員の大多数がICT機器を活用した授業の展開するための技術の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	運動公園・体育施設機能強化事業	H24～R3	スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・西崎運動公園芝生年間管理業務 ・西崎陸上競技場有効活用整備工事 ・陸上競技場備品購入	・合宿誘致件数13件	【今後のスケジュール】 現在受入している合宿誘致数を施設整備することにより増加させる。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
6	母子生活支援モデル事業	H29～R3	ひとり親家庭の子ども達の心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・ひとり親家庭の自立に向けた支援	・支援終了者のうち自立につながった割合100%	【今後のスケジュール】 自立の意欲が高いひとり親家庭に対し、安定した住環境を提供するとともに、ニーズに即した一体的な取組みの展開により、きめ細かい支援を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 当該事業の実績(H29年度～R1年度)に基づき設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	Kozaフィルムオフィス事業	H24 ～ R3	映画やドラマ等の誘致活動や撮影支援を行い、撮影件数の増加を図る。	・誘致活動(3回) ・撮影支援(12ヵ月)	・撮影件数81件	【今後のスケジュール】 引き続き撮影誘致及び撮影サポートに取り組むとともに、関連団体とのネットワークの形成・強化に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	音楽資源活用事業	H24 ～ R3	沖縄民謡や戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な音楽資源の展示や音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	・音楽資料の常設展示 ・企画展の開催(3回) ・音楽イベント等の開催(1回)	観光客来館者数:3,800人	【今後のスケジュール】 各年代の方に興味をもってもらえるようなジャンルの展示に取り組むとともに、HPやFacebookを利用したWEB告知を実施し、観光客の誘客を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	音楽観光誘客事業	H24 ～ R3	音楽イベントの開催やライブハウスなどの音楽情報を発信することで、観光客の誘客を図る。	・音楽情報の発信(10月～12月) ・音楽イベント等の開催(3回)	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:53,000人	【今後のスケジュール】 音楽情報の発信やおきなわ音楽月間を開催し、観光客の誘客を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	文化活動拠点施設機能強化事業	H24 ～ R3	文化の振興および観光誘客の拡大を図るため、伝統芸能や演劇に加え、県外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される文化活動拠点施設の舞台機構、照明など、設備の機能充実を図る。	・沖縄市民小劇場あしびなー照明設備機器改修工事	・沖縄市民小劇場あしびなー照明設備機器改修工事の完了	【R3成果目標】 施設稼働率77% 【今後のスケジュール】 照明改修工事を進めていく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	国際交流事業	H24 ～ R3	多国籍住民の相談窓口の開設を実施し、生活上等の困難の改善を図る。 また、市民等に語学講座や交流会等を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	・多言語相談(週6日) ・多言語語学講座(週3回) ・多国籍住民等との交流会	来所者数8,500人 生活上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、相談者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後多言語相談を実施し、生活上等の困難の改善を図る。 今後多言語語学講座、多国籍住民等との交流会を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 相談者のうち大多数が生活上の困難の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートのより検証する。	
1	エイサーのまち推進事業	H24 ～ R3	エイサーのPRや振興を通して、観光客の誘客の拡大を図る。	・エイサーのまちPR事業 ・エイサーステッカー製作 ・エイサーリーフレット製作 ・街中へのエイサーパーナ等設置 ・沖縄全島エイサーまつり事業 ・シャトルバス運行 ・エイサーまつり空間演出業務 エイサーキャラバン事業	・エイサーイベント来場者数:413,863人 ・エイサー会館来場者数 27,874人以上	【今後のスケジュール】 エイサーのPRや振興を通して観光客の誘客の拡大を図るため、エイサーのまち沖縄市のPRにつながる事業を実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光宣伝事業	H25 ～ R3	観光PR活動を実施することで、滞在型観光の推進を図る。	各種メディアやウェブを活用した観光広報活動業務 ガイド養成講座の実施(16回) モニターツアーの実施(25回)	主要ホテル宿泊延べ人数:354,585人	【今後のスケジュール】 観光誘客の拡大を図るため、戦略的なPR活動の実施および観光体験や新メニュー創出等の支援を継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			文化芸能推進事業	H25 ～ R3	琉球舞踊やエイサーなどの伝統芸能等のイベントを開催し、市民等に伝統芸能に触れる機会を確保する。	芸術祭(1回)	舞台公演 3回 展示公演 1回	【今後のスケジュール】 市民等が伝統芸能に触れる機会を確保する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			観光統計調査事業	H30 ～ R3	沖縄市を訪れる観光客の旅行動向の実態を調査・分析を行い、効果的な観光宣伝に繋げる。	観光入込統計調査の実施。	観光入込統計調査の完了。	【今後のスケジュール】 観光入込統計調査の結果を踏まえ、主要観光地の入込客数等、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 本事業の成果目標は、調査結果を活用した実績について成果目標を設定すべきであるが、検証が困難であるため、定性的な指標を設定した。
1			戦後文化資料等展示事業	H24 ～ R2	沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリーの常設展・企画展の充実を図ることで、国内外から大学生や研究者、修学旅行等を含む観光客の誘客を図る。	備品の購入 戦後史資料のデジタル化	年間来館者数25,800人	【今後のスケジュール】 常設展・企画展の充実を図ることで、観光客等の誘客を行い、リピーター率を高める。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			スポーツコンベンション推進事業	H25 ～ R4	プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿誘致を行い、スポーツ合宿宿泊者数の増加を図る。また、プロスポーツ団体等のPR活動や交流イベントの開催によりホームゲームへの観客動員数増を図る。また、2023年FIBAバスケットボールワールドカップ開催に向けた機運醸成に取り組む。	・スポーツ団体活動支援:4団体(FC琉球、琉球ゴールデンキングス、広島東洋カープ、パンサーズ) ・交流イベントの開催:1回(FC琉球ホームタウン10周年イベント) ・ワールドカップ1000日前イベントの開催(12月) ・スポーツ合宿誘致・受入 ・W杯バナー製作・設置	・スポーツ合宿延べ宿泊者数 38,700人 ・ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 205,660人 ・W杯1000日前イベント来場者数:3千人	【今後のスケジュール】 スポーツ合宿の誘致等に取り組むとともに、プロスポーツ団体の機運醸成を図り、スポーツコンベンションの推進に取り組む。 また、2023年に開催されるFIBAバスケットボールワールドカップに向けて機運醸成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			モータースポーツ推進事業	H27 ～ R3	モータースポーツ振興イベントの開催に対して支援を行い、モータースポーツ愛好家等の観光誘客を図るとともに、モータースポーツの聖地化に向け、(仮称)沖縄サーキット建設に対する機運を醸成する。	・モータースポーツイベントへの支援 1件	・イベント来場者数:42,000人	【今後のスケジュール】 モータースポーツの振興を図るイベント等を実施することにより、モータースポーツに関する理解と機運を高める	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	道路景観形成等推進事業	H24 ~ R3	観光地周辺道路を整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	道路植栽等整備実施設計(松本団地西側線・知花52号線) 市道宮里31号線道路植栽等整備工事(1工区) 市道宮里31号線道路植栽等整備工事(2工区)	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含めアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き市内の道路整備を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 路線利用者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	緑化景観推進事業	H30 ~ R3	観光地周辺道路を植栽整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・壁面緑化パネルに季節の花を入替える。(3回) ・コンクリートプランターの作製・設置(70基) ・亜熱帯植物(ハイビスカス)の植栽(140本)	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に亜熱帯植物を配置し、沖縄らしい風景づくりを行い観光地としての魅力向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 市民や観光客などの来街者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	こども科学力育成事業	H24 ~ R3	こどもたちが、科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベントや学校等における出前科学教室の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。	科学イベント開催(1回) 出前科学教室(96コマ) 科学研究支援(6校)	・参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケートで、満足度95%以上)	【今後のスケジュール】 引き続き科学普及イベント・ワークショップ開催による意識啓発及び出前科学教室による学力向上に取り組んでいく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ~ R3	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学校支援教育専門員、教育補助者、外国語指導助手等を配置することにより、きめ細やかな指導の充実に取り組む。	標準学力調査 学力調査(中3) 放課後学習支援業務 学習支援コーディネーター(1名) 学習支援員(20名) 中学校ALTコーディネーター(1名) 日本語指導員(4名) 小学校ALT(12名) 中学校ALT(7名)	・沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 小学校:県との差±0ポイント以内を目指す。 中学校:県との差-2ポイント以内を目指す。	【今後のスケジュール】 引き続き支援員等を配置することにより、沖縄県学力到達度調査の正答率向上に取り組んでいく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	気になる子等の学びを支援する事業	H24～R3	特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う	就学支援員(1名) 臨床心理士(1名) 認定心理士(2名) 保健師(1名) 就学支援事務(1名) 特別支援教育コーディネーター(1名) 特別支援教育補助者(24名) スクールソーシャルワーカー(1名) 学校支援教育補助者(5名) 適応指導教室教育相談員(1名) 適応指導教室指導員(3名) 適応指導教室巡回支援指導員(3名) 幼稚園特別支援アドバイザー〔臨床心理士〕(1名) 特別支援担当〔特別支援園児担当〕(25名) 特別支援担当補助者〔特別支援園児担当〕(11名) 幼稚園特別支援教育補助者(7名)	・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度70%以上 ・不登校児童生徒登校復帰率21%以上	【今後のスケジュール】 特別な支援が必要な児童生徒や不登校・学力不振の児童生徒の個々のニーズに柔軟に対応した支援を継続して実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	青少年等支援事業	H25～R3	巡回指導、相談、支援を行い、青少年等の健全育成を図る。	青少年教育相談指導員 7人配置 青少年指導員の夜間街頭指導 延べ1,760人 若者相談窓口担当相談員 1人配置	午前・午後巡回指導件数 前年度比22.75%減 夜間・合同街頭指導件数 前年度比9.4%減 若者の主訴改善件数 11件以上	【今後のスケジュール】 午前・午後の巡回指導や夜間の街頭指導を行い、青少年の健全育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25～R3	「国際文化観光都市」を宣言している沖縄市では、海外文化交流等を通じて国際理解教育を推進するため、市内中学校の生徒を対象に、海外ホームステイ活動を支援する。	市内中学生12名を海外に2週間程度派遣するプログラムを実施する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合(85%以上)	【今後のスケジュール】 国際的な視野を持つ人材育成するため、短期ホームステイ活動支援を実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
5	就労等支援事業	H24～R3	若年者や子育て世代等に対する就労相談や各種講座等の実施し、求職者の就職決定に繋げる。また、企業の雇用環境の改善に向けたセミナー等を実施する。	・就労相談 約2,500人/年 ・職場体験 35件	・就職決定者割合9.1% ・参加者へのアンケートで、職業理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 求職者の就職決定に繋げるため、引き続き就労相談、職場体験等の支援を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 就職決定者数は、過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	産業集積推進事業	R2 ~ R3	地域経済を牽引する人材や企業の輩出や、外部の人材や企業の移転を促進し、市内及び中心市街地における新たな産業の集積を図るため、商店街内の空き店舗に創業支援・ICT人材育成等の取組を一体的に推進する拠点施設を設置・運営する。	・創業支援による創業支援件数 ・本事業で育成された人材等の就業件数	・創業支援者数:54件 ・就業件数:42件	【今後のスケジュール】 R2年度の成果を検証し事業内容の重点化及び合理化を図ることで成果目標の着実な達成を図りつつ、事業の部分的な民間移行等を積極的に推進する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
6	地域防災対策事業	H24 ~ R3	地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成促進や災害用備蓄の確保などを行う。 また、防災倉庫を整備し、市民に災害警戒域を知らせるため、防災マップを整備する。	・防災組織の結成(5組織) ・防災組織資機材・倉庫整備(5組織) ・防災倉庫整備(1箇所) ・ハザードマップ作成	・整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。	【今後のスケジュール】 自主防災組織及び資材整備を行うことで、地域防災力の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 整備した防災資機材等の成果については、実際に災害が発生しない限り検証ができないため、防災資機材等を活用した避難訓練を実施・検証を行うことで、市民及び観光客等の安全確保に資すると考え、成果目標と設定した。 各防災組織が1回以上訓練するものとして設定した	
6	災害時緊急避難通路整備事業	H24 ~ R3	里道を活用した災害時緊急避難通路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	比屋根遺跡資料整理報告作業等支援業務委託 災害時緊急避難通路整備工事(比屋根)	・比屋根地区1路線68mの整備工事の完了 ・本避難経路を活用した避難訓練の実施(1回/年)により、安全安心に避難できたか80%を含め訓練参加者に対してアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R3 整備工事(古謝地区)	【R2成果目標設定の考え方】 本事業の目的から、本来災害時の避難者数等を設定すべきであるが、実際に災害が発生しないことには検証が困難なため、当該避難道を活用した避難訓練を実施・検証を行うことで、防災力の向上に繋がると考え、成果目標と設定した。 回数については、過去に実施した地域の避難訓練等により設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	里道および水路の境界確定復元事業	H24 ～ R3	不明確な里道及び水路の位置を確定することで、(仮)沖縄市法定外公共物整備計画を策定し、里道・水路の占用許可・用途廃止等を行う。	・里道 22kmの境界確定測量 ・水路 3,517mの境界確定測量	確定測量の完了 表示登記申請の完了	【R4成果目標】 策定した(仮)沖縄市法定外公共物管理計画の中で、個人敷地に占用されている里道・水路の占用手続、用途廃止に係る年度毎の目標値(用途廃止率等)を設定し、当該数値を目標とした施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R2 確定測量・表示登記 R3 確定測量・表示登記・(仮)沖縄市法定外公共物管理計画策定	【R4成果目標設定の考え方】 測量中であるため、当該測量により策定された計画に基づき、目標値を設定し施策を実施していくことを成果目標として設定した。	
8	東部海浜地区開発事業	H25 ～ R3	健康医療施設用地に係る公募条件等の整理のため、県外企業ヒアリングを行う。また、東部海浜開発事業の認知度向上に向けてイベント等を活用したPR業務を行う。	県外企業誘致ヒアリング PRイベント実施	公募条件整理に向けたヒアリング(サウンディング)の実施9回(35社) 来場者等へのアンケートによる認知度(60%以上)向上を含め、本事業のあり方について検証する。	【R4成果目標】 企業誘致件数:1件 【今後のスケジュール】 県内外企業等に公募条件整理に向けたサウンディング等を実施する。 国・県と連携し事業PRを実施していくことにより、事業認知度が向上し、東部海浜地区の積極的な利活用が行われる。	【R4成果目標設定の考え方】 企業誘致先となる民間用地(健康・医療施設用地8.0ha)は企業1社での利用を見込んでいるため、企業誘致件数を1件と設定した。	
9	平和行政事業	H30 ～ R3	沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行い、沖縄戦への理解を深める。	9月7日沖縄市民平和の日記念事業 ・市民向けイベント開催1回 ・市内小中学校におけるイベント開催8校 平和大使活用イベント開催1回	沖縄戦への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も9月7日沖縄市民平和の日記念事業等を継続的に開催し、沖縄戦への理解を深め継承していく。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄戦への理解が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
10	農業施設整備事業	R1 ～ R3	本市倉敷地区の畜産農家・耕種農家の農業用水を確保するため、倉敷ダム放流水を水源とする取水施設や貯水池の整備を行う。今年度は実施設計を行う。	実施設計の実施	実施設計の完了	[R4成果目標] 出荷頭数0.7%増(畜産) [R5成果目標] 出荷頭数0.7%増(畜産)、耕作放棄地770㎡解消(農業) 【今後のスケジュール】 R2:実施設計(畜産) R3:整備工事(畜産)、実施設計(農業) R4:供用開始(畜産)、整備工事(農業) R5:共用開始(農業) 公共投資交付金	[R4成果目標設定の考え方] 当該計画で設定した目標値に向けた農業振興施策を実施していくことを成果目標として設定した。	
11	沖縄こどもの国推進事業	H27 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の誘客促進のため、プロモーション業務を実施する。	・沖縄こどもの国プロモーション業務の実施	・沖縄こどもの国プロモーション業務の完了 ・目標入園者数60万人	【今後のスケジュール】 H29～R3:今後も計画性をもって、計画事業スケジュールに基づき、適正な事業実施を行い、沖縄こどもの国の充実を図る。	[R2成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。	
12	沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき、動物園の充実を図るとともに、動物展示施設の整備を行う。	・ワニ舎周辺エリア整備工事の実施	・ワニ舎周辺エリア整備工事の完了 ・目標入園者数60万人	【今後のスケジュール】 R3年度:クマ舎周辺エリア整備工事(第2期) R4年度:園内池周辺エリア基本設計、施設拡張エリア基本設計 今後も施設整備基本計画に基づき、沖縄こどもの国の機能強化のため、施設の充実を図る。	[R2成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。	
13	商店街等活性化事業	R1 ～ R3	令和元年度に実施した調査等を基に、課題を整理し銀天街地域のコミュニティ形成に取り組むことの出来る人材を育成するとともに、誘客効果のあるイベントの企画運営によりにぎわいを創出することで、地域の魅力を高める。	イベント実施件数(2件)	営業店舗増加数(1件)	【今後のスケジュール】 当調査資料を活用し地域特性を活かした課題解決を図るため、人材育成事業を実施し市と協働で地域課題に取り組むことの出来る人材育成を行う。	[R2成果目標設定の考え方] 令和元年度の調査結果を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	文化観光創出事業	H24 ～ R3	平成25年度に策定した「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・屋外トイレ施工監理、磁気探査業務、実施設計(グスクゾーン)の実施 ・屋外トイレ建築工事、園路整備、法面対策工事の実施	・実施設計(グスクゾーン)の完了 ・屋外トイレ建築工事、園路整備、法面対策工事の完了	【R4成果目標】 年間来場者数:2万人 【今後のスケジュール】 ・施設整備(R3)	【R4成果目標設定の考え方】 類似観光施設の実績を参考に設定した。	
1	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ事業	H25 ～ R3	県内外に対し、本市の成長力、若い力及び市特産品を広くアピールするとみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催に負担金を交付する。	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催	・とみぐすく祭りの来場者数：65,000人 ・県外観光客数：5%	【今後のスケジュール】 引き続き、県内外及び国外へ、本市の成長力、若い力及び市特産品を広くアピールするためとみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタを同時開催し、経済的かつ効果的な運営と集客を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
1	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ R3	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、市道植樹木の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	・植栽木の管理(除草清掃・防除工) ・プランターの植栽管理(灌水)	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 植樹木の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	豊見城市優良母牛導入支援事業	H27 ～ R2	補助金により優良母牛の導入を促進し、畜産農家の生産基盤の確立及び経営の安定、農業振興を行う。	優良母牛導入に対する補助	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合(110%)	【今後のスケジュール】 優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしている。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	豊見城市いきいき野菜生産支援事業	H24 ～ R2	市場や量販店の求める定時、定量、一定品質の野菜を安定生産するために、長雨や強風の影響を受けない耐候性野菜栽培施設を導入する。	耐候性野菜栽培施設導入に対する補助	耐候性野菜栽培施設導入の完了	【R3成果目標】 野菜(葉野菜類)の反収(10aあたりの生産量) ホウレンソウ 1.1t/10a カラシナ 1.3t/10a チンゲンサイ 1.3t/10a	【R3成果目標設定の考え方】 沖縄県野菜栽培要領等を参考に設定した。	
3	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ R3	特別な支援を必要とする子の保護者や保育士を支援するため、臨床心理士の専門指導員を配置し、巡回相談・支援を行う。	臨床心理士配置:1名	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き臨床心理士による、巡回・個別相談を実施し、対象児を抱える保護者や保育士等への支援を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 保護者や保育士の大多数が育児や保育に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			放課後児童クラブ利用支援事業	R2 ~ R3	放課後児童クラブの利用者支援をすることで、子どもたちが育成支援体制の整った安心・安全で環境で過ごすことができるようになり、保護者の子育てへの負担感の軽減を図る。	ひとり親家庭等の児童クラブ利用者に対し利用料を減免した児童クラブに対し、補助を行う。 対象人数:129人分	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 利用者支援を行うことで、公的施設で活動している児童クラブとの格差是正並びに、保護者の負担軽減及び利用者の増加を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
4			特別支援教育支援員配置事業	H28 ~ R3	小中学校において普通教室に通う特別に支援を要する児童生徒の教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の配置:30人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談、指導助言、面談等の実施	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R3年度まで継続して支援員を配置し、支援対象児童生徒が十分な教育が受けられるようにする。	【R2成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別教育支援員の教育相談等の支援により教育活動の充実が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			学力向上サポート事業	H24 ~ R3	小中学校の教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を粉うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員を11人配置する。 小学校:8人 中学校:3人	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校:+2.6ポイント 中学校:+1.0ポイント	【今後のスケジュール】 R3年度までに県平均正答率との差を、小学校において+2.6ポイント、中学校において+2.5ポイントを目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績値を参考に設定した。
4			スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ~ R3	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境の改善を図り、児童相談所等関係機関とのネットワーク構築のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。	スクールソーシャルワーカーを3人配置する。市内小学校8校、中学校3校に対し巡回配置する。	支援対象ケース改善率:39.50% (改善ケース件数/支援対象ケース件数)	【今後のスケジュール】 R3年度まで継続してスクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関との連携体制を構築・維持する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績値を参考に設定した。
4			不登校等対策支援事業	H24 ~ R3	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談等、適切な指導を行い学校復帰や社会的自立を支援する。	学習支援補助員配置:3人 (中学校:1人) (適応指導教室:2人) 登校支援員配置:8人	不登校児童生徒復帰率:20% (学校復帰人数/新規不登校者数)	【今後のスケジュール】 R3年度まで継続して支援員を配置し、学校復帰率30%を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績値を参考に設定した。
4			英語教育推進事業	H25 ~ R3	国際化時代に対応できる人材育成を目的に、中学校へ外国人英語講師を配置し、小学校へ日本人英語講師を派遣する。	外国人英語講師(ALT)の配置:3人 日本人英語講師(JTE)の派遣:小学校8校	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合73%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+4.2ポイント	【今後のスケジュール】 継続的に外国人英語講師の配置、日本人英語講師の派遣を行い、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図るとともに、令和3年度の県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+4.3ポイントを目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 小学校 対象者のうち大多数が英語に対する興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 中学校 過去の実績値を参考に設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考		
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		R2成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
4			ICT教育推進事業	H24 ～ R3	わかりやすい授業によって教育の質の向上を図り、児童生徒の学力向上及び情報活用能力の育成を図るため、学校にICT機器を整備する。また、ICT機器を活用した授業を支援するため、情報教育指導補助員を派遣する。	情報教育指導補助員派遣:3人 パソコン教室整備:中学校3校	<p>教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。</p> <p>児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 ICT機器の整備及び情報教育指導補助員の派遣を継続し、R3年度のICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%を目指す。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、ICT機器等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。</p> <p>事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。</p>	
4			児童生徒派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を補助	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 継続して児童生徒の派遣費の一部補助を行う。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持てたかどうかを検証するにあたっては、当該児童にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。</p>	
4			児童生徒派遣費補助事業(部活外)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の補助を行う。	児童生徒派遣費の一部を補助	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒及び保護者へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 継続して児童生徒の派遣費の一部補助を行う。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持てたかどうかを検証するにあたっては、当該児童にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。</p>	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
4		青少年国際交流事業	H25 ～ R3	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	・市内中学生14名をハワイ州へ派遣 ・報告会の開催(1回)	派遣後、団員アンケートを実施し「将来、国際関係の仕事をしたいまたは国際科に進学したい」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 引き続き児童生徒の派遣を実施し、団員派遣前の事前研修において、地元地域の文化、歴史、産業を通して団員自身のアイデンティティーを育てるプログラム実践していく。	【R2成果目標設定の考え方】 児童生徒が、グローバルな視点で、国際化時代に対応した人材になりたいという意欲を持ってたかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
4		お仕事体験事業	H30 ～ R3	豊見城市在住の小中学生を対象に、将来の職業観を育むため、仕事の疑似体験ができるイベントを実施する。	年1回の事業実施	就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 事業の実施をとおし、より効果のよい小中学生の職業観育成方法を検討する。	【R2成果目標設定の考え方】 児童生徒の就業意識の向上が目的であるため、大多数の児童生徒の就業意識が向上したと考えられる指標として「80%以上」と設定した。
5		文化財案内表示板設置事業	R1 ～ R2	市民等が文化財に訪れやすい環境を整備するため、文化財に至る案内表示板を設置する。	文化財案内表示板 設置30基	・「豊見城市文化財マップ」の年間アクセス数 25,550回/年 ・文化財巡り参加者 30名/年	【今後のスケジュール】 文化財巡りを開催し、文化財の周知を行うと同時に、文化財に対する市民の理解を深める。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5		デジタル博物館事業	R2 ～ R3	歴史・文化に関わる資料の収集とデジタル化を行い、デジタルシステムに集約・整理・公開する。	収集アナログ写真資料のデジタル化作業 10万点 地域資料収集作業 7地域 収藏品写真撮影 1,050点	収集アナログ写真資料のデジタル化作業(10万点)、地域資料収集作業(7地域)、収藏品写真撮影(1,050点)の完了	【今後のスケジュール】 R3 デジタル化作業 10万点 地域資料収集作業 8地域 収藏品撮影 1,050点 資料登録作業・公開	【R2成果目標設定の考え方】 収集・収集する資料量から勘案して設定した。
6		サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ～ R3	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入環境を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	サッカーキャンプ受入に必要な芝生の維持管理及び草種変更	サッカーキャンプ誘致件数:2件/年	【今後のスケジュール】 令和5年度以降、指定管理制度導入による削減額を調査・検討し指標を設定する。	【R2成果目標設定の考え方】 他市町村のサッカーキャンプ受入状況を参考に設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
1		企業誘致推進業務委託事業	H24 ～ R3	企業誘致活動を実施し、県外企業の市内進出につなげる。	企業訪問による情報収集 開発事業者に関する情報収集 企業誘致関連セミナーへの参加 月間報告書による進捗状況の報告	目標企業誘致件数：3社以上	【今後のスケジュール】 投資環境ツアーにより本市の持つ投資環境をPRする場を設けることにより、企業誘致活動の促進を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘定して設定した。
1		コンカレントエンジニア人材養成事業	H24 ～ R3	ものづくりに関する人材養成研修を実施し、技術者の技術力向上を図る。	・ME(モールドエンジニア)研修:基礎知識の習得(5ヶ月) ・PM(プロジェクトマネージャ)研修:具体的事例をテーマとした研修(1～5ヶ月) ・CE(コンカレントエンジニア)研修:具体的事例(PM研修からレベルUP)をテーマとした研修(1～5ヶ月) ・短期研修:企業向けの短期的な研修(1～5日間)	技術力が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き技術者の技術力向上を図るため、事業を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が技術力が向上したと考えられる値として設定した。また本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
1		商品プロモーション事業	H25 ～ R3	物産展への出展支援やPR活動及び商品開発の支援を行うことで、市内中小企業の販路拡大や売上の向上を図る。	・物産展への出展支援 ・PR活動 ・商品開発講座	・物産展の1事業者平均売上額68,700円以上 ・商談成立件数10件以上 ・商品開発講座参加者へのアンケートで講座内容が商品開発等への参考となったか(80%以上)を含め、本講座のあり方を検証	【今後のスケジュール】 売上効果が高くなるような仕組みを継続して構築していき、事業者の自助努力で商談成立に結び付ける商品を開発出来るよう講座の開催及び助言を行い事業者のスキルアップに繋げていく。	【R2成果目標設定の考え方】 売上額及び商談成立件数について、過去の実績を勘案して設定した。商品開発講座については、参加者のうち、大多数が参考になったと考えられる値として設定した。また、本講座のあり方についてアンケートで検証する。
1		国際物流トライアル推進事業	H30 ～ R3	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図る。	中城湾港を活用した海外向け中古車輸出、又は新車の移入(100台以上)	物流モデルの創出件数(2件以上)	【R4成果目標】 国際物流トライアル推進事業における中城湾振興地区での取扱貨物1モデルあたり2,880トン以上 【今後のスケジュール】 R3まで実証実験に取り組む	【R4成果目標設定の考え方】 定期航路化に必要なトン数を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	産業基盤整備推進事業	H30 ～ R3	産業集積地の確保を目的とした産業基盤整備計画を策定し、新たな用地の確保を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 産業集積候補地の現況把握(土地利用規制、周辺環境等) 住民意向の把握 企業サウンディング 事業化に向けた方策の検討 施策の実施スケジュールの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 産業基盤実現可能性調査の完了 産業基盤整備計画(実施計画)の策定 	<p>【R3成果目標】 策定する産業基盤整備計画の中で、新たな産業集積地の確保に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした産業振興施策を実施する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R2 実施計画策定 R3～ 計画に基づく事業化、基盤整備 R6 先行街区基盤整備 R7～ 企業入居</p>	<p>【R3成果目標の考え方】 調査・計画策定中のため、計画策定後に目標値を設定し、当該数値を目標として施策を実施・検証することとした。 産業集積地の確保(基盤整備)に係る目標年度は、令和6年度を設定する。</p>	
1	研究開発支援事業	H30 ～ R3	市内の企業に研究開発費の一部を支援し、製品開発に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> 研究及び実証共用機器使用に係る経費補助 補助金交付決定事業者数:5社 	商品開発件数:4件	<p>【今後のスケジュール】 今後も市内研究施設を十分に活用し、市内業者による商品開発の推進を図る。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。</p>	
1	新産業創出連携促進事業	R1 ～ R3	製造業における新たな製品を創出するための企業間連携の促進を図る	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業間マッチングのコーディネート 	マッチング件数 2件以上	<p>【今後のスケジュール】 市内立地企業や沖縄県工業連合会、OISTや県外企業などへ周知を行い、事業効果を高めていく。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 事業内容を勘案し設定した。</p>	
1	EV自動車普及促進事業	H25 ～ R3	うるま市産EV自動車の性能や安全性向上により、普及促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> EV車の導入実証実験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> EV車の導入実証実験の完了 実証内容 車両性能・安全性 等 	<p>【R4成果目標】 実証を行った事業者におけるEV車契約率 80%以上</p> <p>契約率 EV車購入事業者数/実証事業者数</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 実証事業(R1～R3)を行った事業者(「実証事業者」という。)からの検証結果をEV車にフィードバックすることによってEV車購入契約につなげる。 大半の実証事業者がEV車両購入契約を行うと仮定し、契約率を80%とした。</p>	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	就労支援事業	H24 ～ R3	求職者や企業に対するきめ細かな支援を行い、雇用の拡大につなげる。 また、児童生徒にキャリア教育を実施し、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る。	求職者への総合的な就業支援の実施 ・職業紹介、就職相談、合同企業説明会、スキルアップ講座等。 ・企業向けセミナー 雇用促進、人材育成、人材定着を目的としたセミナー実施。 小中高生・過卒生へのキャリア教育 ・小学生：職場見学や企業の制服を着用し業務を体験する。 ・中学生：職場体験に向けたマナー学習、企業人講話を実施。 ・高校生：企業人とパネルディスカッション等での討論を実施。 ・高校生、過卒生、高校等中退者：初めての一人暮らしセミナー、キャリアアップ計画セミナー、過卒生・高校等中退者向け進路相談会	就労支援を行った新規雇用者数354人以上 小中高生、過卒生、高校等中退者へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証	【今後のスケジュール】 求職者に対し、継続的な支援体制の強化を図るとともに将来を担う児童・生徒の就業意識の向上や就労観・職業観の醸成に努める。 高校生・過卒生・高校等中退者に対してキャリア教育を実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・大多数の小中高生、過卒生、高校等中退者が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
2	地域雇用人材育成事業	H24 ～ R3	新規雇用者を対象に、雇用後に行われる人材育成(OJT等)支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。	新規に雇用した人材に対して人材育成(OFF-JT,OJT)を実施後、企業において正規に期間の定めのない職員として雇用する。 OFF-JT、OJTについては雇用される企業により内容が異なるため事前に公募しプレゼンテーションにより委託先を決定する。	人材育成事業の実施	【R3成果目標】 ・人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率 90%以上 【今後のスケジュール】 今後も人材育成支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。	
3	メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24 ～ R3	うるま市の魅力をPRするため、雑誌やインターネット等のメディアを活用した観光情報配信等を行い、観光誘客を図る。	うるま市観光情報フェイスブックによる情報発信 ・インフルエンサーを活用したPR活動	・主要施設来場者数 355,051人以上	【今後のスケジュール】 誘客効果の最大化を目指すため、より効果的なメディア活用の方法を検証し、展開していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			観光イベント・交流事業	R1 ~ R3	新たな観光コンテンツの創出及び県外(国外)等での催事による観光PRを実施し、観光客の誘客を図る。	・既存イベントとタイアップした観光客等の誘客性の高いコンテンツを創出する。(動画中継等検討) ・観光PR(インバウンド向け含む)プロモーションビデオの制作及び催事の開催(2回~3回程度) ・宿泊施設における国外客の動向調査の実施	・イベント参加者数:8,771人 ・うち県外(国外)参加者数:299人	【今後のスケジュール】 滞在型観光への転換を図り市内経済の活性化を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業	R1 ~ R3	プロスポーツチームや実業団などのアマチュアスポーツ団体に対して、市が保有する施設等のプロモーションをし、合宿・大会等の誘致を図る。	・推進協議会の開催 ・誘致用Webページ作成 ・スポーツ合宿誘致活動	キャンプ・合宿件数 11件以上	【今後のスケジュール】 令和元年度に設立したスポーツコンベンション推進協議会を主体としてプロスポーツチーム等の誘致に取り組むことで、さらなる受入拡大に繋げていく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			サイクルツーリズム推進事業	R2 ~ R3	世界遺産勝連城跡及び海中道路などを中心にサイクリングルートを設定し、サイクルツーリズムの受入環境整備や自転車愛好家へのプロモーションを実施する。	・ヒアリング調査の実施 ・関係者会議の開催 ・誘致ターゲットの設定 ・サイクリング、合宿モデルルートの作成	サイクリングルートの策定	【R3成果目標】 サイクリングルート上の商業施設の売上高 【今後のスケジュール】 調査結果を踏まえ、費用対効果を鑑みた上で受入環境の整備及び国内外向けプロモーションに取り組んでいく。	【R3成果目標設定の考え方】 設定したサイクリングルート上の商業施設等の売上高を設定し、検証することとした。
4			勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ~ R3	世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点施設を整備し、観光客の誘客を図る。	歴史文化施設展示制作業務の実施 用地取得の実施 物件移転補償(公共補償)の実施	歴史文化施設展示制作業務の完了 用地取得の完了 物件移転補償(公共補償)の一部完了	【R4成果目標】 年間入場者数30万人 【今後のスケジュール】 令和3年度 文化観光拠点(駐車場)共用開始 歴史文化施設 共用開始 令和4年度 文化観光拠点(入口広場) 共用開始	【R4成果目標設定の考え方】 過去に策定した計画を参考に設定した。
5			沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ~ R3	景観地区の指定により、各景観地区ごとのまちづくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	景観地区等指定委託業務(与那城伊計島地区)の実施 まちなみ景観助成の実施	景観地区指定委託業務(与那城伊計島地区)の完了 まちなみ景観助成の実施 訪問観光客の景観に関する満足度(80%以上)	【今後のスケジュール】 R3 南風原・浜比嘉地区について、引き続き助成を実施し、観光地としての魅力向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 景観地区の指定により、景観地区のあり方を検証し、観光地としてふさわしい景観であると概ね肯定的であると考えられる数値として設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	島アートプロジェクト事業	H24 ～ H34	島の風景と融合した「アート」を活用した展示会やイベントを創出することで、島しょ地域における交流人口の拡大を図る。	・実行委員会開催 ・HPの充実 ・開催告知の充実 ・アートイベント開催 ・来場者満足度調査(アンケート)	来場者数:3,000人(3日開催) イベント来場者の満足度:85%以上	【今後のスケジュール】 地域住民と一体となったアートイベントを継続することで、アートをととして地域住民が目指す地域活性化の取り組みを実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
6	ICT活用島しょ地域児童生徒交流実証事業	R2 ～ R3	生活環境や世代が異なる人々との交流を促進するため、ICTを活用した交流体験・交流学习を行う。	・体験(学習)プログラムの開発 ・体験(学習)プログラムの実証	・保護者へのアンケートで、生活環境や世代が異なるの人との交流により、児童生徒の視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 ・児童生徒のライフスキル自己評価10%増加	【今後のスケジュール】 体験(学習)プログラムの開発を引き続き実施し、生活環境や世代が異なる人との交流を促進する。	【R2成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	
7	うるま市の頑張る農業を応援します事業	H30 ～ R3	強化型ハウスの整備に必要な支援を行い、農作物の出荷量の向上を図る。	R2強化型パイプハウス3,000㎡、生産農家10戸	強化型パイプハウス設置の完了	【今後のスケジュール】 導入した栽培施設にて安定生産を図り、直売所、給食センター等への安定供給に繋げ、地産地消・ブランド化への推進に努める	【R2成果目標設定の考え方】 沖縄県農林水産部指標を参考に設定した。	
8	小学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、児童の学力に応じた個々の学習指導を行う。	学習支援員を配置し、授業や放課後の補習授業、サマースクールにおいて効果的な学習支援を行う 対象学年:小学5年 対象科目:算数	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 小5算数平均正答率 県平均以上	【今後のスケジュール】 正答率の高い学校の取り組みを研修等で共有し、理解度が遅い児童や学習意欲の低い児童を中心に支援を行い、平均正答率30%未満の児童を減らすことで全体としての正答率を上げていく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
8	中学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	学習支援員を配置し、授業や放課後の補習授業、サマースクールにおいて効果的な学習支援を行う 対象学年:中学2年 対象科目:数学	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 中2数学平均正答率 - 1.5%以上。	【今後のスケジュール】 正答率の高い学校の取り組みを研修等で共有し、理解度が遅い生徒や学習意欲の低い生徒を中心に支援を行い、平均正答率30%未満の児童を減らすことで全体としての正答率を上げていく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
9	ひとり親家庭生活支援モデル事業	H25 ～ R3	ひとり親家庭に対し、資格取得や債務整理、転職等による正規雇用につなげることにより、ひとり親家庭の自立につなげる。 また、児童生徒への自主学習のサポートを行い、学習習慣の定着を図る。	居室借上数 (10部屋) 技術力向上支援 (12回) 家計簿管理支援 (100回) 支援世帯に合った個別支援 (50回) 児童生徒の学習支援 (144回)	・本事業によるひとり親家庭の自立世帯割合 95% ・学習習慣の定着度(80%) 保護者、児童生徒からのアンケート調査により把握する	【今後のスケジュール】 ・養育費相談や債務整理は県母子会の弁護士を積極的に活用する等、円滑な情報提供を推進する。 資格取得の講座を開催し、就労や職場でのステップアップを目指す。また、県母連主催の各種講座へ受講案内を促す。 ・支援終了世帯に対しても、講座等の案内を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 サポートした児童生徒のうち、大多数が学習習慣の定着が図られたと考えられる値として設定。また、アンケートにより当該支援のあり方について検証する。	
10	中学校教育指導推進事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する不登校の児童生徒等に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。 また、児童生徒及び家族が抱える様々な問題に対して、多様な支援方法を用い課題解決を図る。	スクールソーシャルワーカー4名配置	・不登校児童生徒復帰率59%以上(のべ復帰者/のべ不登校者) ・児童生徒及び家族からの相談件数(実数)に対するの課題解決件数割合33%以上	【今後のスケジュール】 学校での相談活用やケース会議、関係機関と連携を強化を図り特別な支援を要する児童生徒へ継続的に支援を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
10	教育相談事業	H24 ～ R3	教育相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る。	相談件数に対するの課題解決割合	相談件数実績に対するケース終結の割合を36%以上を目標にする。	【今後のスケジュール】 継続的に各地区に有資格者の相談員を配置し、知能検査や発達検査を教育相談にいかし、不登校の未然防止に向け、学校や園での教師コンサルに対応できる体制を整える。	【R2成果目標設定の考え方】 過去のケース終結割合を勘案して設定した。	
10	適応指導教室事業	H24 ～ R3	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開級し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す。	体験活動に参加することができた割合 進路決定数/適応指導教室入級生の中学校3年生の割合	体験活動に参加することができた割合90%以上 中学校3年生の卒業後の進路決定割合100%	【今後のスケジュール】 入級前の子や午前の通級が不安定な子等の居場所確保のために継続して支援体制を整える。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
10			スポーツ力向上促進事業	R1 ~ R3	スポーツを通じた人材育成と部活動加盟率の改善を図るため、スポーツ教室の開催や部活動顧問の指導力向上に必要な専門的な外部指導員を配置する。	・トップアスリートによるスポーツ教室等の開催 ・外部指導員による部活動顧問への技術指導等	・部活動加盟率及び在籍生徒数 55%以上(2,160人) ・新たに部活動へ加盟した生徒へアンケートを行い「部活動を続けたいか。(80%)」を含め、取組のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・部活動加盟率及び在籍生徒数の推移 R2・・・55%(在籍数2,160人) R3・・・58%(在籍数2,278人) R4・・・61%(在籍数2,396人)	【R2成果目標設定の考え方】 ・R4年度に全国部活動加盟率約61%を達成するために各年度の部活動加盟率を段階的に引き上げる形で設定した。R2年度からは毎年3%増加させていく。 R2・・・55%(在籍数2,160人) R3・・・58%(在籍数2,278人) R4・・・61%(在籍数2,396人) ・外部指導者からの指導を受けたことで、部活動顧問の指導力が向上し、新たに加盟した生徒が継続して部活動に加盟する意思があるかを検証する。数値については、概ね肯定的であるといえる数値(80%)を設定した。
11			自主防災組織育成事業	H25 ~ R3	自主防災組織の結成を推進し、地域防災力の向上を図る。	・新たに結成された自主防災組織に対する防災資機材整備補助実施 補助団体:2団体 補助額:1団体2,000千円(上限額) ・自治会や自主防災会へ防災説明会や訓練支援 防災説明会:5回 訓練支援:5回	整備した防災資機材等を活用した防災訓練を実施することにより、防災意識が向上したか(80%以上)を含め、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。 防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練を実施	【今後のスケジュール】 令和2年度以降:継続して自主防災組織の結成を推進し、各年度において、2団体程度の自主防災組織を結成し、防災資機材を整備する。	【R2成果目標設定の考え方】 各防災組織が1回以上訓練するものとして設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	H24 ～ R3	観光客の満足度確保を図るため、宮古島市各地に点在している文化財を活用し、散策コースの策定及び環境整備・美化作業を行う。	・綾道(四島・西原コース)1コース策定 ・綾道(四島・西原コース)パンフレット作成及び印刷12,000部 ・綾道(砂川・友利コース)パンフレット増刷6,000部 ・コース案内版、文化財説明版設置10基 ・WEB公開システム策定1コース追加	観光地として満足できる文化財めぐりができたか(80%以上)を含め、散策コースを活用した観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 これまで策定した「綾道」コースの文化財巡りを実施しながら対象者の満足度(80%以上)を測り、今後の事業のあり方を検証する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			伊良部地区観光地総合整備事業	H28 ～ R2	観光客の利便性確保を図るため、伊良部地区の各観光地における受入機能強化、便益施設の整備を行う。	通り池駐車場整備工事	通り池駐車場整備工事の完了	【R3成果目標】 観光客の利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R3: 供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			トロピカルフルーツパーク機能強化事業	H28 ～ R3	トロピカルフルーツパークの観光誘客を図るため、官民協働による機能強化整備を行う。	事業企画推進業務の実施	施設管理運営体制の確立	【R6成果目標】 年間利用客数80,160人以上 【今後のスケジュール】 R2: 事業企画推進業務 R3: 実施設計 R4: 整備工事 R5: 民間企業の建設工事 R6: 供用開始	【R6成果目標設定の考え方】 類似施設の実績を参考に設定した。
1			伊良部野球場物品購入事業	R2	伊良部野球場の利便性を確保するため、球場で使用するグラウンド整備用機械等の物品を整備する。	グラウンド整備用機械・練習用ケージ・机・イス等の購入	グラウンド整備用機械・練習用ケージ・机・イス等の購入の完了	【R3成果目標】 施設利用者の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R2: 備品購入 R3: 供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 利用者のうち大多数にとって利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地形成を図るため、各観光地へのアクセス道路の環境美化(除草・清掃)を行う。	観光地アクセス道路の環境美化の実施:32路線	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光地アクセス道路環境の美化強化のため、引き続き取り組みを実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい道路環境及び景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			観光地公園環境美化強化事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている公園の環境美化作業を行う。	観光地公園12箇所の環境美化実施	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光客の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			クルーズ船受入体制強化事業	H29 ～ R3	クルーズ船観光客の受入体制を強化し観光誘客を図るため、観光案内所の設置・運営、歓送迎セレモニーの開催、情報の発信・収集等を実施する。	クルーズ船受入業務委託の実施 ・観光案内所の設置、運営 ・臨時CIQ設置 ・歓送迎セレモニー ・二次交通対策 ・パンフレットなど情報発信 ・アンケート、他港の受入状況視察等の情報収集	クルーズ船観光客数550,000人以上	【今後のスケジュール】 R2年度中にはクルーズ船専用バスおよびターミナルが供用開始予定となっており、受入施設の充実も見込まれることから、クルーズ船観光客数550,000人を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
3			誘客促進事業	H24 ～ R3	本市への観光誘客を図るため、国内外の観光イベントでのプロモーション活動及び新規航空路線就航に向けたPR活動の実施並びに官民が連携した観光マネジメント体制を構築する。	観光PRイベント等への参加 観光マネジメント体制構築業務	・入域観光客数1,150,000人以上	【今後のスケジュール】 プロモーション活動を継続的に実施し、令和2年度入域観光客数115万人以上を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			エコアイランド宮古島ブランド化推進事業	H28 ~ R2	市民や事業者の環境保全への関心を高めるため、環境保全の取組に関する情報発信やイベント等を開催する。また、持続可能な取組が実施できるよう運営体制を構築する。	・ウェブサイトの運営(エコ活動の取材及びSNSの活用等)及び効果検証 ・市民が参加できるイベント等の開催及び効果検証	・エコアイランドの標語(「千年先の、未来へ。」)の認知度:35.3%以上 ・理想通貨の認知度:21.3%以上	【今後のスケジュール】 エコアイランド宮古島のブランド化推進のため展開してきたプラットフォーム(公式サイト、SNS、エコ広報誌、理想通貨)において、エコアイランドの標語「千年先の、未来へ」や「理想通貨」の認知度を目安に、市民への浸透度合いを見定め、市民や事業所との官民連携、観光客とともに更なる推進を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
5			生鮮水産物流通条件不利生解消事業	H25 ~ R3	本市に水揚げされた生鮮水産物の販路確保を図るため、宮古島市から沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の輸送費を補助する。	生鮮水産物の空路輸送に対する補助(3漁協)	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量(145.0トン以上)	【今後のスケジュール】 今後も沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送に対し、継続的に補助を行い、本市が持つ地理的事情の不利性を解消し、水産業の活性化を図っていく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5			宮古島市海業センター整備事業	H24 ~ R3	水産物の安定的な種苗生産供給及び種苗栽培の技術者育成を図るため、宮古島市海業センターの機能強化整備を行う。	・水槽設備工事 ・機械設備工事 ・環境影響調査業務	・水槽設備工事の完了 ・機械設備工事の完了 ・環境影響調査業務の完了	【R4成果目標】 種苗生産量 ・シラヒゲウニ稚ウニ 25,000個以上 ・タイワンガサミ稚蟹 140,000尾以上 研修施設利用者 320人以上/年 【今後のスケジュール】 R2: 水槽設備工事 機械設備工事 環境影響調査 R3: 研修施設工事 研修施設備品購入 R4: 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			救命処置普及強化支援事業	H28 ~ R3	市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組み、観光客や市民の安全の確保を図る。	・応急手当普及員3名の配置 ・定例救命講習会の実施:21回 (普通救命講習 /15回、普通救命講習 /3回、上級救命講習/3回) ・出前救命講習会の実施:随時受付開催 ・救命講習に関する普及啓発活動	救命講習会受講者数 1,700人以上 救命講習会受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか(80%以上)を含め本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も目標設定の講習会を継続的に開催し、市民の救命能力の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 受講者のうち大多数が適切な応急手当が理解できたと考えられる値として設定した。また、講習会実施後のアンケートにより検証する。
7			課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ~ R3	課題や問題のある児童生徒の生活環境や不登校の改善を図るため、個々に応じた適切な指導・支援を行うスクールソーシャルワーカーおよび問題行動学習支援員を配置する。	・スクールソーシャルワーカー配置:6人 ・問題行動学習支援員配置:3人	・不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつながった児童生徒の割合60%以上	【今後のスケジュール】 本事業の周知とスキルアップのための事例検討会、教育相談等連絡会、福祉医療等制度の勉強会等の研究及び研修を実施する。 また、学校訪問による情報連絡会の開催、連携支援を実施する。生徒の登校復帰を目指した取り組みを行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7			選手派遣支援事業	H24 ~ R3	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される旅費に対し補助金を交付する。	児童生徒の大会派遣(県内・県外)	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒が広い視野を持つことを目標に大会派遣への支援を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8			高等教育機関の設置検討事業	H28 ~ R2	高等教育機関の設置に向けて、学校運営・学生確保等に関する実現可能性の検証(実証)を実施する。	高等教育機関の設置実現に向けた実証業務の実施。	高等教育機関の設置実現に向けた実証業務の完了。	【R4成果目標】 定住環境整備のための高等教育機関の設置1校以上。 【スケジュール】 R1 実証事業による課題等の把握 R2 課題改善に向けた実証事業の継続 R3 学校整備 R4 設置(開校)	【R4成果目標の考え方】 離島で高等教育を受けられる環境整備が目的であることから、設置数で設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ	細							
8		地域連携で取り組む健康づくり促進事業	R2 ~ R3	市民の健康づくりへの関心を高め、健康増進を図るため、市内の医療・保健・福祉及び各種関連団体を巻き込んだイベント(健康フェスタ)を開催し、健康づくりに関する情報発信を行う。	実行委員会による健康フェスタの開催	健康フェスタの来場者数:1,000人以上	<p>【R7成果目標】 妊婦の肥満率(H29)15.3 13% 3歳児検診肥満率(H26)6.65 3.85% 国保特定健診肥満率(H28)45.35% 39.3%</p> <p>【今後のスケジュール】 R4年度来場者 2000人 健康づくりや健診に関心を持つ市民の増加 今後も継続して実行委員会による連携をとりながら、健康フェスタを開催していく。</p>	<p>【R2年度の目標設定の考え方】 過去の実績を参考にした。</p> <p>【R7年度の目標設定の考え方】 県全体の平均を参考に設定した。</p>
9		平良港総合物流センター整備事業	H29 ~ R3	宮古地域における物流の安定化を図るため、総合物流センターを整備する。	平良港総合物流センター建築工事の実施	平良港総合物流センター建築工事の完了	<p>【R4成果目標】 取扱物流量 289千t以上/年</p> <p>【今後のスケジュール】 R2~3 建築工事 R4 供用開始</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 H26~H30の取扱物流量の伸び率を基に R4の取扱物流量を設定した。</p>

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
10	地下水保全調査事業	H29 ~ R2	安全な生活用水の確保を図るため、地下水をくみ上げる水源地を選定する。また、地下水の安全性に関するモニタリング調査を行う。	・伊良部島における水源候補地選定調査 ・平良地下水流域における水源候補地選定調査及び流域保全方針検討 ・地下水に含まれる硝酸性窒素の起源別割合の現状把握調査	・伊良部島における水源候補地選定調査の完了 ・平良地下水流域における水源候補地選定調査及び流域保全方針検討の完了 ・地下水に含まれる硝酸性窒素の起源別割合の現状把握調査の完了	<p>【R3成果目標】</p> 1) R3年度に伊良部島内に予備水源地1箇所確保 2) R3年度に平良地下水流域の水源地1箇所確保 3) 本年度の流域保全方針検討結果を踏まえ、平良地下水流域の水道水源保全地域を設定し、安全な生活用水の確保につなげる。 4) 本年度実施の硝酸性窒素の現状把握調査結果を踏まえ削減目標を設定し、安全な生活用水の確保につなげる。	<p>【今後のスケジュール】</p> 平良地下水流域を水道水源保全地域として指定し、現在の本市を取り巻く環境に見合う保全方法を検討していく。また、定期的に地下水利構造の把握・観測を行い、地下水の保全に努める。 地下水の窒素起源別割合は、10年スパンで更新調査し、その割合を把握していくことで、実施された地下水保全施策の検証とその後の施策の見直し、検討を行う。	<p>【R3成果目標設定の考え方】</p> 1, 2) R3年度に水源地を確保することを目標として設定した。 3, 4) 本年度実施する調査の結果に基づき指標を設定し、安全な生活用水の確保に向けた取組に確実につなげることを指標として設定した。
11	城辺地区世代間交流施設整備事業	R1 ~ R3	児童の居場所を確保することによる保護者の負担軽減及び高齢者の生きがいづくりを図るため、城辺地域に子どもや高齢者など多世代が集い、交流できる機能などを備えた施設を整備する。	基本設計の作成	基本設計作成完了	<p>【R4成果目標】</p> ・負担が軽減されたか(80%以上)を含め、児童保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・生きがいづくりに寄与したか(80%以上)を含め、児童と交流した高齢者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	<p>【今後のスケジュール】</p> R2.基本設計(実施設計作成予定) R3.建設工事 R4.供用開始	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> ・対象者のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値として設定した。 ・対象者のうち大多数が生きがいづくりに寄与したと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
11		幼保連携型認定こども園整備事業	R2 ~ R3	働く保護者等の育児負担の軽減を図るため、伊良部地区に公立幼保連携型認定こども園を整備する。	実施設計の実施	実施設計の完了	<p>【R4成果目標】 ・負担が軽減されたか(80%以上)を含め、利用児童の保護者等に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R2: 実施設計 R3: 整備工事 R4: 供用開始</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 ・施設を利用した児童の保護者等のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値として設定した。</p>

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	スポーツリズム推進事業	H24～R3	プロサッカーチームのキャンプ誘致を図るため、市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行う。	良質な芝生を維持する為の適正管理	プロサッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上	【今後のスケジュール】 サッカーキャンプ定着化に向けた芝生の適正管理を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間に受入可能な最大チーム数を目標として設定した。	
1	南城市産商品販売力強化事業	H27～R2	市産商品の売上増加を図るため、市内外のイベントにおいて市産商品のPR及び販売活動を行う。	市産商品の販売活動(3回)	開催・出展したイベントにおける市産商品の売上額 452万円以上	【今後のスケジュール】 付加価値の上がる販路先の検証を引き続き行いながら、売上増加及び成果目標の達成につなげていく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	南城市まつり実行委員会支援事業	H28～R2	南城市ファンを増加させリピーター獲得を図るため、南城市まつり実行委員会がまつりの開催に合わせて実施する市民と来訪者との交流促進に係る取組に要する経費を補助する。	南城市まつり実行委員会への補助	市外からの交流プログラム参加者のうち、「南城市が好きになり、また訪れたい」と回答した人の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 南城市まつりを通じて創出した南城市ファンに対し定期的なアプローチを行い、リピーターとして定期的に再訪してもらえるような仕組みをつくるとともに、創出されたプログラムを通じて新たなリピーター獲得に努める。	【R2成果目標設定の考え方】 市外から交流プログラムに参加した方の大多数が、南城市が好きになり、再訪意欲があると考えられる数値として設定した。 また、本事業の効果についてアンケートにより検証する。	
1	南城市デジタルアーカイブ実施事業	H30～R3	南城市に所在する文化財等を活用し、観光誘客を図るため、文化財等をデジタルアーカイブ化し、ウェブ上で公開する。またアーカイブを活用した観光誘客コンテンツを制作する。	・歴史資料のデジタルアーカイブ化(1次:6,000点)及び公開 ・文化財観光コンテンツの制作	・歴史資料デジタルアーカイブ化(1次)の完了 ・公開システム仕様の決定、稼働 ・文化財観光コンテンツの稼働	【R3成果目標】 文化財デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数 延べ1,200人以上 【今後のスケジュール】 R2: デジタルアーカイブ化1次、公開システム稼働、活用コンテンツ制作 R3: デジタルアーカイブ化2次、コンテンツ追加	【R3成果目標設定の考え方】 他自治体における類似事業の実績を参考とした。	
1	インバウンド受入環境整備事業	H28～R3	外国人観光客の誘客及び満足度確保を図るため、需要調査及び市内における受入体制強化並びに旅行商品開発及び情報発信を行う。	外国人観光客の動向及び市内における受入実態の調査 市内の受入体制強化 海外から短期インターンシップ留学生を招聘し、市内での就業体験を通して、市内事業者等が外国人観光客の視点を取り入れる 旅行商品開発 先進地視察、商品造成、商品宣伝(モニターツアーを含む)	・斎場御嶽における外国人観光客数 30,000人以上 ・南城市が満足できる観光地となっているか(80%以上)を含め、市に訪れた外国人観光客を対象としたアンケートにより本事業の効果を検証する。	【今後のスケジュール】 開発する旅行商品について、販売促進に取り組み、外国人観光客の消費額増につなげる。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ・大多数の外国人観光客にとって満足できる観光地となっていると考えられる値として設定した。 また、本事業の効果についてアンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光交通実証調査事業	R1 ~ R3	観光客の利便性確保を図るため、観光客が市内の観光資源を訪問、回遊するための交通手段を確保する。	バス停から観光資源までの交通手段を検討する実証調査の実施	実証調査の完了	<p>【R3成果目標】 南城市内の観光資源への交通手段が確保され利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R1年度に策定した実施計画に基づいた施策を展開し、観光客の市内交通に関する利便性確保を通して観光交流の振興・拡大につなげる。</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって利便性が確保されたと考えられる値としてアンケートによる数値を設定した。</p>
1			東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ~ R3	観光客の市内滞在時間の延長を図るため、斎場御嶽を活用した滞在型観光プログラムの開発及び普及活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・斎場御嶽の観光利用について地域関係者との連携強化、認識共有 ・地域関係者と連携した観光プログラムの開発、モニターツアーの実施 ・聖地観光の普及啓発 ・シンポジウム開催、聖地所在自治体のネットワーク構築 	斎場御嶽を活用した滞在型観光プログラムの開発完了、商品化	<p>【R3成果目標】 滞在型観光プログラムの利用者数:延べ100人以上</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 他自治体の類似事業を参考に設定した。</p>
1			南城型エコミュージアム普及・啓発・情報発信事業	R2 ~ R3	市内の地域資源を体系的に整理した観光誘客のツールである「南城型エコミュージアム」について、市内外における認知向上を図るため、市民を対象としたワークショップ及び県内外で展示会を開催し、情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型ワークショップを5回開催する。 ・県内外でイベントを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型ワークショップの参加人数延べ135人以上 ・県内外イベント1日当たりの平均来場者数300人以上 	<p>【今後のスケジュール】 資源の保全には地域住民が大きく関わることから、認知度の普及・啓発・情報発信だけでなく、エコミュージアムで培ってきた地域の理解が重要になる。地域の理解が得られることで持続可能性を高めていく。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
2			平和学習受入体制強化事業	H25 ~ R2	沖縄戦の歴史の継承及び戦跡を活用した観光誘客を図るため、糸数アブラガマの保全工事(落盤対策)を行う。	第2期保全対策工事の実施	第2期保全対策工事の完了	<p>【R3成果目標】 年間来訪者数:108,800人以上</p> <p>【今後のスケジュール】 ホームページ・SNSを活用し、安心安全な糸数アブラガマを広報し、成果目標(指標)を達成を目指す。</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
3			優良繁殖牛導入支援事業	H26 ~ R3	市内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、和牛繁殖農家に対して優良繁殖雌牛の貸し付ける者に対して支援を行う。	優良母牛導入頭数:50頭	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:117.1%以上	<p>【今後のスケジュール】 発育能力の高い優良繁殖牛の導入を継続して支援し、母牛から産まれた子牛の平均価格の向上を目指す。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	優良乳用牛リース支援事業	H27 ~ R3	酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図るため、優良乳用牛を導入し、市内の酪農家に貸し付ける。	優良乳用牛導入頭数:50頭	・乳用牛1頭あたりの生産乳量:7,824kg以上(年間) ・乳質(脂肪率):3.87%以上	【今後のスケジュール】 優良な乳用牛へ更新していき、酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	山羊生産振興対策事業	R2	山羊生産農家の農作業負担を軽減し、山羊生産の拡大を図るため、生産者団体等が実施する農業機械の導入を支援する。	粗飼料管理機械一式導入	山羊飼養頭数:478頭以上	【今後のスケジュール】 農作業の軽減を図り、飼養頭数を増頭し、経営の安定化を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 機械利用組合の農家の飼養計画を参考に設定した。
4	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ~ R3	二酸化炭素排出量の削減を図るため、防犯灯の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替える防犯灯設置者(自治会)に対して補助を行う。	既存防犯灯のLED化955灯	二酸化炭素排出量の削減98,963kg-CO2以上/年 削減	【今後のスケジュール】 事業効果を市広報誌等で周知する事により、市民に対しても、地球温暖化対策の意識啓発を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 防犯灯のLED化前後の消費電力の差及び補助対象の台数から、削減される二酸化炭素量の推計値を算定して設定した。
5	学習支援配置事業	H25 ~ R3	児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の習熟の程度に応じた学習支援を行う。	・市立8小学校へ学習支援員8名配置 ・市立4中学校へ学習支援員4名配置	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校:県平均以上 ・中学校:県平均以上	【今後のスケジュール】 学習支援員の配置人数については検討を行い、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力向上に繋げる。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	特別支援教育支援員配置事業	H25 ~ R3	特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、市内の幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、それぞれに対応した支援を行う。	・市内5幼稚園:特別支援教育支援員12名配置 ・市内8小学校:特別支援教育支援員34名配置 ・市内4中学校:特別支援教育支援員8名配置	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者のアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員の配置対象については検討を行い、特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の対象児童生徒等が支援員の対応に満足していると考えられる値として設定した。 また、本事業の効果についてアンケートにより検証する。
5	小・中学校電子黒板等整備事業	H28 ~ R2	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図るため、市内小中学校に電子黒板等を整備する。	市内小中学校(13校) 久高小中学校を含む46台整備 【普通教室20台(内支援学級14台)、特別教室26台] 特別教室については、学校アンケートをもとに計画 ・小学校 英語ルーム(8台) 音楽室(8台) ・中学校 音楽室(5台) 美術室(5台)	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	【今後のスケジュール】 効果的に、電子黒板を授業に活用してもらうため、ICT支援員の配置や研修会等を継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	学習支援教材ソフト整備事業	R2 ~ R3	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図るため、市内小中学校に整備された電子黒板で稼働する指導者用デジタル教科書を整備する。	市内小学校9校(久高小含む)に、主要教科のデジタル教科書を整備する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	【今後のスケジュール】 沖縄県学力到達度調査において県平均を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
6	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ~ R3	南城市の歴史・文化の継承を図るため、南城市の歴史・文化に関して調査、資料収集、編纂し、冊子として刊行する。また、刊行した冊子や調査成果を活用し、市民等を対象とした学習会を開催する。	・『南城市の沖縄戦 証言編』刊行(400部) ・『民俗編』会議(2回)、調査、原稿執筆 ・学習会の開催(2回)	学習会への参加人数 30人以上×2回	【今後のスケジュール】 R2:『南城市の沖縄戦 証言編』刊行、学習会開催2回 R3:『南城市の民俗』、『大里の民話』刊行、学習会開催2回	【R2成果目標設定の考え方】 類似取組の実績を参考に設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
1		スポーツコンベンション 観光振興事業	H25 ～ R2	スポーツ合宿の実施増加を図るため、陸上競技場、テニスコート、及び多目的広場の屋外LED照明設備の整備やテニスコート人工芝の張替えを実施する。	・屋外LED照明設備実施設計の実施 ・屋外LED照明設備工事の実施 ・テニスコート人工芝張替実施設計の実施 ・テニスコート人工芝張替工事の実施	・屋外LED照明設備実施設計の完了 ・屋外LED照明設備工事の完了 ・テニスコート人工芝張替実施設計の完了 ・テニスコート人工芝張替工事の完了	【R3成果目標】 合宿誘致件数:56件以上 【今後のスケジュール】 R2年度 屋外LED照明設備整備完了 テニスコート人工芝張替完了 R3年度 供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		国頭村ブランド牛基盤 づくり支援事業	H26 ～ R2	農家の所得向上に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	・優良母牛導入支援:10頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合117%以上	【今後のスケジュール】 継続的に優良母牛の導入支援を実施することにより子牛のブランド化を進め、農家の所得向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3		学習支援員配置事業	H25 ～ R2	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	学習支援員の配置 ・小学校 2名(各校1名) ・中学校 1名	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差 小学校 国語:-1.5ポイント以内 算数:-3.1ポイント以内 理科:-1.8ポイント以内 中学校 国語:-0.30ポイント以内 算数:-0.07ポイント以内 理科:-1.33ポイント以内 社会:-0.30ポイント以内	【今後のスケジュール】 引き続き学習支援員を配置して個々の学力に応じた学習指導を行うことにより、沖縄県学力到達度調査の正答率の上昇に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3		生徒指導支援員配置事業	H30 ～ R2	不登校の改善を図るため、生徒指導支援員を配置し、不登校の生徒にきめ細やかな支援を行う。	生徒指導支援員の配置 ・中学校 1名	不登校生徒復帰率 37%以上	【今後のスケジュール】 引き続き生徒指導支援員を配置して生徒に対応した生徒指導を実施することにより、不登校の改善を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	村内幼児児童生徒英語支援員配置事業	H25 ~ R2	幼児児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、英語支援員を配置する。	幼児児童生徒の英語等、語学力向上を図るため英語支援員を配置 ・認定こども園、小学校 2名 ・中学校 1名	・認定こども園・小学校 英検jr.取得率 ブロンズ 32%以上 シルバー 52%以上 ゴールド 15%以上 ・中学校2年生 到達度調査(英語)平均正答率 沖縄県との差:2.3ポイント以上 支援を受けた認定こども園児は、小学校へ進級して受験予定	【今後のスケジュール】 引き続き英語支援員を配置することにより、児童生徒の英検jr.の取得率や沖縄県学力到達度調査の正答率の上昇を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	学習支援教室委託事業	H28 ~ R2	中学3年生の高校進学への支援を行うため、学習支援教室(村営塾)を設置する。	学習支援教室(村営塾)を設置し中学生の高等学校への進学を支援する。 対象:中学3年生 ・開室期間:7月下旬~翌年3月・週3回 ・1回3時間 ・科目:英語・国語・数学・理科・社会 教務形態:委託	受講生の高校受験合格率:100%	【今後のスケジュール】 引き続き学習支援教室(村営塾)を設置し、中学3年生の高校進学を支援する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	環境保全・美化推進事業	H27 ~ R2	貴重な野生生物の保護や地域住民及び観光客の安全確保のため、ハブ・ネコ・イヌ対策を行う。	・賃金職員の配置(2人) ・各対策保護捕獲器の設置 (ハブ:30基、イヌ:3基、ネコ:30基) ・保護収容ネコの譲渡推進のための避妊去勢等の手術を実施	集落及び観光地内やその周辺におけるハブ咬傷被害の未然防止(咬傷被害0件) ネコ・イヌの野生化未然防止(ネコ・イヌによるヤンバルクイナの捕食5件以下)	【今後のスケジュール】 引き続き、ハブ・ネコ・イヌを保護捕獲し、保護収容ネコの譲渡を推進する。また、貴重な野生生物の保護と地域住民及び観光客の安全確保を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		多自然川づくり事業	H24 ～ R3	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	・河川工事の実施(L=178m) ・現場技術管理業務の実施	河川工事整備率 76%(912m/全体延長L=1,200m)	<p>【R4成果目標】 整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数 20人</p> <p>【今後のスケジュール】 令和2年度 ・河川整備工事、現場管理業務 令和3年度 ・河川整備工事、現場管理業務 令和4年度 ・供用開始</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 類似の商店街観光誘客イベントを参考に設定した。 類似の観察会(辺土名川水生生物観察会)等を参考に設定した。</p>

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	大宜味村観光情報発信整備事業	H24～R3	村産品を広く知ってもらい、売上増加に繋げるため、大宜味村産業まつりへの支援を行う。また、大宜味村の認知度向上を図るため、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を図っていく。	・産業まつり誘客イベント開催支援 ・PRイベント開催支援	大宜味村産業まつりの参加者数約5000名 PRイベントの参加者数約15,000名以上	【今後のスケジュール】 (産業まつり) 同時開催している国頭村までのシャトルバスを配置し、まつり参加者数の増加に繋げる。 雨降りなどの天候の悪い日はグラウンドなので足下が悪くなるため、別会場での開催も検討する。 (PRイベント) 新規開拓地も視野にイベント交流人口15,000人以上を目標に村内外にてPRイベントを実施する	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績及び今後の見込みを勘案して設定した。	
1	環境保全・美化推進事業	H28～R2	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	・賃金作業職員の配置(二人) ・賃金調査職員の配置(二人) ・各保護・捕獲器の設置(ハブ:30台、犬:3台、猫:10台) ・保護し譲渡したネコの去勢・避妊、マイクロチップ装着の実施	ハブ咬傷被害:0件 ヤンバルクイナの生息率:15.4%以上 保護した猫の譲渡:80件以上	【今後のスケジュール】 咬傷被害等の未然防止と野生生物の保護を継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 ・ハブ咬傷被害については過去の実績を参考に設定した。 ・ヤンバルクイナの生息率については、環境省が調査している数値を参考に設定した。 ・保護した猫の譲渡件数については、過去の実績を参考に設定した。	
1	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26～R3	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。	・護岸整備工事の実施 L=500m	・累計河川工事整備率 83% (2,158m/全体延長2,600m)	【R4成果目標】 ・整備した河川周辺で花見客数6,500名以上 ・整備した河川周辺での環境学習参加者数500名以上 【今後のスケジュール】 R2 護岸工事 R3 護岸工事・台帳整備	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	学習支援員配置事業	H25～R3	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。	・小学校3名(低・中・高学年 各1名) ・中学校2名(1年～3年 2名)	沖縄県学力向上到達度調査の5教科における県平均正答率との差:0ポイント以上 小学校 0.0ポイント以上 中学校 0.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 小学校は県平均正答率に達していないため、県平均以上を目指し、事業を継続していく。中学校は前年度目標数値を超えたため、目標数値を比較0まで引き上げる。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	地域支援員配置事業	H25～R3	不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。	・地域支援員配置数 教育委員会1人 (対象:小学校及び中学校)	支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合:100%	【今後のスケジュール】 現在不登校者0であり今後も事業を継続し、不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校者0を維持していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25～R3	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	生涯学習講座 12回以上開催	講座受講者数:400名以上	【今後のスケジュール】 今後も本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図るため、本事業を継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	児童生徒等県外派遣支援事業	H26～R3	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	児童生徒への県外派遣支援	児童・生徒が県内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、派遣された児童・生徒の保護者に対するアンケートにより、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 村内各学校と派遣に関する情報共有に努めて、事業を継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が県内ではできない経験をすることができたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	
3	カラキ活用推進プロジェクト	H28～R2	カラキを活用し、村内事業者の売上げ増に繋げるため、苗木の増殖実験・商品開発等を行う。	・挿し木の完了 ・定植苗配布 ・成分分析 ・ワークショップの開催 ・商品開発・市場調査 ・シンポジウムの開催	・挿し木の5,000本の完了 ・定植苗配布の実施 ・成分分析(年間の成分変動及び賞味期限)の完了 ・ワークショップの開催 ・商品開発・市場調査の完了 ・シンポジウムの開催	【R4成果目標】 開発した商品を活用した村内事業者:11店舗以上 【今後のスケジュール】 これまで加工方法や商品開発方法について検討した成果をもとに1次加工及び商品開発を行う。また、事業終了後については、増殖した優良系統のカラキ苗は農家へ配布して定植をする。	【R4成果目標設定の考え方】 村内の加工品販売店12店舗と飲食店9店舗のうち5割以上の活用を目標として11店舗と設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		喜如嘉の芭蕉布魅力発信事業	R1 ~ R2	喜如嘉の芭蕉布の保存継承を図るため、着物を制作しやんばるの森ビジターセンターに展示するとともに、イベントの際に着付け体験や作業体験等を実施する。	・喜如嘉の芭蕉布着物展示環境整備 ・着付け体験用着物制作	・喜如嘉の芭蕉布着物展示環境整備完了 ・着付け体験用着物制作完了	<p>【R3成果目標】 喜如嘉の芭蕉布及びその伝統工芸技術について、興味・関心をもてたか(80%以上)を含め、施設来場者に対するアンケートにより本事業の在り方を検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R2 ・喜如嘉の芭蕉布着物展示環境整備 ・喜如嘉の芭蕉布着物着付け体験用着物制作</p> <p>R3 ・PRイベント開催 ・事業検証</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が興味・関心をもてたと考えられる数値として80%以上を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化整備事業	H25 ~ R2	「東村村民の森つつじ園」の各施設の機能を強化するため、「東村村民の森基本計画」に基づき整備する。	外構工事の実施	外構工事の完了	【R3成果目標】 年間利用客数118,000人以上 【今後のスケジュール】 R2: 外構工事完了 R3: 供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 本村観光振興計画の目標値を基に設定した	
2	特別支援教育支援員配置事業	H27 ~ R3	教育上、特別な支援を必要とする幼児並びに児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する幼稚園並びに小中学校において特別支援教育支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。	特別支援教育支援員配置数 1小中学校に5名	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して幼稚園並びに小中学校へ支援員を配置し、幼児児童生徒の適切な学習環境の保持を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	東村総合農産加工施設機能高度化実証事業	R2	日本唯一のパン缶詰製造工場である東村総合農産加工施設において、現在手作業で行っているパン缶詰の芽取作業の自動化、機械化を図り、加工施設の慢性的な人員不足の解消及び歩留まりの向上を図る。	パン缶詰芽取機の開発及び検証試験の実施。	芽取機導入計画の策定完了 芽取機改造完了 芽取機テスト検証試験の完了	【R4成果目標】 パン缶詰 年間製造量 39,600C/S 年間歩留まり率 18% 【今後のスケジュール】 R3: 芽取機据付工事	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ	細							
1		人材育成事業	H24 ~ R3	南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」である。そこで、子どもたちの視野を広げることを目的として、山形県酒田市の児童生徒と文化学習会等の交流事業を行う。	小学生を対象に、山形県酒田市の児童生徒と文化学習会等の交流事業を行う。 派遣生徒数:36人	交流を通じて児童生徒の他文化に対する視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 継続的に交流事業を行うことで、子どもたちの視野を広げるきっかけとする。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		教育環境充実事業	H25 ~ R3	学力の向上を図るため学習支援員を配置する。また、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため特別支援員を配置する。	小中学校にそれぞれ学習支援員と特別支援員を配置する。 ・小学校（学）3人（特）6人 ・中学校（学）1人（特）3人	学習支援員 ・沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 1)小学生 +1.0ポイント以上 2)中学生 -9.1ポイント以上 特別支援員 ・対象となる児童生徒の学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒の学力や学習意欲の向上を図り、児童生徒が困ることなく、学校生活を送れるようにサポートを行う。	【R2成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		中高生海外語学留学支援事業	H25 ~ R3	海外でのホームステイ等を通じ、外国文化の交流を行うことで、国際的な広い視野を持つ人材育成を図る。	本村今帰仁中学校に在学する中学生2人をハワイ州に、北山高等学校に在学する本村出身高校生6人をジョージア州に2週間ホームステイさせる。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 留学生徒数の増加及び自己負担の軽減を図りながら、留学支援を継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		児童生徒等の県外派遣事業	H25 ~ R3	県外の人との競争や交流の機会を増やし児童生徒の視野を広げるため、村内児童生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	小・中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する	【今後のスケジュール】 今後も継続的に県外派遣の参加費の負担軽減を行いながら、県外での経験を積むことにより今帰仁村の次代を担う児童生徒の育成に努める。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			地域型就業意識向上支援事業	R2 ~ R3	農業が基幹産業の本村にとって高校卒業を機に村外へ出る生徒が少なくない。地域の良さや長所を違う場所から見たり、新しい環境に適応できる人材を育成する為、県外の世界を体験させ、より幅広い視野と選択肢を見つけるため、県外インターンシップ事業、プロデューサー育成事業等を行い、以て将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成に努める。	・キャリア教育コーディネート 通年1800名 ・キャリア教育に係る講演会 年2回 ・教育ファーム事業(対象:5年生)93名 ・プロデューサー育成事業(対象:小中高生)30名 ・県外インターンシップ事業(対象:中高生)10名	就業に対する意識が向上したか(80%)以上を含め、各プログラムに参加した児童生徒に対するアンケートにより本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の職業観を育み、将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の就業意識が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			教育支援整備事業	R2 ~ R3	特別支援教育の体制整備を推進し特別支援教育の充実を図るため、巡回相談員や教育支援指導員を配置する。	・臨床心理士による巡回相談(月1回3時間)を実施する。 ・教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施する。	対象となる児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した場合(61%以上)を含め、養護教諭や特別支援員へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 障害を有する児童生徒が、集団生活や日常生活に対応できるよう教育支援を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			教育相談事業	R2 ~ R3	児童生徒の不登校や問題行動等カウンセリング機能の充実を図る。	今帰仁村教育委員会へ教育相談員を配置する。 相談員 2人	不登校児童生徒の復帰率:4.0%以上 保健室、図書館、教育相談室等へ登校している児童生徒の教室復帰率:4.0%以上	【今後のスケジュール】 不登校や問題行動等の課題を抱える児童生徒や保護者の相談を受け、不登校の改善に努める。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の課題解決が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			環境保全美化推進事業	H24 ~ R3	本観光地として魅力的な景観形成を図る為、観光地及び観光ルートの美化を行う。	今帰仁城跡及び観光地の美化及び観光ルートの美化を行う。	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に村内観光地の美化及び、村が管理する道路の美化を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として魅力的な景観が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			観光力基盤強化事業	H24 ~ R3	観光誘客を図るため、村内で実施するイベントを支援する。	村内で実施する以下のイベントに対して補助を行う。 ・現代版組踊「北山の風」(11月・2月) ・古宇利ハーフマラソン(4月) ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり(2月) ・今帰仁まつり(8月) ・今帰仁ハーリー(8月) ・三村交流事業(11月)	・現代版組踊「北山の風」来場数:1,200人 ・古宇利ハーフマラソン村外からのエントリー者数:3,600人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:48,000人 ・今帰仁まつり来場者:10,400人 ・今帰仁ハーリー大会参加者数:780人 ・三村交流事業来場者:1,300人	【今後のスケジュール】 村の活性化を図るため、イベント等の支援を継続して行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	観光地安全強化事業	H24 ～ R3	主要観光地である世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、イベント時に、車輛の誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置する。	繁忙期である12月～2月に今帰仁城跡の駐車場及び横断歩道に交通整理員を配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件	【今後のスケジュール】 イベント時の来訪者の安全対策を図るため、今帰仁城跡に交通整理員を継続して配置する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ～ R3	今帰仁城跡付近を流れる今泊港川について、自然環境を最大限に活かした河川に整備し、魅力的な景観形成を図る。	今泊集落内を流れる普通河川(今泊港川)について自然環境を最大限生かした整備を行う。	全体計画における12.1%整備(累積整備率66.7%)	【R4成果目標】 魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 ・R3年度:河川の整備 ・R4年度:供用開始 ・全体整備計画 1120m(R3)	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ～ R3	今帰仁村には世界遺産・今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来城者に無料の案内ガイドが行われている。そこで、更なる観光誘客につなげることを目的として、研修等による学ぶ会の強化を行う。	世界遺産・国指定史跡今帰仁城跡の無料案内ガイドの実施、及びガイドの資質向上を図るための講演会・研修会の実施	ガイドによる案内者数 13,705名	【今後のスケジュール】 来訪者に今帰仁城跡の歴史等について正しく理解してもらうために、ガイドの資質向上につながる講演会や研修会を継続して開催する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	景観形成強化事業	H24 ～ R3	魅力的な景観形成を図る為、観光アクセスルート且つ、村の昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	・工事の実施 (仲宗根地区排水路設置、渡海原線排水路設置、運天排水路設置、仲宗根・渡喜仁張りコンクリート設置、湧川運天線側溝敷設、簡易舗装) ・用地測量の実施 (運天排水路設置工事) ・用地鑑定の実施 (運天排水路設置工事) ・用地取得の実施 (仲宗根地区排水路設置、渡海原線排水路設置、運天排水路設置)	・工事の完了 (仲宗根地区排水路設置、渡海原線排水路設置、運天排水路設置、仲宗根・渡喜仁張りコンクリート設置、湧川運天線側溝敷設、簡易舗装) ・用地測量の完了 (運天排水路設置工事) ・用地鑑定の完了 (運天排水路設置工事) ・用地取得の完了 (仲宗根地区排水路設置、渡海原線排水路設置、運天排水路設置)	【R4成果目標】 魅力的な景観が形成されたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 ・全体整備計画 H29～R3の5年間で観光アクセスルートを4.825kmを整備する。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	今帰仁村着地型観光推進事業	R1 ~ R3	本村の着地型観光を促進するため、民泊事業者等の受け入れ体制強化及び誘致活動を行い、新規教育民泊客の増加及びリピート校の確保を図る。	教育民泊事業者の受け入れ態勢の強化及び誘致活動を行う。 ・専属職員の配置 3名 ・受入民家を対象とした講習会 ・県外での誘致活動 等	令和3年度の民泊客(予約人数) 16,000人(70校) (内訳) ・新規30校 ・リピーター40校	【今後のスケジュール】 今後も継続的に教育民泊事業者の受け入れ態勢の強化及び誘致活動を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ~ R3	安定した素牛生産地の確立に向け、素牛のブランド化を推進するため、優良繁殖雌牛を導入する際に支援を行う。	今帰仁村和牛改良組合員が沖縄県農業協同組合の貸付牛等を導入する際に1頭あたり50万円を上限に支援を行う。 ・R2年度 21頭導入	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 112%以上	【今後のスケジュール】 ・今後も継続して優良繁殖雌牛導入支援を行い、安定した素牛生産地の確立に向け、素牛のブランド化を推進する。 ・導入全体計画 168頭(R3)	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿い等に花木の植付を行い、町ぐるみで花いっぱいの環境づくりを行う。	・プランターへの植付 = 1,191基 ・町花壇、観光アクセス道路沿い植栽マスの植付	観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じたか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に花木の植付を行い、地域ぐるみの花いっぱい運動を推進する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
1			ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R3	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲機設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	ハブ捕獲器を町内約550カ所に設置	ハブによる咬傷被害件数0件	【今後のスケジュール】 今後も継続的に捕獲器設置による駆除を行い、咬傷被害防止を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 咬傷被害件数0件を目指し、設定した。
1			伝統興行観光化事業	H25 ～ R3	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。	伝統興行の実施 2回 もとぶ元気夕市の実施 48回	闘牛・闘山羊大会来場者数:1,066人 もとぶ元気夕市来場者数:12,288人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントを定期開催し必要な整備を行うことで、観光客の誘致を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			園芸農業防災施設整備事業	H24 ～ R3	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の出荷量向上を図るため、台風対策用の強化型パイプハウスの導入を行う。	農業用施設整備の支援	強化型パイプハウス設置の完了	【R5成果目標】 パイン収穫量1,400kg以上(1棟当たり) 【今後のスケジュール】 今後も継続的に強化型ハウスの整備に必要な支援を行い、出荷量の増加を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 沖縄県農林水産部作成品目別技術・収益性事例(果樹編)のパインの収量を参考にして設定した。
2			もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ～ R3	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入の支援を行う。	優良母牛導入の支援	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合109%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に優良母牛の導入支援を行い、農家の経営の安定化に向けて、ブランド化を推進する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ～ R3	本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のリスト化) (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援) (県内外物産展等への出展支援)	新規取引契約数 10件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特産品PR及び販売支援を行うことで、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案し設定した。
2			もとぶ産業クラスター形成事業	H29 ～ R3	町内特産品製造事業者の特産品開発に係る助言や製造機械の導入の支援を行い、開発製造環境の向上を図る。	・もとぶ産品製造事業所の支援 (ブランディング) (製造環境の向上) (事業所連携による新たな特産品の開発)	特産品の開発支援の完了	【R3成果目標】 販売目標達成率:100% 【今後のスケジュール】 R2 特産品の開発支援(完成) R3 開発特産品の販売開始	【R3成果目標設定の考え方】 特産品が販売開始され、事業効果が発現されるR3年度の販売目標達成率を設定した。
2			農水産業担い手支援住宅整備事業	R1 ～ R3	農業及び漁業の新たな担い手確保のため、農水産業担い手支援住宅を建築し、産業振興及び定住促進の推進を図る。	・産業支援住宅の実施設計、土地調査測量業務及び用地購入の実施	・産業支援住宅の実施設計、土地調査測量業務及び用地購入の完了	【R4成果目標】 基本計画の中で、整備戸数を設定し、全戸数の担い手の入居を目指す。 【今後のスケジュール】 R2 実施設計・測量業務 用地購入 R3 建築工事 R4 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 基本計画で設定した戸数を設定する。
3			本部型就業意識向上支援事業	H29 ～ R3	町内小中高校生の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、インターンシップ等を行い、町内産業への理解や興味を深めてもらう。	ジョブシャドウイング、職場体験、インターンシップの実施(9校) 教職員向けマナー研修の実施(1回) 企業プレゼン大会の実施(1回) 町内企業体験学習会(わくわくワーク)の実施(3回)	働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、小中高生へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に産学官の連携したキャリア教育を行い、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が町内産業への理解や興味が深まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			本部町学力向上学習支援事業	H26 ~ R3	町内小・中学校に学習支援員等を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行うことにより、学力の向上を図る。	・町立小学校 4校へ配置 ・町立中学校 3校へ配置	令和2年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 - 6.6ポイント以上 中学校 - 4.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習支援員等を配置し、児童生徒の学力に応じた学習指導等を行うことで、学力の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ~ R3	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休みを利用し町内中高生を英語圏へ短期間派遣する。	町内の中高生を英語圏へ短期間派遣(3週間)	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内中高生を英語圏へ派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
4			特別支援教育環境充実事業	H28 ~ R3	特別な支援を要する園児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを派遣することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員 8名配置 スクールソーシャルワーカー 2名配置	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
5			本部港本土航路開設支援事業	R2	本土航路の開設及び維持を支援するとともに、接岸及び荷役に必要な安全設備を整備し、航路の安定化を図る。	東京・大阪航路の運航(週1回) 悪天候や船舶整備点検時を除く。	1寄港あたりの平均積貨物量:444t/回	【今後のスケジュール】 東京・大阪航路開設の支援を行い、航路の安定化、継続を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ~ R3	観光客や地域住民のハブ咬傷被害防止を図るため、村南部に生息するタイワンハブやタイワンスジオの駆除を行う。今年度はハブ捕獲器を450箇所に設置する。	・ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数: 450箇所	・捕獲器設置周辺における咬傷被害件数: 0件	【今後のスケジュール】 ・仲泊・前兼久地区の調査 ・拡散防止の強化 ・捕獲数増加エリアに対して捕獲器設置数増加	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した	
1	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ~ R3	観光誘客を図るため、各種イベントやプロモーション活動を実施するとともに、情報媒体を整備する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人を配置する。	・観光誘客プロモーションの実施 ・イベントの開催 ・観光案内人の配置 ・観光誘客人の配置 ・情報媒体の整備	・イベント観覧者数: 15,000人以上 ・村内主要ホテルへの年間宿泊客数: 延べ287万人以上 ・観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 観光誘客プロモーションやイベント活動をはじめとして、地域資源を活用したPR活動及び観光案内人の育成等を継続して行う。	【R2成果目標設定の考え方】 ・イベント観覧者数、宿泊客数 過去の実績を勘案して設定した。 ・観光案内所利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	あしびなー施設整備事業	H29 ~ R2	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、仲泊地区に観光交流施設を整備する。今年度は新築工事を行う。	・新築工事の実施	・新築工事の完了	【R3成果目標】 供用開始後(令和3年度)の目標を以下のとおりとする。 ・体験学習講座受講者数: 1,680人以上/年 【今後のスケジュール】 令和3年度 供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 基本構想に示す体験学習講座受講者数を設定した。	
2	恩納村通信所跡地活用基盤整備事業	H28 ~ R2	駐留軍用地跡地である恩納通信所跡地の円滑な利用の推進に向け浸水被害の防止を図るべく、基盤整備を実施する。今年度は、排水路の整備(第3期改修工事)を行う。	排水路上流部の排水路整備工事(第3期改修工事)の実施。	排水路上流部(392m)の完成。	【R3成果目標】 台風時等の被害件数(勢高排水路の氾濫): 0件 【今後のスケジュール】 ・令和2年度: 工事実施 ・令和2年度3月: 供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	特別支援教育支援員配置事業	H29 ~ R3	特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	・特別支援教育支援員充足率 100% 特別支援教育支援員配置数 幼稚園4園: 4人 小学校5校: 9人 中学校1校: 3人	特別支援教育支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする児童生徒の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象となる園児児童生徒の保護者のうち大多数が困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ～ R3	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、防球ネット、テント設置やグラウンド黒土搬入等を行う。	阪神春季キャンプの受入体制の構築 ・野球場防球ネット、エアアーチ、パワーテント、テント等設置 ・キャンプ会場の衛生管理 ・野球場、総合グラウンド黒土搬入	・阪神春季キャンプ見学者数(87,000人)	【今後のスケジュール】 関係団体(観光協会、商工会)との連携をして集客と滞在時間の延長を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ R3	宜野座村文化センターがらまんホールを中心にグローバルな教育・観光振興、人材育成、宜野座村の魅力アピールし村全体の活性化を図る事業として「文化イベント事業」、「お出かけアウトリーチ事業」を実施する。	【がらまんホール公演】 「伝統芸能」「音楽コンサート」「創作演劇」「ワークショップ」など様々な芸術文化・伝統芸能公演を17回以上開催する。 【お出かけ公演】 教育施設、福祉施設、観光施設等で文化事業を行い、文化芸術を通して交流できる芸術普及活動を6回以上行う。	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(2,520人以上) ・お出かけ公演実対象者数(2,625人以上)	【今後のスケジュール】 H24～R3 ・芸術文化・伝統芸能公演の開催:17公演以上/年 ・お出かけ公演実施:6公演以上/年	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。	
1	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H24 ～ R3	宜野座村への観光誘客を図り、着地型観光を推進するため、観光誘客プロモーション活動や年間を通じたイベントの開催、観光関連人材の育成等を行う。	・観光誘客プロモーション活動の実施(関西/関東地域、沖縄県内、関東/東北地方団体誘致等) ・観光プログラムの開発事業の実施 ・観光人材育成事業の実施 ・年間を通じた村内イベントの開催(3回) ・外部専門家(アドバイザー)招請によるSNSなどの情報発信技術の向上と、アンケートの解析を行う。	・宜野座村の観光入客数(25万人)	【今後のスケジュール】 観光関連人材の育成、誘客プロモーションの強化やイベントを開催して地域資源を活用した着地型観光を継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	宜野座村美ら島花火大会事業	H28 ～ R3	秋の行楽シーズン、スポーツの盛んな季節において、宜野座村を訪れている観光客等に対し、宜野座村の観光資源である、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公園を中心とした場所において、大花火大会を開催し宜野座村の魅力を発信することにより観光誘客を図る。	・花火の打上 ・ステージイベント(伝統芸能等) ・PRチラシの作成 ・警備員の配置	美ら島花火大会集客数(11,200人/2日間)	【今後のスケジュール】 開催の時期、内容等を検討しながら効果的に開催し、観光誘客を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			宜野座村文化センターがらまんホール機能強化事業	H27 ～ R3	村の文化振興の中心的施設である宜野座村文化センターがらまんホールの各種機器の機能を強化し更なる高度な文化事業が行えるよう整備することで、村内外からの入場者数増加を図る。	常設音響システム整備の実施	常設音響システムの整備完了	<p>[R4成果目標] 令和4年度の目標を以下のとおりとする。 ・年間入場者数19,475人以上</p> <p>[今後のスケジュール] ・R2:常設音響システムの高度化 ・R3:常設照明の高度化</p>	[R4成果目標設定の考え方] 過去の実績等を勘案して設定した。
1			農村沿道景観向上事業	R1 ～ R3	魅力的な自然環境観光地を形成するため、リゾート観光客の散策路(農道)の美化に努める。	・美化作業員配置3名	観光地として魅力的な景観であり、散策の際には安全で快適な散策路であったか(80%以上)を含め、観光客にたずねるアンケートにより本事業のあり方を検証する。	<p>[今後のスケジュール] 景観を向上させることで、観光振興につなげていく。</p>	[R2成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数が安全で快適な散策ができたと考えられる数値として設定した。また、本事業のありかたについて、アンケートにより検証する。
2			小学校学力向上対策事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、個々の児童の学力に応じた学習指導等を行う。	・学習支援員配置数 松田小学校2名 宜野座小学校4名 漢那小学校2名	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 対象科目:小学校3年・4年・5年・6年(算数)	<p>[今後のスケジュール] 学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。</p>	[R2成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
2			中学校学力向上対策事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導を行い、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を中学校に配置し、生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行う。	・学習支援員配置数等 宜野座中学校 5名 (英語、国語、数学、理科、社会各教科1名)	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 対象科目:中学校2年(国語・数学・英語・理科・社会)	<p>[今後のスケジュール] 学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。</p>	[R2成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
2			幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R3	村立3幼稚園へ通園している共働き世帯等の園児を対象に、育児の負担軽減を図り、安心・安全で充実した育児を行うため、村立幼稚園において預かり保育を実施する。	・預かり保育担当職員配置数 松田幼稚園2名 宜野座幼稚園2名 漢那幼稚園2名	育児負担が軽減されたか(80%以上)を含め、対象園児の保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	<p>[今後のスケジュール] 村立3幼稚園で継続して預かり保育事業を実施することにより、保護者が安心・安全に子どもを預け就労できる環境の確保に努める。</p>	[R2成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数が安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	宜野座村ジュニア海外語学研修派遣事業	H28 ~ R3	夏休みを利用し、引率者1名・村内の中学生6名を英語圏へ短期間派遣し、語学研修を実施する。生きた英語に触れることにより、今後の英語学習への意欲を高め、また異文化体験することにより、広い視野で物事を捉える人材育成を目指す。	中・高校生6名を英語圏へ派遣。	海外語学後研修から帰国後、国際的な広い視野が持てたか(80%以上)を含め、対象となる生徒の保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も中学生を派遣し広い視野をもった人材を育成していく ・海外語学研修派遣者数(累計)H33年度 36人 ・現地プログラムの充実	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野がより広まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	有機の里宜野座村確立事業	H24 ~ R3	有機の里宜野座村を目指し、沖縄県環境保全型農業推進協議会の認証を受けたエコファーマーの増加並びにエコ農産物の販売量の拡大を図るため、減農薬や減化学肥料による環境保全型農業を推進する。	栽培指導回数(480回) 生産販売目標(116t)	エコ農産物販売目標(116t)	【今後のスケジュール】 エコ農産物の生産拡大を図るため、令和2年度まで継続して栽培指導及び販路拡大を行っていく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	さとうきび営農指導委託事業	H28 ~ R2	本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による管理作業の指導・担い手を確保し、さとうきび生産の活性化を図る。	さとうきびの営農指導・巡回指導を実施	令和2年度さとうきび生産量5,441t	【今後のスケジュール】 営農指導によって、農業者一人一人のほ場管理の向上や、担い手の確保を行いながら、村内の生産量の向上及び成果目標の達成につなげていく。	【R2成果目標設定の考え方】 沖縄県令和2年さとうきび生産振興計画(案)を元に設定	
4	観光景観向上対策事業	H27 ~ R3	村指定の観光地である松田鍾乳洞に繋がる洞窟等に不法投棄が多く、景観が損なわれているため、監視カメラを設置及び観光地ルートに専属の監視員を配置し、洞窟に放置された不法投棄物の撤去を効率的に実施、また、粗大ゴミを解体することで粗大ごみ置き場周辺の景観向上を図る。	作業員配置2名 ・監視カメラによる監視 ・観光ルートのパトロール ・放置された不法投棄物の撤去	・観光地における不法投棄件数:10件以下/年	【今後のスケジュール】 不法投棄を減少させ、景観を向上させることで、観光振興につなげていく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	危険生物駆除捕獲事業	H27 ~ R3	外来種のタイワンハブやタイワンスジオ等の捕獲箱による村内への侵入防止、ハブ、ハチ等が村内で頻繁に発見されていることから、観光客や修学旅行生の咬傷事故が予想されるため、積極的に捕獲・駆除を行うことで、観光地としての安心・安全を図る。	・観光各所のパトロール:12回/月 ・本村では発見されていない外来ハブの進入防御、ハブ捕獲器設置箇所:村内150箇所 人件費(中)2名 ・ハチ等の捕獲・駆除体制の整備	観光客及び住民のハブの咬傷件数:0件	【今後のスケジュール】 観光客が安心して観光できるよう安全を確保し、入客数が増加するよう努める。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	宜野座村企業誘致推進事業	H28 ~ R3	定住人口増加の基盤となる雇用の創出を促進するため、企業誘致活動・広報活動等を行う。	県内外のITイベントへのPRブースの 出展。 宜野座村への招聘セミナーの実施。	県内外のITイベントへのPRブースへの 来場者数。250名 宜野座村への招聘セミナーの実施。 32名/16社	【今後のスケジュール】 令和元年度事業にて接触した企業へも積極的にフォローアップ営業をかけながら、一社でも多くの新規進出企業の獲得及び成果目標の達成につなげていく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
6	世界のギノザンチュ子弟研修生受入事業	H29 ~ R3	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、宜野座村出身の海外移住者子弟を受け入れ、研修及び、村民との交流を行う。	宜野座村海外移住者子弟4名を招聘し、3ヶ月間の研修を実施する。 (受入相手) ・ペルー、アルゼンチン、ブラジル、ハワイ州	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め受入れた研修生へのアンケートにより本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 ・子弟研修生受入4人 / 各年度の継続した取り組み (事業実施後の取組み) ・子弟研修生が村立小学校等で出前授業を行い、村民の国際理解教育に繋げる。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄の文化や歴史により興味を持ったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

19 金武町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	プロスポーツ受入事業	H28 ～ R3	プロスポーツキャンプを継続して受け入れる基盤強化を図るため、体育施設の芝管理等を行う	プロスポーツ受入体制構築(テント設置、プレハブ設置) 競技環境の整備(芝管理、グラウンド整備) プロスポーツ受入の実施 見学者受入体制の整備(清掃、警備) スポーツ教室の開催	R2年度プロチーム5チームの受入	【今後のスケジュール】 引き続き前年度と同様なプロチームの受入を行い、町のスポーツ振興及び観光振興に寄与する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	金武町観光振興等推進事業	R1 ～ R3	観光誘客及び観光客の利便性向上を図るため、誘客プロモーションや観光案内・誘導サインを整備する。	本町の観光振興に向けて、観光関連団体と他産業との連携を強化し、戦略的な観光振興を推進する。	イベントの実施 5つのイベントの来場者数:8,411人 観光物産PRの実施等 観光物産展来場者数:3,182人 観光ポータルサイトアクセス数: 116,287件	【今後のスケジュール】 魅力ある観光地の整備、県内外における本町の認知度向上活動及び誘客イベントの開催により誘客数の増加に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	金武町就職活動支援補助事業	H27 ～ R3	雇用の拡大を図るため、求職者に対する職業相談等を行う。また、児童・生徒の就職意識の向上を図るため、キャリア教育を行う。	求職者等に対する職業相談や求人・求職等の情報提供、各種講座、キャリア教育等を実施。	就業率10%以上 キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き職業相談や講座、セミナー等を実施し、雇用拡大を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 ・就業率は過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち、大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	小中学校学習等支援事業	H24 ～ R3	児童・生徒の学力(英語)の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	小中学校学習等指導員配置数:7人 (内訳) 日本人英語指導員:小学校2名 外国人英語指導助手:小学校2名、中学校2名 英語コーディネーター:教育委員会1名	小学校 児童英検(シルバー)において、全国平均との平均正答率の差 -4%以上 中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格率31.6%以上	【今後のスケジュール】 引き続き小中学校へ日本人英語指導員及び外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置し、サポートしながら児童・生徒の学力(英語)向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R3	保護者の育児における負担感の軽減を図るため、預かり保育を実施する。	預かり保育の実施 対象:中川幼稚園児 実施場所:中川幼稚園 支援員:4名	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検討する。	【今後のスケジュール】 引き続き保護者の育児負担を軽減し、就労の促進を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

19 金武町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	特別支援教育支援事業	H24 ~ R3	支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習や学校生活面においてのサポートをおこなうため、特別支援教育支援員を配置する。	特別教育支援員配置数 16名 (内訳) 小学校11名 中学校4名 幼稚園1名	特別支援員教育支援員の支援により学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%)以上を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き対象となる幼児・児童・生徒へ特別支援教育支援員を配置し、個々に応じたサポートを行う。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が学校生活や学習上の困難が改善されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	デジタル教科書購入事業	H28 ~ R3	令和2年度の教科書改訂に伴い、学習環境を整備する必要があることから、デジタル教科書を購入し生徒の学習意欲の向上を図る。	デジタル教科書整備 小学校 27本 対象学年:1年~6年 対象教科:国語、算数、理科、社会、英語	学校評価における児童生徒の評価で、事業の楽しさや分かりやすさについての評価項目で「評価3以上」(4段階評価)	【今後のスケジュール】 従来の教科書に加えICT教育などのインターネットの活用や教員と児童生徒間の双方向性のある事業展開を実施し、学習意欲の向上及び幅広い教育の充実を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が学習意欲向上したと考えられる数値として設定した。	
3	金武町ハワイ短期留学派遣事業	R2 ~ R3	現地での授業やホームステイ先での生活の中で、より実践的な英語を学ぶ・体験することにより幅広い視野と国際感覚を養うことで、時代のニーズに対応する人材の育成を図る。	町内在住の中学生・高校生(6人)及び引率教師(1人)をハワイへ派遣 「金武町ハワイ派遣事業体験記」の作成及び発刊(帰国後)	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き海外において異文化等を体験できる機会を確保し、人材の育成に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な広い視野が持てたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
4	金武町海外移住者子弟等研修生受入事業	H29 ~ R3	海外と本町を結び懸け橋となる人材育成を図るため、海外移住者子弟等研修生を受け入れる。	受入人数:3人 研修期間:8月~12月(4ヶ月間) 研修報告:1回(閉講式)	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、受け入れた研修生へのアンケートで本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き伝統芸能や文化教養の継承及び人的な交流を通して、移住地と本町の懸け橋となる人材を育成する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が沖縄の文化や歴史に興味を持ったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	金武町移民の日記念事業	H29 ~ R3	本町の移民の歴史を継承するため、顕彰式等を実施する。	顕彰式の開催 當山記念館等を活用した移民関連の学習会を開催 公演等の記念事業の実施	移民の日関連事業参加者数:約500人以上	【今後のスケジュール】 引き続き移民発祥の地として、當山久三の偉業・功績を顕彰し、移民の歴史の周知及び国際感覚豊かな人材育成に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	1	伊江村ハブ対策事業	H27 ～ R3	本村に生息するハブによる健康被害から村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲機を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ生息地の清掃実施 (26,000㎡清掃) (捕獲器15基設置)	・ハブ咬傷による被害件数0件	【今後のスケジュール】 危険生物であるハブを駆除することにより、地域住民及び観光客にとって脅威となるハブの健康被害を無くし、安全な生活環境の整備を継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	1	村立保育所整備事業	R1 ～ R2	幼児が安心・安全で快適に過ごせる保育環境の整備、多様化する保育ニーズへの対応、及び保護者の子育てと就業の両立を図るため、保育所を整備する。	・保育所建築工事の実施 ・電気設備工事の実施 ・機械設備工事の実施 ・周辺整備工事の実施	・保育所建築工事完了 ・電気設備工事完了 ・機械設備工事完了 ・周辺整備工事完了	【R3成果目標】 ・待機児童数0名 ・幼児が安心安全に過ごせる環境が整備されたか(80%以上)を含め保護者へアンケートを実施することにより本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 R2 建築工事等 R3 供用開始	【R3成果目標の考え方】 ・過去の待機児童の実績を勘案して設定した。 ・保護者が安心安全な保育環境が整備されたと考えられる値として設定した。また、アンケートによって本事業のあり方を検証する。
3	1	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ R3	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。そのため、自動車航送運賃コスト負担の軽減を目的に助成を行うことで定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	車両航送に対する運転手1名分の運賃補助	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 車両航送に対する補助を行い、離島の地理的地理的条件による不利性を軽減することで、定住促進への取り組みを継続して実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートの実施により継続して検証していく。
4	1	村花・世界のゆり植栽推進事業	H24 ～ R2	観光誘客を図るため、村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。	ゆりの植栽 テッポウユリ 55,000球 世界のゆり 35,000球	第25回伊江島ゆり祭り来場者数 R2年 33,000人	【R3成果目標】 品質の良い球根確保とイベント企画による来場者数の増 (R3目標 40,000人)	【R2成果目標設定の考え方】 前年度を上回ることを目標として数値を設定。 【実績】 ・H29:30,000人 ・H30:26,000人 ・R1 :36,000人
4	2	観光地クリーン事業	H27 ～ R2	魅力的な観光地としての景観形成及び観光客数の維持・増加を図るため、観光地の環境美化及び保全をし、観光客の受け入れ体制を強化する。	・観光地環境美化保全 【主な美化保全観光施設】 ・城山周辺、リリーフィールド公園、ミースイ公園、伊江港周辺、ニャティヤ洞、湧出、青少年旅行村	・魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光地の継続的な環境美化及び保全に努め、観光客数の維持、増加につなげるべく観光振興の取り組みを継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	3	観光誘客整備事業	H26 ~ R2	<p>村の観光振興を図るため、青少年旅行村リニューアル基本設計の策定、伊江村観光情報発信調査業務、ゆり祭り誘客事業、その他イベント等による観光誘客を行う。</p>	<p>誘客整備に係る取組 ・コインシャワー施設の整備 ・伊江村青少年旅行村リニューアル基本設計の策定 ・観光情報発信調査業務の実施</p> <p>誘客推進に係る取組 ・「ゆり祭り」における無料送迎バスの実施 ・県内外観光イベント等でのPR活動の実施</p>	<p>青少年旅行村来場者数 R2: 30,000人</p> <p>・ゆり祭り来場客に対して、アンケート調査を実施、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 ・集客イベントでのブース来場者数 【県外】 OKINAWA祭り: 1,000名 緑十字機を語り継ぐ会: 500名 民俗芸能関東公演: 500名 【県内】 やんばる産業まつり: 500名 離島フェア2020: 1,500名</p>	<p>【今後のスケジュール】 誘客整備に係る取組 ・伊江村青少年旅行村基本設計に基づき旅行村の機能拡充に向け検討していく。 ・調査結果を検証し、情報発信機器などの導入を検討する。</p> <p>誘客推進に係る取組 ・来島者へのアンケート調査を実施し効果を検証する。 ・県内外において、継続したPR活動を実施し、伊江村への観光誘客に繋げていくための取り組みを実施する。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 前年度を上回ることを目標として数値を設定。 【実績】 H28: 30,000人 H29: 29,000人 H30: 27,000人</p> <p>ゆり祭り来場客のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。</p>
5	1	確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25 ~ R3	<p>児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより学力の向上を図るため、学習支援員等を配置する。</p>	<p>・学習支援員の配置 小学校(2校6人配置) 中学校(1校3人配置)</p>	<p>・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 2ポイント以上上げて県平均を上回る 中学校 4ポイント以上上げて県平均を上回る</p>	<p>【今後のスケジュール】 正答率30%未満の児童生徒の割合を小学校で10%以下、中学校においては各教科において30%以下に減らすべく取り組みを継続的に実施していく。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。</p>
5	2	各種大会派遣費助成事業	H25 ~ R3	<p>村外の児童生徒との競争や交流の機会を増やし、広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ活動・文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。</p>	<p>各種大会派遣費の助成: 1,550人</p>	<p>・対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 派遣費助成人数(累計) R3年度: 約15,000人</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートの実施により継続して検証していく。</p>
6	1	伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ~ R3	<p>高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への就業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングや職業人講話等を実施する。</p>	<p>・小学生37名 中学生118名 ・企業訪問・体験1回 ・職業人講話4回 ・卒業生による進路講話1回 ・島のみりよく発見1回</p>	<p>・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 大多数の児童生徒(80%以上)に就業意識の向上が図られるよう展開していく。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 児童生徒の就業意識向上が目的であるため、大多数の児童生徒が目的達成したと考えられる指標として「80%以上」と設定した。</p>

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	1	重要無形民俗文化財「伊江島の村踊」保存継承事業	R2 ～ R3	村の伝統芸能である「伊江島の村踊」の保存継承を図るため、小学生の指導教室や関東近郊での公演会の開催、HPでの情報発信強化を実施する。	・小学生への指導教室、学習発表会の実施 ・HPや離島フェアでの情報発信強化 ・関東近郊での重要無形文化財「伊江島の村踊」公演会の開催	指導教室への参加児童生徒：49人	【今後のスケジュール】 引き続き指導教室、学習発表会に取り組みとともに、R3年度には保存継承番組を制作する。	【R2成果目標設定の考え方】 目的は伝統芸能及び文化の保存継承であるため、多くの児童生徒や若者が「伊江島の村踊」を体験し指導を受けることで目的を達成できると考え設定した。 参加対象者である伊江小学校及び西小学校の5年生：49名の参加を成果目標として設定した。
8	1	離島における陸上養殖可能性調査事業	H30 ～ R2	村の漁業振興を図るため、スジアオノリの試験栽培を行い陸上養殖の可能性を検討する。	・試験栽培の実施	・試験栽培による品種の選定	【今後のスケジュール】 R3 実施設計及び施設整備 【R4成果目標】 調査及び試験栽培を踏まえて生産量目標値を設定し、当該数値を目標とした陸上養殖を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 調査結果及び試験栽培を踏まえて生産量目標値を決定する。

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業	H24 ～ R3	スポーツキャンプを中心に、各種スポーツ大会・試合・キャンプ・合宿・スポーツイベント等の更なる誘致促進、受入体制の強化を目的とする。また、それに伴い、本村でのスポーツキャンプが定着化している地域で、観光誘客イベントを行うことで、ファン層などの観光客を村内へ誘客する。また村内でもスポーツコンベンション受入の機運を高める取り組みを行う。	・各種スポーツキャンプ・大会等誘致活動(4回) ・観光誘客活動(4回) ・観光誘客イベントや、キャンプ期間中の集客について事業委託を行う。	・スポーツコンベンション誘致件数 28件以上 ・イベント観客数80,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数 35,400人以上	【今後のスケジュール】 スポーツキャンプ・大会等の誘致を行い、『スポーツキャンプ地読谷村』としての認知を高めることで持続的なスポーツコンベンション受入と、経済波及効果の向上に繋がると考える。そのためキャンプ・大会誘致等の継続的な誘致と、観光誘客イベントを行う。また、村内でもスポーツコンベンションの受入の機運を高める。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	危険生物駆除事業	H25 ～ R3	より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。	・観光地周辺を含む村内各地に、ハブ捕獲器300器設置 ・定期的な巡回・管理の実施及び処分 ・餌用マウスの飼育(繁殖)管理 ・危険周知看板100枚の管理	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件	【今後のスケジュール】 咬傷被害場所や、設置箇所における捕獲数等を参考に、設置箇所の変更等柔軟に事業を執行し、個体数の減少、咬傷被害0件を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 咬傷被害の未然防止を図る目的を踏まえ、設定した。	
1	ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)	H25 ～ R3	本村の認知度向上を図るため、観光情報番組のみたんラジオを放送する。	・コミュニティFM放送を活用した観光情報の提供 ・レンタカードライブMAPへの記事掲載	メール受信件数:1,104件	【今後のスケジュール】 今後もラジオ放送を通じた観光情報の提供や村内観光地への誘致を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	読谷にーびち観光客誘致事業	H29 ～ R3	リゾートウェディングを目的とする観光客を誘致するため、国内外でプロモーションを実施する。	・国内・国外でのプロモーション(3回) ・パンフレットの作成(1万部)	リゾートウェディング数 2,412組	【今後のスケジュール】 リゾートウェディング実施組数の更なる増加にむけ、引き続き国内外でのプロモーション活動を進めていく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	世界遺産座喜味城跡活用事業	H25 ～ R3	本村における冬場及び夜間の観光スポットを創出するため、座喜味城跡のライトアップ等を実施する。	座喜味城跡のライトアップの実施(64日間)	ライトアップ期間中の入場者数 11,000人	【今後のスケジュール】 冬場及び夜間の観光スポットとして根付くように継続的にライトアップ事業を取り組んでいく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 (H27実績 10,476人であることから、その数値を上回る人数で設定)	
1	川回る広場整備事業	H30 ～ R2	ソフトボール競技の公式戦及びキャンプの誘致を図るため、川回る広場を整備する。	川回る広場の整備を行う(工事・現場監理・備品購入)	工事及び備品購入の完了	【R3成果目標】 ソフトボール競技公式戦の誘致 5件 ソフトボールチームのキャンプ誘致 6件 【今後のスケジュール】 令和3年4月 供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 隣接施設の実績を参考に設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	ゆんたんざウタイムチ推進事業	R2 ~ R3	本村の観光の現状や課題の分析を行い、今後の観光振興の方向性を示す読谷村観光振興計画を策定し、計画に基づく施策を推進する。	・第2次読谷村観光振興計画の評価・検証 ・観光振興に係る基礎調査・分析 ・検討委員会の開催	・第2次読谷村観光振興計画の評価・検証の完了 ・観光振興に係る基礎調査・分析の完了	【R4成果目標】 策定する観光振興計画の中で、主要観光地の入込客数等、観光振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R4～ 計画に基づく各事業の実施	【R4成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標に向けた観光振興施策を実施していくことを目的として設定した。	
2	特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ R3	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	村立幼稚園、小中学校に19名の特別支援教育支援員を配置する ・村立5幼稚園:各1人 ・村立5小学校:各2人 ・村立2中学校:各2人 必要に応じて支援人の配置に増減あり 教育委員会に特別支援教育専門員を1名配置	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援員を配置し、対象児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証し、評価者は対象となる児童生徒の保護者とする。	
2	ICT機能強化事業(中学校デジタル教科書)	R2	ICT機器活用により学校教育の質の確保を図るため、中学校にデジタル教科書を整備する。	村立2中学校へデジタル教科書を整備	村立2中学校へのデジタル教科書整備完了	【R3成果目標】 デジタル教科書を活用した授業がわかりやすかったかの割合80%以上 【今後のスケジュール】 デジタル教科書・デジタル教材を活用した授業を展開する事により、「わかる授業」「確かな学力」を育成する事ができ、児童生徒の興味・関心を高め学習意欲の向上を図り、学力向上に結びつける。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数において授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。	
3	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25 ~ R3	現在では日常生活で会話することも少なくなった沖縄語の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語(動植物名、生活道具など)をわかりやすく学び、親しむためのデータベースを作成・公開し、沖縄語になじみの薄い児童生徒らに沖縄語の教材を提供する。	・沖縄語(しまくとぅば)音声の文字興し ・村内各地域の民話・単語・音声表記をインターネットで公開する。	HP(データベース)アクセス数:800件	【今後のスケジュール】 令和3年度までデータベースを作成し、公開する。	【R2成果目標設定の考え方】 令和元年度小冊子発行部数が1,000冊であることを基準とし、小冊子の8割を見込む。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ R3	村内在住の中学生を英語圏へ派遣する。	海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成する。	保護者を対象としたアンケートを実施し、帰国後に国際的な視野が広まったと回答した割合80%を目標とする。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に派遣を実施し、国際的な視野を持つ人材の育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の生徒の国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5		読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ～ R3	読谷村では、1978年に策定した「ヤチムンの邑」基本構想により、村づくりの中江ヤチムン(琉球陶器)の振興を推進してきた。今後のヤチムンの持続的発展を目指し、県外マーケットにおいてマーケティングを行うとともに、プロモーションを行い、販路拡大や人材を育成する。また、併せて村内工芸品である花織・琉球ガラスの販路拡大を図る。	・テストマーケティング、物産展への出展(1回) ・展示会の出展(2回) ・周知用媒体ツールの作成	・陶器市の来場者数 14,589人 ・物産展売上金額 70,000円 ・展示会商談数 10件	【今後のスケジュール】 今後も継続的に県外プロモーションを実施し、本村の工芸品の認知度を高め、販路の拡大及び現地消費を目的とした観光誘客を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6		低炭素社会構築事業	H30 ～ R2	積極的な省エネルギー設備の導入により、環境負荷の少ない低炭素社会の構築と自然豊かな環境に配慮した村づくりの推進を図るために、防犯灯等をLED照明に代替、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。	LED照明整備工事の実施	R2年度分防犯灯のLED照明整備工事の完了	【R3成果目標】 防犯灯のLED化によるCO2排出削減量 268.5t-CO2 【今後のスケジュール】 H30 防犯灯現況調査 R1 LED照明整備工事 R2 LED照明整備工事	【R3成果目標設定の考え方】 既存照明からLED照明に切り替えた際のCO2排出削減量を基に設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	比謝川緑地広場整備事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、比謝川緑地に自然体験・交流拠点施設や広場等を整備する。	・自然体験センター建設工事の実施 ・展示物計画設計委託業務の実施	・自然体験センター建設工事の完了 ・展示物計画設計委託業務の完了	【R4成果目標】 年間利用客数：延べ12,240人以上 【今後のスケジュール】 R1 進入路、通路の整備工事 R2 自然体験センター建設工事 R3 広場整備、外構工事	【R4成果目標設定の考え方】 施設の受入可能人数を勘案して設定した。	
1	屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業	H25 ～ R3	施設利用者の増加を図るため、地域振興施設の機能拡充(展望台及び広場の拡張、飲食物販施設の増築、駐車場整備等)を行う。	建築工事の実施	建築工事の完了	【R4成果目標】 年間利用客数77.9万人 【今後のスケジュール】 R2 施設建築工事 R3 外構工事・供用開始 R4 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績及び沖縄県観光振興基本計画を参考に設定した。	
1	観光史跡等説明板整備事業	H24 ～ R3	町の歴史・文化の継承及び町文化財を活用した観光誘客を図るため、町史跡、旧跡等へ多言語表記した説明板を設置する。	町内の観光史跡等に説明板を設置する(2箇所)	観光史跡等説明板の整備率100%	【R4成果目標】 町文化財を活用した学習会等への参加人数100人以上 【今後のスケジュール】 町文化財を活用した学習会等を実施するとともに、説明板設置個所のパンフレットを作成・配布しPRしていく。	【R4成果目標の理由】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	学習支援員配置事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、小中学校に学習支援員を配置し、個々の実態に応じた学習指導を行う。	学習支援員の配置数 小学校：4人 中学校：2人	沖縄県学力到達度調査(算数・数学)において、県と本町との平均正答率の差 小学校：-4.4ポイント以上 中学校：-9.3ポイント以上	【今後のスケジュール】 学習支援を要する児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員の役割を正答率30%以下の児童生徒を重点的に支援し、補習等の内容や対象者を見直すことで正答率の向上をめざす。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	英語力強化事業	H24 ～ R3	小学生の英語への興味・関心の向上及び中学生の英語学力の向上を図るため、小中学校に英会話指導員及び英語指導員(中学校のみ)を配置し、小学生の英語学習への関心・意欲を高めるとともに、中学生に対する実用的な英語教育を実施する。	英会話指導員の配置数 小学校:3人 中学校:1人 英語指導員の配置数 中学校:1人	(小学生) 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 (中学生) 英語検定3級以上を保有する生徒の割合:6.5%以上 沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率(英語)の差-5.2ポイント以上	【今後のスケジュール】 小学校 アウトプットを中心とした授業へ転換し、その中で英会話指導員を活用する授業改善を進める。 中学校 授業の中で英会話指導員と教科担当教師との会話等、適切に例示を行うことで、実用的な英語学習の充実を図る。 英語指導員においては、学習に遅れがちな生徒への支援や放課後の補習、英検対策などの英語指導の充実を継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 過去の実績を勘案して設定した。 過去の実績を勘案して設定した	
2	ICT活用事業	H24 ～ R3	授業へのICT機器活用の促進及び学校教育の質の確保を図るため、小中学校にICT支援員(パソコン指導員)を配置し、教員への授業でのICT活用に向けた支援や教育のICT化に向けた支援を行う。	パソコン指導員配置数:2人 (小中学校共有2人)	教員にアンケートを実施し、ICT支援員(パソコン指導員)の配置により、授業でのICT機器活用が促進された内容項目での肯定的な割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。 内容項目例:「ICT機器活用が増えた」「ICT機器を利用した授業における機器操作が行いやすくなった」等 児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業は分かりやすかった」と答えた割合(80%以上)を含めアンケートによる効果を検証する。	【今後のスケジュール】 教員のICT機器等の活用率を高め、わかる授業の展開を図り、教師の情報機器の活用力向上を図る。 授業へのICT機器活用の促進するため、ICT支援員の役割を整理し学校現場との共有を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24 ～ R3	不登校生徒や長期欠席者の早期支援の充実を図るため、中学校へ生徒指導支援員(生徒指導補助員)を配置する。	生徒指導支援員配置数:1人	不登校出現率 2.2%以下	【今後のスケジュール】 家庭や関係機関との連携を図りながら、生徒への早期対応、登校支援、居場所づくりを行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	秋田交流学習体験事業	H26 ～ R3	小中学校における学習規律や授業の改善を図るため、本町の児童生徒及び教師を教育先進地である秋田県大館市内の学校へ派遣する。また、大館市の教師を招聘し、授業改善等についての研修を行う。	<秋田県への派遣> 児童生徒:20人、教員:9人 <秋田県からの招聘> 教員:3人	(派遣された児童生徒へのアンケート) ・学習規律を学ぶことができたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 (派遣された教師や研修を受けた教師へのアンケート) ・授業改善へ積極的に取り組んでいるか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 招聘教員による講話や秋田県学習交流事業の報告会を行い、秋田型授業のよさを理解し、各学校の授業改善を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 派遣された児童生徒のうち大多数が学習規律を学ぶことができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 派遣された教師や研修を受けた教師のうち大多数が授業改善へ積極的に取り組んでいると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R3	学習や生活面で特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置し、必要な支援を行う。	支援員の配置数 小学校:13人 中学校:5人	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、特別な支援を要する児童生徒に対して、安心して教育を受けることができるよう配置する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象となる児童生徒の保護者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	雇用促進事業	H25 ～ R2	求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口を開設し、就職活動の支援を行う。	相談窓口開設 90日	相談者のうち就職が決まった人数:8人以上 相談者のうち就職が決まった人数の割合:4.5%以上 「就職が決まった人数」は、支援後に就職が決まった(内定を得た)人数。支援後の後追い調査で(年2回)で確認。	【今後のスケジュール】 相談窓口の開設のほか、就職に有利な資格取得支援を行い、失業率改善を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	廃棄物リサイクル事業	H25 ～ R3	ごみの排出量を削減し、ゴミ処理施設及び最終処分場の長寿命化を図るため、本町で排出される草木を回収、チップ化し、再資源化を行う。	草木の回収及び再資源化(チップ化)の実施	草木の再資源化(草木ゴミの処理量) 616.8t以上/年	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内から排出される草木をチップ化し、再資源化することで環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築する。	【R2成果目標設定の考え方】 リサイクルの処理能力を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				5	嘉手納町公共施設省エネ化推進事業			

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	北谷町観光物産プロモーション事業	H24～R3	北谷町の知名度を一層向上させ、観光客の誘致を図るため、県外及び海外で観光プロモーション等を実施する。	(1)国内プロモーション1カ所実施、 (2)海外プロモーション2カ所実施 (3)ファミトリップツアー実施 (4)多言語対応職員の配置、多言語観光情報パンフレットの作成等	・観光情報センター利用者人数98,900人(うち外国人利用者数65,000人以上) ・多言語職員を窓口を設置し、対応した外国人満足度(80%以上)アンケートにより本事業の在り方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・今後も継続的にプロモーションを実施し、観光客の誘致を図るとともに、外国人観光客に対応するため、継続的に多言語対応職員を配置する。	【R2成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・外国人観光客のうち大多数が利便性(満足度)が確保されたと考えられる値として設定した。	
1	コミュニティバス導入調査検討事業	H26～R3	観光客や町内の交通弱者の利便性・回遊性の向上を図るため、町内観光施設や商業施設等を周遊するコミュニティバスの実証運行を行い、自走化を目指す。	コミュニティバスの実証運行を実施し、その効果検証を行う。	・バス利用者に利便性・回遊性の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・収支率25%以上を目指す。	【今後のスケジュール】 H29～R1で実施したバス利用者アンケートや利用状況の分析等の結果をもとに運行改善等を実施し、本格運行導入の可否を判断するための調査及び検討を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 ・利用者の大多数が利便性・回遊性の向上が図られたと考えられる値として80%以上と設定した。また、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・運収支目標については、運行改善を実施し、目標収支率である25%と設定した。	
1	サンセットビーチ改良事業	H29～R3	観光誘客を図るため、サンセットビーチ改良を行う。	令和2年度サンセットビーチ改良事業。離岸堤工、第一突堤工、第二突堤工	サンセットビーチ改良工事のうち、離岸堤工、第一突堤工、第二突堤工の竣工。	【R5年度成果目標】 ・サンセットビーチ利用者数33万人/年 【今後のスケジュール】 R3 改良工事(護岸工、浚渫工、湧水対策工、造成工) R4 改良工事(養浜工、園路工、照明工、造園工、付帯工)竣工	【R5成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。	
2	英語指導助手派遣事業	H24～R3	小学校児童の英語への興味・関心を高めるため、英語指導助手(AET)を配置する。(隣接する幼稚園兼務) 中学校生徒の英語能力の向上を図るため、英語指導助手(AET)を派遣する。	小学校4名(各校1名、幼稚園兼務) 中学校2名(各校1名)	小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差0.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 引き続き英語指導助手を配置する。 新学習指導要領における、小学校外国語科の導入による授業時数の増加に伴い、必要な勤務時間を増加させる。	【R2成果目標設定の考え方】 小学校:対象児童のうち大多数が興味・関心が高まったと考えられる値として設定。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 中学校:過去実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	日本語指導学習支援員配置事業	H25 ~ R3	日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等への学習支援を行う。	日本語指導学習支援員配置:1名	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上等を含め本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 日本語指導が必要な児童が今後増加し、県からの加配教諭の配置が無い場合、日本語指導学習支援員配置人数を2人へ増員する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。評価者は学級担任及び日本語指導学習支援員とする。	
2	学力向上学習支援員派遣事業	H26 ~ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名(計6名)配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	小学校4名(各校1名) 中学校2名(各校1名)	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 0.4ポイント以上 中学校 1.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 学習支援員を継続して配置することにより、沖縄県学力到達度調査の平均正答率の向上に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	スクールソーシャルワーカー派遣事業	H26 ~ R3	児童生徒の問題行動(暴力、喫煙、家出等)の改善を図るため、スクールソーシャルワーカーを配置し、問題を抱える児童生徒に対応した支援を行う。	スクールソーシャルワーカー配置:1名	町立小中学校の問題行動(暴力、金銭せびり、喫煙、飲酒、家出)の件数 小学校 8件以内 中学校 17件以内	【今後のスケジュール】 引き続きスクールソーシャルワーカーを配置する	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	ICT教育推進事業	R2 ~ R3	教授用タブレットPCを整備し、より魅力的でわかりやすい授業を展開する。	・教授用タブレットの整備 ・町立小中学校 合計193台	教授用タブレットの整備完了	【今後のスケジュール】 整備した教授用タブレットPCを活用し、教材研究および電子黒板と接続することで、より魅力的でわかりやすい授業に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 ・児童生徒へのアンケート調査を実施し、本事業のあり方を検証する。成果目標としては大多数が理解していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。 ・教員へのアンケート調査を実施し、本事業のあり方を検証する。成果目標としては大多数が習熟していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。	
2	北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25 ~ R3	海外での生活や体験を通して国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、本町の中高生をハワイへ短期留学させる。	・中・高校生ハワイ短期留学派遣:15人 ・派遣生の事前研修 ・派遣後の事後報告会及び報告書の作成	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に中・高校生のハワイ短期留学派遣を実施し、国際的な広い視野を持つ人材育成を行っていく。	【R2成果目標設定の考え方】 対象児童のうち、大多数が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	跡地利用推進事業	H24 ～ R3	跡地利用推進調査及び勉強会等の実施し、跡地利用整備計画を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ桑江南側地区:跡地利用基本計画推進調査、地権者への継続的な情報提供 ・キャンプ瑞慶覧倉庫地区:地権者勉強会の開催、跡地利用整備計画の策定 ・桑江第一タンクファーム地区:跡地利用計画基礎調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査内容報告書の作成(キャンプ桑江南側地区) ・跡地利用整備計画の策定(キャンプ瑞慶覧倉庫地区)の完了 ・調査内容報告書の作成(桑江第一タンクファーム) 	<p>【R7成果目標】 (キャンプ桑江南側) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上</p> <p>【R3成果目標】 (キャンプ瑞慶覧倉庫地区) 整備計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上</p> <p>【R6成果目標】 (桑江第一タンクファーム) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上</p>	<p>【R7成果目標設定の考え方】 数値については、大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80%以上」と設定した。</p>	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	あやかりの杜滞在型施設活用事業	H24 ～ R3	村内への観光誘客や伝統文化の継承を図るため、沖縄の自然を活用した野外活動や沖縄の伝統文化を体験できる事業を実施する。	体験型交流事業:18事業	体験交流人数:550人以上	【今後のスケジュール】 継続的に魅力ある講座を企画し、参加者の確保に努める。	【R2成果目標設定の考え方】 各講座の定員総数以上を目標として設定した。
1	北中城まつり活性化事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、伝統芸能プログラムを中心とした夏の「青年エイサー」、秋の「北中城しおさいまつり」、沖縄の温暖な気候を活かした冬場の「ひまわりin北中城」を開催する。	青年エイサーまつり:8月～9月開催 北中城しおさいまつり:10月中旬開催 ひまわりin北中城:R2年2月～3月頃開催	青年エイサーまつり来場者数:7,400人 北中城しおさいまつり来場者数:24,000人 ひまわりin北中城来場者数:57,800人	【今後のスケジュール】 まつりを通じた伝統芸能の保存・継承及び地域活性化を継続して実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1	観光誘客プロモーション事業	H26 ～ R3	本村の玄関口となる観光案内所や国内外において村の情報を観光イベントやメディアプロモーションで発信することにより、村内への観光誘客を図る。	多言語観光案内業務の実施 観光イベントでのプロモーション メディアプロモーション	・PRブース来場者数:1,700人 ・観光案内所利用者数:14,000人	【今後のスケジュール】 県内外でのイベントへ参加し、北中城村のPRを推進するとともに、観光協会と連携した村内への誘客に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1	公営墓地整備事業	H24 ～ R3	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るため、公営墓地の整備を行う。	・公営墓地用地造成工事の実施	・公営墓地用地造成工事の完了	【R4成果目標】 ・公営墓地利用世帯:35世帯 【今後のスケジュール】 R3:納骨堂整備工事	【R4成果目標設定の考え方】 北中城村公営墓地基本計画の策定時において、村内意向調査を加味し設定した。
1	観光周遊バス実証事業	H30 ～ R3	村内への観光誘客を図るため、大型商業施設と世界遺産中城城跡を結ぶ観光周遊バスによる実証実験を実施する。	・運行日数:350日以上 ・公共交通会議の開催:3回	・年間利用者数:22,000人	【今後のスケジュール】 R3:実証実験(有償)	【R2成果目標設定の考え方】 実証実験実施計画を踏まえ設定した。
1	リュウキュウマツ保全事業	H28 ～ R3	沖縄の県木であるリュウキュウマツを保全するため、すでに枯れた松くい虫被害木の伐倒駆除を実施する。	・被害木の伐倒駆除:5本以上	・予防達成率:90%以上	【今後のスケジュール】 松くい虫による被害拡大を防ぐため、継続した駆除等を実施し、健全木の薬剤注入を更新していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過年度に実施した現況調査に基づき設定した。
1	観光情報インフラ整備推進事業	H28 ～ R3	村内を訪れる観光客の情報収集に係る利便性を高め、観光基盤を強化し、観光誘客を図るため、情報アクセスポイントの運営並びにビッグデータの分析を行う。	・観光情報アクセスポイントの運営 ・ビッグデータ取得及び分析	・free Wi-Fiアクセス数:8,500/月	【今後のスケジュール】 継続した観光基盤の強化を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業	H24 ～ R2	歴史を後世に伝えるため、駐留軍用地としての利用から返還合意、跡地利用に至るまでの映像の記録、編集を実施する。	・記録映像撮影の実施	・全体の記録映像の作成進捗率:100%	【R3成果目標】 ・村HP年間アクセス数:660回 【今後のスケジュール】 今後の返還跡地における早期跡地利用の一事例としてまちづくりの状況を、村HPにて映像を発信する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
2			キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ R3	キャンプ瑞慶覧ロウワープラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、これまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	・公共用地の取得:900㎡	・全体用地取得率:91.7%	【今後のスケジュール】 公有地取得拡大に向け、事業を継続して実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 事業計画に基づき設定した。
3			雇用サポートセンター事業	H24 ～ R3	地域に密着した就業支援を行うことで雇用機会の創出を図るため、雇用サポートセンターを設置する。	・登録企業の開拓:50件 ・求職者の個別支援:40件	・失業者のマッチング:11人	【今後のスケジュール】 事業継続による失業率の改善に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
3			グジョブ連携推進事業	H27 ～ R3	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、出前フォーラム等を実施する。	・ジョブシャドウイングの実施(小学校2校) ・職場体験の実施(中学校1校) ・きたなかキッズJOBクラブの実施 ・きたなかティーンJOBクラブの実施 ・出前フォーラムの開催(高校1校) ・追跡調査の実施	・就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 企業や学校等の教育機関との連携を密にし、引き続きキャリア教育の推進に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒が就業に対する意識が向上したと考えられる数値として設定した。
4			営農支援強化事業	H24 ～ R3	専門性の高い営農指導員の指導を行うことで、農業者に対し生産から販売までの安定した営農体制の支援を実施する。	・営農指導員の配置:2名	・指導した農家の年間出荷額:4,006千円以上	【今後のスケジュール】 農業者に対する生産・販売体制の支援による農業経営の安定化に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
4			地域ブランド構築事業	H24 ～ R3	特産品の販売促進を図るため、特産品取扱店舗の維持・開拓、首都圏等での調査・プロモーションを実施する。	・開発した特産品取扱店の維持・開拓 ・北中城村特産品の調査	・特産品年間販売額 アースクッキー:120千円以上 アース麺:1,100千円以上 パッションスイーツ:8千円以上 パッションフルーツスカッシュ:20千円以上 パッションフルーツタコライスソース:63千円以上	【今後のスケジュール】 開発した特産品のフォローアップを継続して行うとともに、販路拡大に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	農を活かした北中城活性化事業	H28 ~ R2	水耕栽培実証実験施設の事業施設化に向けた仕様の策定とその水耕栽培施設に必要なエネルギーや耕作放棄地の再生に資する堆肥化を食物残渣で賄えるよう、事業化に向けた施設の仕様の策定する。	・水耕栽培施設の仕様の策定 ・エネルギー化・堆肥化施設の最適仕様の策定 ・6次化商品試作品の改良及びテスト販売の実施	・品目毎の最適な施設仕様の策定 ・整備地域の電力需要を踏まえた発電施設最適仕様の策定 ・試作品の改良及びテスト販売	<p>【R2成果目標】</p> <p>・6次産業化による特産品開発:3品の販売事業化となる村内販売店:0 2件</p> <p>【R3以降の成果目標】</p> <p>・再生資源化村施設の導入:0 1件 (R3/4)</p> <p>R4年度にはバイオガス発電施設により年間20万KWhを発電 ・民間による小規模分散型バイオガス発電設備設置数:0 2件(R5~)</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <p>R3-R5:事業化(着手:2件、推進:1件)</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】</p> <p>・「北中城村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の指標である新規農業者数を参考に設定した。</p> <p>・「農を活かした北中城活性化検討事業報告書」における6次産業化モデル商品の開発数を参考に設定した。</p> <p>【R3以降の成果目標設定の考え方】</p> <p>・H28年度に検討した分散型バイオマス施設選定地で適性であると判断された3候補地を最大値として設定。 ・H30年度、R1年度に検討された年間可能発電量を再生資源化村施設における成果目標として設定した。</p>	
4	農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	H30 ~ R2	耕作放棄地の再生に向けて、循環型農業ゾーンと体験農園施設ゾーンを整備するため、民間事業者が継続して営農するための収支見通しの策定を行うとともに、民間事業者の誘致を図る。	・民間事業者が循環型農業・体験農業ゾーンで継続的に営農するための収支見通しの策定 ・民間事業者誘致	・収支見通しの策定 ・民間事業者の誘致	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>・R3:施設整備・土地造成等の測量・実施設計、事業実施に向けた事業者及び地権者との調整(土地の確保)、資金調達、事業着手に向けた関係機関調整などの実施</p> <p>R4年度には循環型農業ゾーン及び体験農園施設ゾーンの実現として再生可能資源を活用してエネルギー(年間20万KWh)を生産し、コンテナ式水耕施設(40F)5基の稼働と200坪程度の園芸施設に供給を図る。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <p>実施計画で成果を策定するものとして設定した。</p>	
5	総合英会話指導支援事業	H24 ~ R3	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。	・英会話指導員の配置 小学校:1人 中学校:1人 幼小兼務:1人	英語検定の受験者数:602人	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>国際性豊かな人材育成の素地を培うため、継続して生きた英語に触れ合う機会を創出する。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績を勘案し設定した。</p>	
5	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ~ R3	英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るため、米国教育機関とのWEBシステムを活用した小・中・高校生向けの英語講座を実施する。	・中高生クラス:前期32回、後期32回 ・小学生クラス:前期32回、後期32回	・定期テストにおける英語習熟度:講座を受けた生徒全員80点以上	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>継続した事業展開により、米国語学教室(ESL)レベルに到達できるよう、受講生の取得率向上を目指す。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】</p> <p>英語力の習熟度が高まったと判断できる数値として「80点以上」と設定した。</p>	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			海外子弟青年交流事業	H24 ~ R3	南米3カ国(ペルー、ブラジル、アルゼンチン)から海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため研修生を受け入れる。	・海外移住者子弟受入人数:3人 ・研修報告会:1回	・受入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 海外子弟研修生を中心に各国村人会との活動の活性化を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 指標の設定については、概ね大多数の人が興味を持っていると言える数値として設定。
6			琉球歴史風致資産調査事業	H24 ~ R3	村内の「歴史風致資産」に関する調査成果のとりまとめを行い、本村独自の歴史を情報発信する。	・調査報告書(祭祀編)の原稿編集:380ページ(100%) ・映像記録web公開(30件) ・調査報告書(旧跡等)の原稿編集(30%)	・調査報告書(祭祀編)の取りまとめ及び各機関等への配布	【R4成果目標】 報告書利用者に対し村の歴史への理解度等に関するアンケートを実施し本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 R3: 報告書の発刊 R4: 報告書利用者アンケート調査	【R4成果目標設定の考え方】 報告書利用者のうち大多数が理解が深まったと考えられる値(80%以上)とした。
7			特別支援教育支援員配置事業	H25 ~ R3	特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、支援員を配置する。	・特別支援教育支援員の配置 小学校(2校):10人 中学校(1校):4人 幼稚園(1園):4人	・支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 本事業の継続により、早期から一貫した支援の充実を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数が満足していると考えらる数値として「80%以上」と設定した。
7			学習支援員配置事業	H27 ~ R3	学習の遅れがちな児童生徒に対する学習支援を行うため、村立小中学校に学習支援員を配置する。	・学習支援員の配置 小学校(2校):2人 中学校(1校):1人	・沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 ・正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(8.9%以下) 中学2年生:数学(32.8%以下) ・無答率 小学5年生:算数(8.9%以下) 中学2年生:数学(11.1%以下)	【今後のスケジュール】 本事業の継続により、児童生徒の基礎学力の向上を図るとともに、学習支援の指導力向上を図るため、学校間で連携協働し、各学校における成果・課題を共有することで担任・特別支援教育担当者等との意見交換等の実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
7			児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ~ R3	児童生徒が学校教育の一環として県外に派遣される場合に、その派遣費用のうち対象経費の2分の1以内の額について補助を行う。	・県外への派遣団体数:6団体(80人)	・派遣された児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 本事業の継続により、児童生徒の意欲向上及び健全育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 指標については、対象者のうち概ね肯定的であると言える数値として80%を設定した。
7			小中学生県外派遣支援(社会教育関連)事業	H29 ~ R3	県外大会への参加を、村内に在住する小中学生に等しく機会を与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に係る大会派遣に対し、航空運賃を補助する。	・県外大会等への派遣者数:50人	・派遣された子ども達の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 本事業の継続により、村内の子ども達の意欲向上及び健全育成に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数の保護者が視野が広がったと感じられる値として設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		健康長寿のまちづくりアクション事業	H26 ～ R3	本村の健康課題にアプローチする健康イベントを実施し、村民の運動習慣の啓発に繋げる。	・健康サポートチームの開催(3回) ・城ヨガ(2回) ・健活フェスタ(1回) ・健康マイレージ事業の実施	・健康イベントへの総参加者数:500人以上 ・健康マイレージ事業参加者数:500人以上	【今後のスケジュール】 健康イベントおよび健康マイレージ事業を継続し、参加者数の増加を図る。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			防災体制整備事業	H26年 ～ R2年	津波被害や土砂災害の危険性の高い本村において、自然災害に強い村づくりを推進していくため、防災基盤の整備を実施する。水害時に、迅速な災害対応ができるよう、水害対策用品の整備を行い、災害に強いまちづくりを推進する。	吸水性土のうの整備 防水シートの整備	整備した吸水性土のう及び防水シートを活用した避難訓練(2回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き防災備品等の整備及びこれらを活用した避難訓練(2回以上/年)を実施し、災害に強いまちづくりに取り組む。	【R2成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
			省エネ化推進整備事業	R1 ～ R3	環境に優しい(温暖化対策)村づくりを推進するため防犯灯等の照明器具にLEDを導入する。	防犯灯400基にLEDを導入	防犯灯400基をLEDに整備	【R3成果目標】 LED導入による温室効果ガス(CO2)排出量の削減効果:32.8t-CO2/年の削減 【今後のスケジュール】 LED照明を導入するとともに、住民の意識啓発を図り、環境に優しい村づくりに取り組む。	【R3成果目標の考え方】 既存照明とLED照明の温室効果ガス(CO2)年間排出量の比較を行い設定した。
2			吉の浦公園施設機能強化整備事業	H25 ～ R3	プロサッカーチームの合宿誘致、村民等の健康増進及び利用者の利便性確保を図るため、スポーツや文化活動の拠点として活用されている吉の浦公園内の各施設の機能強化整備を行う。	ごさまる陸上競技場芝生の適正管理 野球場機能強化整備の実施 ③吉の浦公園等照明施設整備の実施	プロサッカーチームの合宿誘致件数:2件 整備の完了 ③整備の完了	【R3成果目標】 整備完了後1年目(R3年度)の野球場利用者数:約12,000人以上 園内 夜間利用者の安全が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について施設利用者のアンケートで検証する。 体育館内 LED導入による温室効果ガス(CO2)排出量の削減効果:14.61t-CO2/年の削減 【今後のスケジュール】 引き続き吉の浦公園施設の機能強化を行い、プロスポーツの継続的な合宿誘致や施設利用による村外からの誘客及びに村民の利用促進に取り組む。	【R2成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 【R3成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 園内 対象者のうち、大多数が夜間でも安心して利用できたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 体育館内 既存照明とLED照明の温室効果ガス(CO2)年間排出量の比較を行い設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			観光客誘客促進事業	H25 ～ R3	地域の伝統芸能の継承及び観光誘客を図るため、「世界遺産中城城跡プロジェクト」を開催する。	イベントの実施	観光誘客 プロジェクトマッピングイベント来場者 12,000人(2日間) 伝統芸能の継承 伝統芸能団体出演者数:30人。	【今後のスケジュール】 引き続き効果的な広報活動及びイベント内容の強化に取り組み、村外からの誘客増加につなげる。	【R2成果目標の考え方】 観光誘客 過去の実績を勘案して設定した。 ・ 伝統芸能の継承 過去の実績を勘案して設定した。
			プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ～ R3	スポーツキャンプを通して、観光地としての魅力を発信し観光誘客を図るため、プロサッカーチームの冬季キャンプ誘致活動並びにキャンプ受入の歓迎イベントの開催及び円滑なキャンプ実施のための警備を行う。	・プロサッカーチームの誘致活動の実施 ・キャンプ支援の実施	・キャンプ見学者数:8,960人 (560人/1日あたり) × 8日間 × 2チーム)	【今後のスケジュール】 引き続きプロサッカーチームのキャンプ受入体制を強化し、継続的なキャンプ誘致に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
			観光地周辺環境美化事業	H29 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行う。	・環境美化作業員 6名 ・中城城跡環境向上作業員 10名 配置し、美化清掃等を実施。	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き観光地及び観光地へのアクセスルートを美化清掃等を実施し、観光地として相応しい景観の形成に取り組む。	【R2成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が観光地としての景観となっていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			海外移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R3	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図るため、海外に移住した中城村出身の指定を研修生として受入、日本語研修、文化研修、地域交流等の交流プログラムを実施する。	・海外に移住した中城村出身の子弟を研修生として受け入れる。 ・住民への国際交流の機会の提供 ・移住の歴史について住民の興味喚起	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、子弟へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 引き続き村において中城村出身の子弟の研修を実施し、海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成し、今後の双方の発展につなげる。	【R2成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が沖縄の文化や歴史により興味を持ったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R3	ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、小中学校にICT機器を整備する。また、情報教育補助員を配置し、授業支援やICT機器活用に向けた環境整備を行う。	・情報教育補助員を配置し授業支援を行うとともに電子黒板等ICT機器の整備を実施する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上 以上の調査項目を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、学校において情報機器ネットワークに慣れ親しむための環境整備、ITスキルの向上に取り組む。	【R2成果目標の考え方】 ・児童生徒の大多数にとって授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・教員の大多数がICT機器活用の習熟度が上がったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ~ R3	特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個に応じた支援を行うため、特別支援員を配置する。また、不登校や発達障害等の課題解決を図るため、教育相談員と心理相談員を配置する。	・特別支援員配置 15人 ・相談員の配置 教育相談員 3人 心理相談員 1人	特別支援員の対応への満足度(70%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 不登校児童生徒復帰率49%以上	【今後のスケジュール】 引き続き日常的な教育相談活動を通して不登校児童等の減少へと繋げ適切な教育環境の確保に取り組む。	【R2成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		学力向上のための学習支援事業	H29 ~ R3	将来の沖縄振興に資する人材の育成に向けて、学力の向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置する。	・学習支援員配置 3人	沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差-5.4%以上	【今後のスケジュール】 引き続き数学科を中心とした授業内での学習支援を行うとともに、放課後の補習を通じた個々の生徒に合わせた学習支援を実施する。	【R2成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		子育て保育支援事業	H29 ~ R3	特別な支援を必要とする子を預かる保育園を対象に、保育士の加配に対する支援を行い、要支援児の保育園での生活の困難の改善を図る。	・加配職員数22名	・保育園での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き加配職員を配置し適切な保育環境を確保し、保護者の育児負担の軽減に取り組む。	【R2成果目標の考え方】 対象者の大多数が保育園での生活の困難が改善されたと考えられる指標として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
		ひとり親家庭学童利用支援事業	H30 ~ R3	ひとり親家庭の育児負担感の軽減を図るために学童クラブがひとり親家庭の学童利用者に対し利用料を減免した場合に補助を実施する。	・ひとり親家庭に対して利用料を減免している学童クラブへ補助の実施	保護者アンケートで安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたが:80%以上	【今後のスケジュール】 引き続き学童クラブがひとり親家庭の学童利用者に対し利用料を減免した費用に補助を実施することにより、ひとり親家庭の育児負担感の軽減につなげる。	【R2成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。
		私立幼稚園等整備促進事業	R2	5歳児のみを受け入れる村立の全ての幼稚園(2園)を廃止し、村の意向を順守した私立幼稚園等の教育・保育施設の整備を促進する。	用地購入(6筆)の実施 公募要領策定の委託	用地購入(6筆)の完了 公募要領策定完了	【R5成果目標】 ・保護者 3~5歳待機児童9名以内 【R8成果目標】 ・幼児 就学前に3年教育を受けた小学1年生の割合64%以上 【今後のスケジュール】 ・R3 村・公募・選定、民間・施設設計 ・R4 民間・施設整備	【R5成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 【R8成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	文化財悉皆及び中城村沖縄戦調査事業	H25 ~ R3	<ul style="list-style-type: none"> 文化財調査員による文化財の調査、文化財関係冊子の執筆・編集、印刷請負による冊子の発刊を行う 中城村沖縄戦調査員による村内の沖縄戦調査、沖縄戦関連冊子の執筆・編集、印刷請負による冊子の発刊を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財悉皆調査 「中城の文化財」編集・発刊 沖縄戦調査 「中城村の沖縄戦 証言編」、「中城村の学童疎開」の発刊 戦跡めぐり1回 対象:村民 	<ul style="list-style-type: none"> 「中城村の文化財」500部の発刊、配布 「中城村の沖縄戦 証言編」500部、「中城村の学童疎開」リーフレット1000部の発刊、配布 沖縄戦に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、参加者に対してアンケートを実施し本事業のあり方を検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R3成果目標】 作成した発刊物を活用した展示会の参加者4,000名 【今後のスケジュール】 各種調査の結果を基に出版物の編集・発刊するとともに戦跡めぐりを実施し村民に本村の歴史文化を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R2成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が理解が深まったと考えられる数値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 【R3成果目標の考え方】 類似の展示会の実績を参考に設定した。 	
	中城文化まつり事業	R3	<ul style="list-style-type: none"> 吉の浦会館における民俗芸能、組踊、琉舞、古典音楽などの舞台部門の上演、護佐丸歴史資料図書館企画展示室における陶器、漆器、水墨画などの展示部門の展示を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 吉の浦会館での舞台部門の上演 護佐丸歴史資料図書館企画展示室での展示部門の展示 	<ul style="list-style-type: none"> 舞台部門来場者数(出演者も含む)約1,500人 展示部門来場者数(出品者も含む)約500人 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】 3年に1度の開催であるが、本村の歴史文化の継承及び発信ができるよう開催内容を工夫し効果的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R2成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 	
6	中城村農業振興環境整備事業	H30 ~ R3	<ul style="list-style-type: none"> 農業指導員及び補助員による試験栽培の実施。 試験栽培で行った栽培方法を農家で実証 	<ul style="list-style-type: none"> 栽培作業軽減化と品質向上を目指す試験栽培の実施。 前年度試験栽培した栽培方法を農家で実証試験を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 栽培試験2品目 2農家で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R3成果目標】 試験栽培により確立された栽培技術について、営農指導を受けた村内の農家の割合 80%以上 【今後のスケジュール】 伝統的に栽培されている農作物の安定した栽培技術の確立及び農家への普及に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R3成果目標の考え方】 対象者のうち大多数の農家に試験栽培の効果を行き渡らせることができたと考えられる数値として設定した。 	
7	PFI導入による地元小規模事業者等経営安定化事業	R2 ~ R3	<ul style="list-style-type: none"> PFIを導入することにより、地元小規模事業者等の長期にわたる安定的な資金の確保を支援するため、PFI手法導入の可能性を調査する。 	<ul style="list-style-type: none"> PFI導入可能性調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> PFI導入可能性調査の完了 	<ul style="list-style-type: none"> 【R8成果目標】 S P C 参画地元小規模事業者等の受注増加件数 【今後のスケジュール】 R2 導入可能性調査 (基礎調査) R3 導入可能性調査 (公募要領・仕様書の作成) R4~ 民間による施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> 【R8成果目標の考え方】 R2~3の調査において検討する導入効果を踏まえて今後設定する。 	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ～ R3	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	町内公園の美化・緑化実施(3箇所) 運動公園 東崎公園 東崎都市緑地	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 観光客や地元住民のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			文化財環境整備活用事業	H25 ～ R3	西原町内にある文化財及び文化財周辺の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、観光誘客に向けた基礎的環境整備を図る。	・文化財及び文化財周辺の環境美化・整備の実施:24箇所 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診断 ・文化財ガイドの育成 勉強会:12回(月1回) ・文化財巡り等イベント開催:3回	文化財巡り等イベント参加者数140名以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して文化財の基礎的環境整備、ガイド団体等の人材育成を行うつつ、文化財の案内ルートパターンを増やし、活用及び周知を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績及び開催イベントの規模、内容を勘案して設定した。
1			農水産物流通・加工・観光拠点施設整備事業	H24 ～ R2	農水産物販売機能や地域食材提供機能等を併せ持つ複合拠点施設を整備し、地元農水産物の消費の拡大及び地元産品を活用したグルメ提供を行うことにより、地元生産者の所得向上を図る。	・外構工事及び工事監理業務委託の実施 ・展示作製業務等の実施	・外構工事及び工事監理業務委託の完了 ・展示作製業務等の完了	【R3成果目標】 供用開始後1年目(令和3年度)の目標を以下のとおりとする。 (農水産物販売機能) 年間総売上225百万円 (地域住民が活用できる厨房機能) 年間利用件数 96件 (地域情報展示発信機能) 本施設について、来場者へのアンケート調査を実施し、西原町の歴史文化や地域情報が効果的に発信されているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 R2年度 外構工事等実施後に供用開始(令和2年12月)	【R3成果目標設定の考え方】 類似施設の利用状況を参考に設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			小学校外国語活動指導員派遣事業	H24 ～ R3	外国語活動指導員を小学校に派遣し、外国語教育の充実を図り、外国語への興味・関心を高める。	外国語活動指導員2名派遣(町立4小学校)	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 今年度から小学校で外国語教科が必修化となることから、児童の外国語への興味・関心を高め、事業の充実を図っていく。	【R2成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が外国語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			教育相談員配置事業	H24 ～ R3	町教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対して支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	・教育相談員配置数:3名 ・定期的な学校訪問(町立小中6校) ・教育委員会との連絡会議の実施(5回以上)	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 28%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して教育相談員が関わることで、状況の改善を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	学習支援員配置数(全小中学校配置) 小学校:8人 中学校:4人	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 2.5以上 算数 1.5以上 ・中学校 国語 -2.0以内 数学 3.6以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して個々の学習指導を行うことで、学力向上に努める。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援教育支援員配置数 小中学校:14人 ・臨床(発達)心理士配置数 小中学校:1名 状況に合わせて各学校へ配置 ・支援員の資質向上のために、内部研修を実施(2回)	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数を30%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	幼稚園特別支援教育支援員を幼稚園に配置し、特別な支援を要する障害がある園児に対応した支援を行うことで、学園生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援対象児の人数に応じた支援員の確保 ・支援計画で集団生活の目標を立て、支援児一人一人に対して適切な支援を実施	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象となる園児の保護者のうち大多数が学園生活や学習上の困難の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	小学校デジタル教科書整備事業	R2 ~ R2	学習内容の理解度を深め、将来の沖縄振興に資する人材育成及び児童の学力向上を図るため、デジタル教科書を購入する。	小学校デジタル教科書の購入（数量：64）	児童にアンケートを実施し、デジタル教科書を使った授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ICTをより効果的に活用した授業を提供し、人材育成及び学力の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象となる児童の保護者のうち大多数が「デジタル教科書を使った授業が分かりやすかった」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	親子通園事業	H28 ~ R3	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	親子通園受け入れ：8組	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、継続して受け入れを行うことで保護者の育児不安の軽減を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象となる児童の保護者のうち大多数が育児不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	西原町防犯灯・道路灯LED化事業	H29 ~ R2	本町が進めるエコへの取り組みを推進するため、町内の防犯灯・道路灯を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出の抑制を図る。	・防犯灯・道路灯LED化工事(約167基)	道路灯・防犯灯のLED化によるCO2排出量の削減目標値：66,154kg-CO2	【今後のスケジュール】 防犯灯・道路灯のLED化工事の継続により、温室効果ガス(CO2)の排出量を抑制し、低炭素島しょ社会の実現を推進する。	【R2成果目標設定の考え方】 平成29年度調査・設計業務による成果より算出し、設定した。	
5	農家経営安定支援事業	H26 ~ R3	農家への技術指導及び経営指導のため、指導員を配置し、巡回指導・窓口相談及び園芸セミナー(講習会)を開催することで、栽培技術の理解及び向上を図る。	・指導員の配置：1名 ・農業講習会の開催：年4回	・巡回指導した農家へのアンケート 栽培技術力が向上したか(80%以上)、また農業収入が向上したと感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 ・園芸セミナー参加者へのアンケート 栽培技術への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続し、地域農業者の栽培技術向上を図り、町で検討し、推進していきたい品目の普及を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象の農家やセミナー参加者のうち大多数が栽培技術の理解及び向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			里道及び水路の境界確定復元事業	H27 ～ R3	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	・確定測量の実施 ・表示登記申請の実施	・確定測量の完了 ・表示登記申請の完了	【R5成果目標】 令和5年度までに西原町内全域の里道及び水路のうち、小那覇地内の境界確定測量を完了させ、確定した里道及び水路を基に避難経路の検討及び整備計画を行い、災害時の避難路整備を目標としたハード対策に繋げる。 【今後のスケジュール】 H30～R5 確定測量・表示登記 R6 避難経路整備計画図策定 R7 避難経路整備	【R5成果目標の考え方】 避難路整備計画で定めた事業計画を基に、整備に繋げていく。
7			西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27 ～ R3	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナーやスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大を図る。	・求職者と企業のマッチング 30件以上 ・スキルアップ講座等 30回以上	新規雇用割合49%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続し、求職者、求人企業のサポートを行い、一人でも多くの町民が就業につながるような取り組みを行うことで、雇用の拡大につなげる。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7			地域型就業意識向上支援事業	H27 ～ R3	高校生及び大学生を中心に商品販売活動や商品開発及び県外視察研修を実施し、就業意識の向上を図るとともに、「西原町」を深く理解し愛着を持つ郷土愛の醸成を図る。	・協力企業数 8社 ・県外実習研修 1回	・高校生、大学生へのアンケートを実施し、就業意識向上（93%以上）を含め、本事業のあり方について検証する。 ・郷土愛の醸成についてアンケートで、評価80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して商品販売活動や商品開発及び県内外視察研修を実施し、就業意識の向上を図るとともに、郷土愛の醸成を育む。	【R2成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・対象の高校生や大学生のうち大多数が郷土愛の醸成が育まれたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8			輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R3	乳幼児の麻疹・風しんの感染症を予防と蔓延を防ぐため、予防接種の費用を助成する。	それぞれ「接種率95%以上」を目標に、対象者で半年後も未接種の者への接種勧奨（通知や健診にて）、MR2期の未接種者へは就学時健診時での即日接種案内や訪問での接種勧奨を実施	外国人観光客受入に起因する麻疹・風しん集団感染の発生件数 0件	【今後のスケジュール】 今後も継続し、予防接種の接種勧奨に取組、接種率向上を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 平成30年の県内での麻疹の流行は、外国人観光客によってもたらされたため、外国人観光客受入に起因する麻疹・風しん集団感染を予防することを目的に、予防接種を実施する。

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	与那原町魅力発信事業	H26 ~ R3	与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、事業を実施する。	・テレビ・ラジオCM作成と放送業務 ・イメージキャラクター等プロモーション推進 ・与那原大綱曳まつり運営補助 ・社交組合イベント運営補助	・与那原大綱曳への50,000人誘客 ・与那原大綱曳まつりの満足度(ぜひ参加したい人の割合)75% ・その他の事業で2,000人誘客	【今後のスケジュール】 ・与那原大綱曳まつりやその他のイベントにおいてもテレビやラジオなどのメディアを活用しPR活動を積極的に行っていく。 ・キャラクターのプロモーションを行い、キャラクターと共に与那原町の魅力を発信していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ~ R3	町内散策コースの美化・緑化を促進し、観光客が安心・安全で気持ち良く町内を回遊できるように環境を整え観光振興を図る。	・散策コースの環境美化作業員配置 6名	・本事業(剪定・除草・植栽等)による環境美化の散策コースについて、観光地としてふさわしい景観及び環境である(80%)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 継続して美化作業を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 当事業を実施したことによる美化環境に概ね肯定的な人の割合をアンケート調査で80%以上とした。	
2	きめ細かな児童生徒支援事業(小学校・中学校)	H24 ~ R3	学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対し、きめ細かな支援を行う為の各種支援員を配置する。また、放課後の児童の学びをサポートする為、放課後学習支援員を配置する。	・学習支援員 12名配置 ・特別支援教育支援員 15名配置 ・スクールカウンセラー 1名配置 ・特別支援教育コーディネーター 1名配置 ・放課後学習支援員 4名配置	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.3ポイント以上 中学校:県との差0.9ポイント以上 ・不登校児童生徒復帰率10%以上 ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上	【今後のスケジュール】 R3年度まで事業を継続し、個に応じたきめ細かな指導により、基礎学力の定着に取り組みつつ、不登校児童生徒についても学習意欲や登校意欲を引き出すような支援に努める。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 過去実績を基に削減率を設定することが困難な為、少しでも減少させるという理由により設定した。 対象者のうち、大多数が対応へ満足したと考えられる値として設定した。	
2	国際理解人材育成事業	H24 ~ R3	国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導助手を派遣する。	・英語指導助手 3名配置	・児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R3年度まで事業を実施するため英語指導助手を配置する。児童の英語学習への興味や関心度を高めることにより、英語及び他教科への学習意欲にも繋がることを目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が満足したと考えられる値として設定した。	
2	体力向上推進事業	H30 ~ R3	児童の基礎的な体力の向上や、たくましい体の育成のために水泳指導員の派遣を行う。	・4年生の水泳授業へ水泳指導員の派遣(2小学校、各組10授業)	・4年生:25メートル泳ぐことができる30%以上	【今後のスケジュール】 R3までに事業を継続し、基礎的な体力を身につけると同時に達成感や自己肯定感を育み、体育活動の充実を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 小学校学習指導内容に基づき、設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上及び人材育成の為、ICT教育の環境を整備し、情報教育支援員を各小中学校へ配置する。	・情報教育支援員 2名配置 ・電子黒板一式 3台 ・デジタル教科書 一式	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%以上を含め、本事業のあり方について検証する。 ・教員にアンケートを実施し、情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合80%以上を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R3年度まで事業を継続し、児童生徒のパソコンの基本操作習得を目指す。研修等を行い、教員の指導力の向上を図り、ICT設備を活用する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数がICTを活用した授業が分かりやすい、機器の習熟度が上がったと考えられる値として設定した。
3			ほっとハート子育て応援事業	H24 ～ R3	0歳児の待機児童対策を目的に、看護師を配置する認可保育園へ雇用経費の一部を助成する(上限50,000円/月)。	認可保育園への看護師配置 8施設中1施設(各1名配置)	・看護師を配置したことによる0歳児待機児童解消数3人以上	【今後のスケジュール】 継続して看護師を配置することにより0歳児の受け入れ数が拡充され、0歳児における待機児数減少を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 看護師等の採用見込がある園を聞き取り調査し設定した。
3			公立幼稚園保育環境整備事業	H28 ～ R3	公立幼稚園の給食提供に伴い、安心安全に給食が提供できるよう、配膳支援員を配置する。	公立幼稚園2園に配膳支援員を配置し、給食時を安心安全に供給する。	・保護者へのアンケート調査を実施し「配膳支援員の配置により保護者の負担軽減が図られたか、及び「小学校教育への円滑な接続が図れそうか」(80%以上)を含め本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 配膳支援員を配置し給食提供時、食事時の安全を確保するため、令和3年度まで継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が「負担軽減となった」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			きめ細かな児童生徒支援事業(幼稚園)	H24 ～ R3	特別な支援を要する児童に対し支援することにより、幼稚園における集団生活での対応や先に控える小学校生活へのスムーズな促しを図るために個に応じたきめ細かな支援を行うための特別支援保育支援員を配置する。	・特別支援教育支援員9名配置 ・特別支援コーディネーター1名配置	・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 令和3年度まで事業を継続し、個に応じたきめ細かな指導により、幼児の登校意欲や進学意欲、ならびに自己肯定感を高める支援に努める。	【R2成果目標設定の考え方】 対象となる園児の保護者のうち大多数が「特別支援員の対応に満足した」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			農業用被覆資材等導入推進補助事業	H29 ～ R3	沖縄県では、地理的な要因により台風の襲来、塩害、強い日射等により農作物に大きな被害が出ている。そのため、台風等による自然災害の被害軽減を図るとともに、病害虫の発生を抑制するための農業用被覆資材等を導入する経費に対して補助を行う。	農業用被覆資材導入補助 3件	ゴーヤー出荷量 2,611kg以上 マンゴー出荷量 4,785kg以上	【今後のスケジュール】 今後は、講習会等を通じさらに品質向上に努める。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			与那原町海外友好親善大使人材育成事業	H27 ~ R3	文化交流を推進するため、与那原町出身の海外移住者子弟を本町で研修生として受け入れ、日本語研修及び文化研修等を通して、本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	・海外移住者子弟研修生2名受入：日本語及び文化研修の実施 ・児童生徒・町民との交流会の実施 ・与那原町における交流会でのアンケート実施 ・帰国後の研修報告会及びアンケートの実施	・与那原町における交流会でのアンケート：国際交流に関心がある人の割合：94% ・帰国後の研修報告会でのアンケート：沖縄・与那原に関心がある人の割合：100% (PR大使としての活動の実施)	【今後のスケジュール】 研修生は、帰国後積極的に町人会及び県人会活動に参加し、本町及び本県とのネットワークの強化を図り、両国において沖縄伝統文化の継承・発展に尽力する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去3年の平均値を次年度の目標とした。
6			災害対策備蓄整備事業	H28 ~ R2	沖縄県は他県から海を隔てた遠隔の地に位置し、他県からの本格的な応援等の到着に時間を要することから、避難施設における長期間の生活を余儀なくされる可能性が高い。被災者の長期避難生活を想定した非常用食料品等の整備を計画的に実施し、災害に強いまちづくりの実現を図る。	・非常用食料 1,160食 ・粉ミルク 14箱 ・粉ミルク(アレルギー)1缶 ・発熱セット 27セット ・発熱剤 100個 ・使い捨て哺乳瓶 27箱 ・保存水(超軟水)768本 ・経口補水液パウダー 3箱	帰宅困難者備蓄食料カバー率 令和2年度備蓄食糧カバー率100% (R1年度備蓄食糧カバー率80%)	【今後のスケジュール】 令和2年度を達成年度と設定し、令和3年度以降も継続的に非常用食糧等を備蓄していく。	【R2成果目標設定の考え方】 与那原町災害対策備蓄計画に基づき設定した。
7			新しい公共交通検討事業	H31 ~ R2	高齢者や障がい者等の交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討のために実証実験を行う。	福祉型町内バスの実証実験を実施	需要や課題等の実態把握の完了	【今後のスケジュール】 R2年度まで実証実験を実施し、R3年度の本格導入に向けて検討する	【R2成果目標設定の考え方】 高齢者や障がい者等の交通利便性を高めることを目的としているため、バスを利用した高齢者や障がい者等へのアンケートを実施し、アンケートより本事業の需要や課題等を見出し、本格導入に向けての検討をする。
8			運玉森「平和学習広場」整備事業	R1 ~ R2	運玉森での学習の機会を増やすため、山頂付近での歴史資料や地図等の案内板の整備を行うとともに、登山者の安全を確保する。	・実施設計 ・用地購入 880㎡	実施計画の策定の完了	【R4成果目標】 平和学習参加者の沖縄戦への歴史に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業の在り方について検証する。	【R4成果目標の考え方】 参加者の沖縄戦への歴史に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートを実施し、効果を測定するものとした。

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9	「親川」拝所整備事業	H24 ～ R3	歴史・文化を後世に継承・発信するため、親川拝所の復元・広場周辺整備及び管理棟の整備を行う。それを学校教育・生涯学習へと活用することで、地域の歴史を学ぶ機会を増やし、地域住民の誇りを高めることに役立てるとともに、新たな観光資源としての活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 「親川」拝所管理棟実施設計業務 「親川」拝所整備に係る用地購入 「親川」拝所整備に係る物件補償 網曳資料館取壊工事 網曳資料館内什器等移転業務 	<ul style="list-style-type: none"> 「親川」拝所管理棟実施設計の完了 「親川」拝所整備に係る用地購入の完了 「親川」拝所整備に係る物件補償の完了 網曳資料館取壊工事の完了 網曳資料館内什器等移転の完了 	<p>【R4成果目標】 親川拝所供用開始後1年目（R4年度）の目標を以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拝観ツアーの参加者数137人以上 <p>【今後のスケジュール】</p> <p>R1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親川拝所整備実施設計及び管理棟基本設計業務 ・親川拝所整備に係る物件調査業務 ・親川拝所整備に係る個別格差率査定業務等 ・親川拝所整備に係る事業認定申請図書等作成業務 <p>R2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親川」拝所管理棟実施設計業務 ・「親川」拝所整備に係る用地購入 ・「親川」拝所整備に係る物件補償 ・網曳資料館取壊工事 ・網曳資料館内什器等移転業務 <p>R3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親川拝所周辺整備工事着手・完成 ・管理棟着工・完成 	<p>【R4成果目標の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	1	青少年国際交流事業	H24 ～ R3	海外移民者との交流や海外での生活体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年を海外へ派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、ホームステイ、及び現地の学校への体験入学を実施する。	・交流事業派遣生徒数:10名 ・研修後報告会の開催	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年の海外派遣を継続して実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者の内、大多数が国際的な視野が広まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ～ R3	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせ英語力を向上させるため、小学校に英語指導助手を配置する。	小学校英語指導助手配置数:6人 ・4名 4校各1名 ・2名 中学校区各1名	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 英会話や英語圏に興味を持つ児童を少しでも多く増やせるよう、今後も小学校英語指導助手を配置し、成果目標の達成につなげていく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績と大多数の児童が興味を持ったと考えられる数値として設定した。
1	3	学力調査等事業	H24 ～ R3	学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げるため、学力調査等を実施する。	学力調査の実施 ・小学校 1年～2年 ・中学校 3年 リーディングスキルテストの実施 ・小学校 6年 ・中学校 1年～2年 リーディングスキルテストの先進地視察研修(埼玉県)の実施	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・小学6年 算数+0.7ポイント以上 ・中学1年 数学+9.1ポイント以上 ・中学2年 数学+6.6ポイント以上 標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 ・小学1～2年:2科目(全科目)	【今後のスケジュール】 今後は学力調査、リーディングスキルテストの調査結果により個々の学力を把握し、きめ細やかな指導につなげ、児童生徒のさらなる学力向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査において、県平均正答率を上回ることを目標とした。標準学力調査では、委託業者が設定した目標値を上回ることを目標とした。
1	4	学習支援員配置事業	H24 ～ R3	通常の授業についていけない児童生徒の学力向上を図るため、小・中学校に学習支援員を配置する。	(小学校) ・8名:4校各2名配置 ・配置学年:2～5年、配置科目:算数 (中学校) ・4名:2校各2名配置 ・配置学年:主に1～2年、配置科目:数学・理科・社会・英語	標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 小学校:全科目/4科目 中学校:2科目以上/8科目	【今後のスケジュール】 引き続き全小中学校に学習支援員を配置し、基礎学力向上に努める。	【R2成果目標設定の考え方】 R1年度の結果に基づき目標値を上回った科目数以上となるよう設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ~ R3	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	・特別支援教育支援員配置数 幼稚園:20人、小学校:26人、中学校:5人	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	【今後のスケジュール】 引き続き全小中学校に特別支援教育支援員を配置し、児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善に努める。	【R2成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として設定した。
1	6	学校ICT推進事業	H24 ~ R3	教員のICT機器の習熟及び学校教育の質の確保するため、ICT支援員を配置する。また、児童生徒の授業への興味・集中力を高めるためタブレットPC等やデジタル教科書の整備を図る。	・ICT支援員:2名配置 ・4小学校、2中学校へタブレットPC等を整備 小学校:106教室 中学校:43教室	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上 ・児童生徒にアンケートを実施し、タブレットPC等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合:80%以上	【書画カメラ】 普通教室への整備(各学年3台ずつ)を目標に、経年的に整備を行う。 【児童・生徒用タブレットPC】 各学年1セットの整備を目標に、整備を行う。 【デジタル教科書】 中学校の教科書改訂年度に合わせて整備を行う。 【ICT支援員】 次年度以降も配置する。 【その他】 ICT機器や取組について他市町村の良い例を参考に検討を行っていく。	【R2成果目標設定の考え方】 成果目標としては大多数が習熟していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。
1	7	教育相談支援事業	H24 ~ R3	不登校児童生徒数の改善を図るため、小中学校に教育相談員等を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒及び不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。	・青少年教育相談員 1名配置 ・特別支援教育相談員 1名配置 ・自立支援教室支援員 2名配置 ・適応指導教室学習支援員 2名配置 ・心の教室相談員 5名配置	不登校児童生徒復帰率:26.5%以上	【今後のスケジュール】 ・不登校の要因を分析して組織的な支援体制を行い、不登校児童生徒復帰率を26.5%以上にする。 ・多様化する不登校の要因に対して、行政・学校・家庭・地域が連携して登校支援の体制に取り組みよう情報共有の場を設ける。 ・本人や保護者との教育相談を充実することにより不登校要因の把握に努め、効果的な対策に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 目標値の設定にあたっては本町の過去の実績を勘案し、平成30年度全国値26.5%を目標値に設定した。
1	8	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24 ~ R3	中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。	中学校に外国人英語指導助手を1名配置する。	標準学力調査(2年生)および全国学力調査(3年生)の平均正答率について、全国平均正答率との差を縮める。 2年:-13.0ポイント以内 3年:-5.9ポイント以内	【今後のスケジュール】 今後も中学校外国人英語指導助手を配置し、標準学力調査および全国学力調査の平均正答率について、全国平均正答率との差を縮める。	【R2成果目標設定の考え方】 成果目標の設定にあたっては、2年生は標準学力調査の平均正答率、3年生は全国学力調査の平均正答率を用いて設定した。 理由 前年度の学習内容のテストとなるため、2年生と3年生の結果を用いて設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	9	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ~ R3	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。	大会派遣支援児童生徒数54名	保護者アンケートで、児童生徒の視野が広がったと実感した割合:80%以上	【今後のスケジュール】 今後も児童生徒人材育成のため県大会派遣を継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持ってたかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒の成長をもっと身近で感じ取ることができる保護者にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
1	10	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ~ R3	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に必要派遣費用の支援を行う。	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援数140名	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒及び青年会等の人材育成のため、大会等の派遣を継続して支援していく。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が視野が広がったと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する
1	11	南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28 ~ R3	幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことにより、その後の運動習慣を身に付けられるよう、南風原町内の幼稚園児を対象とし、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	町内4幼稚園での専門的な体育指導の実施	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 今後も事業の必要性や効果を検証しながら園児の体力向上に効果的な事業を実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が楽しさを実感したと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	1	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ~ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の美化整備を行う。また、琉球王朝時代の番所跡に植樹されているフクギ並木の整備を行う。	・観光ルート上の町道メンテナンス完了 ・公園6箇所の景観美化完了 ・フクギ並木の整備完了	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する	【今後のスケジュール】 今後も継続して町道メンテナンス(美化清掃)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が景観形成が図られたと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2	ヒーローのまちづくり事業	H25 ~ R3	南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、観光客を本町へ誘客するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	・イベント開催:1回 ・脚本賞舞台化:1回	・イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数:3,250人	【今後のスケジュール】 観光客を本町へ誘客するため、町が輩出した人材の功績や経歴、所有品展示等のイベント継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	3	シマじまガイド事業	H24 ～ R3	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出するとともに観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	・ガイド養成新規2名 ・シマじまガイド開催12回	シマじまガイド参加者:1,700人	【今後のスケジュール】 町内外からの観光客等の誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	4	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ R3	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及びJリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	・陸上競技場及び野球場芝生の管理委託業務の完了 ・陸上競技場管理嘱託員:4名	・陸上、サッカー等合宿利用者数:1,800人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数:7,800人	【今後のスケジュール】 今後も継続的にスポーツコンベンション誘致活動を行い、Jリーグキャンプ及び合宿等の定着を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	5	南風原町地域ブランド構築・展開プロジェクト	H24 ～ R3	本町の魅力の発信及び優れた特産品として認証した商品の販売数増加を図るため、町内事業者に対し商品開発やブラッシュアップ等の支援をし、「はえばる良品」の認定及び認定商品の販路開拓を図る。	・町内事業者を対象に商品開発に関するワークショップの開催(5回) ・優れた特産品の町内ブランド「はえばる良品」の認証(2件) ・特産品の販路開拓(テスト販売出展等5回) ・販路開拓セミナーの実施(6回)	・南風原良品の販売個数増 H28年度認定 びよびよシフォン7,560個 ゆめかなえぼしパウンドケーキ336個 澁しカボチャ使って味わうスープの素1,890個 はえばるのまきもの87個 H29年度認定 ウォッチナー105個 SANGOくっしょん756個 沖縄キビまる豚1,050個	【今後のスケジュール】 今後も継続的に地元企業やJA等との連携強化、人材育成、はえばる良品の周知及び販路開拓・拡大を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	6	南風原町観光PR促進事業	H25 ～ R3	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、イメージキャラクターのはえるんや野菜のお友達を活用し、様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。	・はえるん等利用数:50件 ・イメージキャラクターによる観光PR活動(年間100回)	・観光サイトアクセス数:207,500件	【今後のスケジュール】 町のイメージキャラクターを活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	7	南風原南インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R1 ～ R3	企業誘致等による産業振興の発展を図るため、南風原南インターチェンジ周辺の特性を活かした土地利用計画(素案)を策定する。	・地権者及び地域との意見交換会、勉強会の開催 ・南風原町南インターチェンジ周辺土地利用計画(素案)策定完了	南風原町南インターチェンジ周辺土地利用計画(素案)策定完了	【今後のスケジュール】 関係地権者と意見交換会を重ね、合意形成を図り南風原南インターチェンジ土地利用計画書を策定し企業誘致を図る。	【R4以降の成果目標設定の考え方】 R1～R3:土地利用計画 策定 R4以降:事業化に向けた手続き、面的整備

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	8	南風原北インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R2 ~ R3	本町の産業振興の発展を図るため、地域住民及び関係地権者との勉強会等を重ね地域の特性を活かした土地利用計画(素案)を策定する。	・計画条件の整理完了 ・地権者及び地域との意見交換会、勉強会の開催 ・南風原北インターチェンジ土地利用計画(素案)の策定完了	南風原町北インターチェンジ周辺土地利用計画(素案)策定完了	【今後のスケジュール】 関係地権者と意見交換会を重ね、合意形成を図り南風原北インターチェンジ土地利用計画を策定し企業誘致等を図る。	【R5以降の成果目標設定の考え方】 R2～R3:土地利用計画 策定 R5以降:事業化に向けた手続き、面的整備
2	9	南風原町和牛改良支援事業	H27 ~ R3	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入(4頭)の導入支援完了	導入した優良母牛から生まれた子牛と導入牛以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合(牝)104%、(去勢)117%以上	【今後のスケジュール】 導入した優良母牛から生産される子牛を保留し、母牛の改良強化を行うことで子牛のブランド化を図り、農家の経営安定化へ繋げていく。	【R2成果目標設定の考え方】 全体的なセリ価格の高騰や低落等、市場の状況に関わらず、優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしていくことにより、優良な子牛のブランド化が図られていると考えられることから、成果目標として設定した。
2	10	南風原町乳用牛改良支援事業	H28 ~ R2	乳用牛の更新・増加を促進し、生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、優良乳用牛の導入を支援する。	優良乳用牛(年8頭)の導入支援完了	生産乳量の増加:6,000kg以上 乳質(脂肪率)の向上:0.02%以上	【今後のスケジュール】 関係機関と連携し、事業成果の検証を行うと共に、導入牛から生産した子牛を積極的に保留することで、生産乳量の増加と乳質の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 本事業の目的は、生産乳量の増加と乳質の向上により経営安定を図ることであるので、前年からの増加量を維持していくことを目指して設定。 ・平成28年実績(導入事業実施前) 生産乳量:2,188,307kg 乳質(脂肪率):3.88% ・平成29年実績(導入事業実施後) 生産乳量:2,194,335kg 乳質(脂肪率):3.90% ・平成30年実績(導入事業実施後) 生産乳量:2,118,876kg 乳質(脂肪率):3.84% 平成30年実績が平成28・29年実績を下回っているため、平成28・29年実績を参考に成果目標を設定した。
3	1	はえばるリサイクルループ事業	H24 ~ R3	生ごみを資源化し、一般廃棄物を削減することによりごみ処理処分場の長寿命化を図るため、町内で発生する食品廃棄物を分別回収し、養豚用飼料や堆肥を生産する。また、生産された養豚用飼料ではえばる豚を育て販売することにより、食品廃棄物の循環を構築していく。	町内で排出される食品廃棄物を回収、分別、飼料・肥料の生産完了	生ごみ(家庭系)の年間資源化量:30トン	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内で発生する食品廃棄物を分別回収し、食品廃棄物の循環構築を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 生ゴミの資源化量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入されるゴミの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した。 また資源化量は、過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	2	草木リサイクル事業	H24 ～ R3	焼却ごみを減らし、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築によりごみ処理処分場の長寿命化を図るため、町内から排出される草木を細かく破碎し堆肥化する。	町内から排出される草木の堆肥化完了	・家庭系草木のリサイクル量(堆肥化): 435トン ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化): 105トン	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から発生する草木を堆肥化し、リサイクル量の増を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 草木のリサイクル量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入される焼却ごみの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した。 またリサイクル量は、過去の実績を勘案して設定した。
3	3	環境保全3R推進事業	R1 ～ R3	環境負荷の少ない循環型社会の形成と、ごみ処理処分場の長寿命化を図るため、本町の一般世帯から回収された資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、廃食油、ペットボトル、古着)の分別作業を実施しリサイクルを推進する。	町内から排出される資源ごみを分別及びリサイクルの完了	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の分別量 685トン 廃食油の収集分別量20,691リットル	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から排出される資源ごみを分別し、リサイクル量の増加を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 資源ゴミのリサイクル量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入される資源ごみの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した また分別量は、H30年度の収集分別量の実績より算出した。
4	1	災害時等避難施設機能強化事業	H24 ～ R3	災害時における地域住民及び観光客の安全を確保するため、バリアフリー化等、避難所の整備を支援する。	災害時避難施設の機能改善・強化整備補助(1件)の完了	災害時避難施設の機能改善・強化整備補助(1件)の完了	【R3成果目標】 整備された避難所を活用した避難訓練の実施(年1回)の際に、参加者に対して災害時に有効に活用できるか等ヒアリングにより、本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 災害時における地域住民及び観光客の安全を確保するため、バリアフリー化等、避難所の整備を継続的に支援していく。	【R2成果目標設定の考え方】 県の実績を参考に設定した。
5	1	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ R3	安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、民間の賃貸住宅等を利用している本町の学童クラブに対して、家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。	(1)家賃補助 10ヶ所 (2)生活保護世帯及びひとり親家庭等学童クラブ利用支援補助 92人分	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して学童クラブへの家賃補助及び対象世帯への学童クラブ利用支援の補助を実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	2	認可外保育園支援事業	R1 ~ R3	出生率の高い沖縄の喫緊の課題である待機児童の受入を担っている認可外保育園の保育の充実、児童の福祉向上を図るため、本町の児童が通園する認可外保育園に対して1.運営補助、2.傷害保険補助、3.歯科検診補助を行うとともに、町外認可外保育園児の保護者に対し、町外認可外保育児童助成の補助を行う。	(1)認可外保育園への補助 5園 1.運営補助 2.傷害保険補助 3.歯科検診補助 (2)町外認可外保育園に通う町内在住者の児童の保護者への助成 31名 1.町外認可外保育児童助成	・園児の保護者に対し、保育の質が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。 ・園児の保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 認可外保育施設の質の向上及び保護者の負担軽減を継続的に実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 アンケートについては、保育の質の向上、助成による負担軽減を実感できる保護者を対象とした。 また、成果目標については、大多数が、保育の質が向上した又は助成により負担が軽減され満足したと考えられる値として80%を設定し、合わせて当事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	3	輸入感染症対策推進事業	R2 ~ R3	外国人観光客の急増により、観光客から麻しん、風しんにかかるリスクが増加していることから、当該感染症の蔓延を予防するとともに沖縄観光や経済への影響を最小限にするため、麻しん風しん(MR)予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。	MR 期接種目標率 95% MR 期接種目標率 95%	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	【今後のスケジュール】 流行による感染拡大が起こらないよう、引き続き対象者への接種勧奨を積極的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 感染症蔓延を防止するために接種率の向上を図り、集団感染を防ぐことが目的のため集団感染の発生件数を目標値として設定した。
6	1	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ~ R3	南風原町の歴史継承及び観光誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外からの見学者に対してガイド案内を実施する。	開壕日数:305日	見学者数10,500人	【今後のスケジュール】 今後も継続して沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行い、20号壕を訪れる県内外からの見学者へのガイド案内を実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去(H29~30年度)の実績を勘案して設定した。
6	2	子ども平和学習交流事業	H24~ R3	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	・子ども平和学習交流事業参加者数:8人 ・事前学習及び本研修を実施後、報告会を開催	・参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化がみられた:90% ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味をわいた児童:90%	【今後のスケジュール】 ・本事業におけるOB会との連携、事後学習の充実を図る。 ・ネットワークづくりや課題を設定したイベントの開催などを実施する。 平成24年度~令和3年度 各年度参加者8~12人 累計116人(H27年は24人)	【R2成果目標設定の考え方】 児童の平等に対する理解が深まったかについて、大多数が理解していると考えられる数値として「90%以上」と設定した。
6	3	伝統芸能保存育成事業	H24~ R3	伝統芸能の継承を図るため自治会への道具・衣装・楽器・面具などの購入に対して補助金を交付する。	伝統芸能保存育成補助(2件)の完了	補助団体による伝統芸能上演等回数 34回	【今後のスケジュール】 今後も伝統芸能の保存継承を推進するため、自治会を支援する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	4	海外移住者子弟研修生受入事業	H24～R3	それぞれの生まれ育った国や地域への理解を深め、海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、南風原町出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れ、移民の歴史をはじめとした、相互の文化と歴史の学習を実施する。	・受け入れ国の数2カ国(南米ブラジル、ペルー) ・研修生(2人)の受け入れ完了 ・研修成果の報告会を開催	研修後、研修生・ホームステイ先・研修関係者に対してアンケートを実施 ・研修終了後、移民史に興味があった:80%以上 ・日本語をさらに習得したい:80%以上 ・日本や沖縄の文化や歴史に以前より関心を持つようになった:80%以上 ・海外の子弟と交流ができてとても良かった:80%以上 ・ホストファミリーとしてまた研修生を受け入れたい:70%以上	【今後のスケジュール】 移民値の南風原町人会と南風原町を結ぶ人材育成が目的の事業であるため、出身国の組織継続を念頭に置いた取り組みを展開したい。	【R2成果目標設定の考え方】 海外と町を結ぶ懸け橋となる人材育成が図られたかを指標化することは難しいため、お互いの文化や歴史により一層興味を持ったかを、アンケートで測ることにより、懸け橋となる人材育成が図られたかを確認する。
6	5	南風原町民俗芸能交流会開催事業	H26～R3	町内各地にある伝統芸能を披露する場や他地域と交流する場を設け、新たな世代へ地域の伝統芸能を継承し、地域活性化を図るため、南風原町民俗芸能交流会を開催する。	民俗芸能交流会の開催	・来場者数 450人	【今後のスケジュール】 毎年度民俗芸能交流会を開催して伝統芸能を発表する場所を提供することで継承につなげる。	【R2成果目標の考え方】 交流会の開催を南風原中央公民館で予定しており、収容人員が450名であるため、来場者数を450人に設定した。
7	1	長寿県復活食の応援事業	H25～R3	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	生活習慣病予防健診の開催 健診結果説明会の開催	中学2年生の継続受診率60%(平成29年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか)	【今後のスケジュール】 生活習慣病予防健診結果を教育委員会や町内学校とも共有することで学童期からの生活習慣病予防を効果的に進めていきたい。	【R2成果目標設定の考え方】 生活習慣病予防のためには健診結果を経年で見ていくことが重要であり、継続受診率を見ることで事業目的の評価を行えると判断した。なお、60%は本町の特定健診継続受診率を参考値とした。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ~ R3	入域観光客数の増加を図るため、県内外で開催される観光イベント等での観光PR活動、各種広告媒体を活用した情報発信及び、増加する外国人を含む観光客の受け入れ態勢強化に取り組む。	・PRツールの制作配布(観光MAP等) ・県内外で行われるイベントでのPR活動(沖縄国際映画祭、ツーリズムEXPO等) ・広告掲載(観光情報誌掲載) ・外国語スタッフの配置(とまりん(那覇)、渡嘉敷港案内所)	年間入域観光客数 137,000人以上 外国人観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 イベントにおいては、体験メニューを取り入れたブース運営で、島の魅力を発信する。 ・渡嘉敷島MAP等のツール類については、常に最新の情報を取り入れ増刷しPRに活用するほか、WEBを活用したPRにも力を入れていく。 ・とかしきマラソン参加者の安定確保のため、特色を前面に出したPRを展開する。 ・観光振興実施計画に基づく実績の評価(PDCA)を実施していく。 ・ホスピタリティ向上の為多言語人材の確保及び、観光関係事業者を対象に食に関する研修会等を実施する。	【R2成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 大多数の外国人観光客にとって利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ~ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。	花木植栽10箇所実施 美化清掃10箇所実施	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R3年まで継続実施し、本村のイメージアップに努める。	【R2成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	渡嘉敷村観光振興事業	H29 ~ R3	渡嘉敷村の観光振興を図るため、各イベント実行委員会への支援や、修学旅行等の誘致活動に組織む観光協会への支援を行う。	・各イベントへの支援 ・観光協会への支援	年間入域観光客数 137,000人以上 【参考指標】 イベント来場者(参加者)数 ・とかしきまつり 600人 ・とかしきマラソン 890人 ・冬季(11月~3月)21,100人 修学旅行受入校数 12校以上/年	【今後のスケジュール】 ・村内観光誘客イベントの継続開催を支援し、あらたな客層の掘り起こしや入域観光客の平準化を図る。 ・修学旅行等誘致活動は、これまでの来島校の継続と、特に関東地区と関西地区の新規開拓に向けた取り組みを強化する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	渡嘉敷村海域安全確保事業	R1 ~ R3	村内の2ビーチ(阿波連ビーチ・渡嘉志久ビーチ)において、ビーチ利用者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。	水難救助員等の配置 ・阿波連ビーチ 2名(3名) ・渡嘉志久ビーチ 2名 (7月、8月 阿波連ビーチ 1名追加)	・水難救助員配置期間中の水難死亡事故 0件	【今後のスケジュール】 ・ビーチにおける遊泳者等の事故防止及び安全確保に努める。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	詳細			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	①	自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ～ R3	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車輛航送利用者に対し運賃の一部を支援する。	年間自動車航送台数 自動車(二輪車を含め) 560台	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 離島における生活環境のハンディが解消されることにより、本村への定住促進に繋げる。	【R2成果目標の考え方】 住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートを用いて検証する。
2		渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ 3R	渡嘉敷村営定期船の欠航時、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援することで、利便性を確保する。	年間補助回数 110回	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する	【今後のスケジュール】 本事業の継続により離島における村内航路欠航時の移動手段を確保することで利便性を確保する。	【R2成果目標の考え方】 住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートを用いて検証する。
3		小学校学習支援員配置事業	H24 ～ R3	村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、教育環境を改善し学力向上を図るため学習支援員を配置する。	渡嘉敷小学校へ支援員を2名派遣 阿波連小学校へ支援員を2名派遣	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+9.2ポイント以上	【今後のスケジュール】 児童の学力向上及び離島の教育環境の改善を図る。	【R2成果目標の考え方】 H30年度の沖縄県学力到達度調査において、県の平均正答率と村の平均正答率を比べ、その差をR2年度成果目標に設定。
3		児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R3	村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会、県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、船賃、宿泊費、航空運賃等の補助を行う。	島外の人との競争や交流の機会を確保することで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 離島の教育的ハンディの克服及び教育意欲の向上を図る。	【R2成果目標の考え方】 保護者へアンケートを取り、児童生徒の視野が広がったと考える保護者80%以上を成果目標に設定。
3		家庭教育支援事業	H28 ～ R3	村内に在籍する小学校5年生から中学校3年生までを対象とし、Web会議システムを用いたオンライン双方授業を実施することにより教育環境格差の大きい離島地域において、村外・県外と同等レベルの教育を受けることができる環境を整備する。	オンライン学習塾の開校 小学校5年(国語・算数)72授業 小学校6年(国語・算数)72授業 中学校1年(数学・英語)72授業 中学校2年(数学・英語)72授業 中学校3年(数学・英語・国語)132授業	学習塾内で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村の平均点の差を-14.1以内とする。	【今後のスケジュール】 オンライン塾の実施継続を行い、児童生徒の学力向上を図る。	【R2成果目標の考え方】 オンライン学習塾を継続し、全国平均との差を縮小する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	①	渡嘉敷村低炭素な村づくり推進事業	R2 ~ R3	低炭素社会への転換を推進し、地球温暖化対策へ寄与するとともに、防犯灯における二酸化炭素排出量を削減するため、村内にある既存の防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明等への切り替えを実施する。	村内の防犯灯(水銀灯、蛍光灯)の調査及び新たな設置と撤去について設計を行う。	設計業務の完了	【今後のスケジュール】 R3年度に村内防犯灯のLED設置及び撤去を行う。	【R2成果目標の考え方】 本事業の成果目標は、温室効果ガス削減に関する指標を設定すべきだが、設計段階であり本年度中の検証が困難であるため、成果目標としては、定性的な指標を設定した。
5		渡嘉敷村防災体制強化事業	R2 ~ R2	災害時の住民や観光客等の安全を確保するため、緊急車両(消防車)を整備する。	緊急車両(消防車)の整備。	緊急車両(消防車)1台の導入	【R3成果目標】 ・渡嘉敷村消防団訓練 12回以上/年	【R3成果目標の考え方】 当該車両を活用した渡嘉敷村消防団の訓練の実施により検証を行う事で、防災体制の強化に繋がると考え成果目標と設定した。回数については、月に1回以上訓練を実施するものとし設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			座間味村海域安全隊事業	H24～R3	村内の指定3ビーチにおいて、観光客の増加する4月中旬から11月中旬の期間、海洋事故防止及び安全確保並びに自然環境の保全活動を図るためライフセーバー員等を配置する。	ライフセーバー員等の配置 ・古座間味ビーチ 2名(3名) ・阿真ビーチ 2名 ・北浜ビーチ 2名 (7月、8月 古座間味ビーチ 1名追加) ・11月 各ビーチ1名配置	ライフセーバー配置期間中の死亡事故:0件	【今後のスケジュール】 ライフセーバー人材の確保と水難救助講習会による人材育成に努め、より安全な海水浴場づくりに注力する。	【R2成果目標の考え方】 水難事故そのものを0にするのは極めて困難なため、引き続き村指定の3ビーチにライフセーバーを配置し水難死亡事故0件を目指す。
1			座間味村がんばる観光支援事業	H24～R3	観光客誘致を図るため、各イベント実行委員会へ補助金を交付するとともに、県外での観光PR活動を行う。	各種イベント実行委員会への補助金交付。県内外PRイベントの実施。	入域観光客数112,000人	【今後のスケジュール】 一層の入域増につなげるよう、イベント内容を改善しながら、実施してゆく。	【R2成果目標の考え方】 観光客数が国立公園指定当時ほどの増加率で推移しないが、数のみならずリピーターづくりに努める。
1			座間味村観光受入拠点事業	H24～R3	観光客の利便性確保及び観光誘客を図るため、座間味村観光協会が実施する観光誘客活動及び観光案内業務等の取り組みに対して補助を行う。	・観光案内所年中無休(台風時等閉鎖) ・村内外観光客誘客活動年5回 ・観光事業者スキルアップ講座 新規メニュー開発 2回 心肺蘇生講習会 1回	講座など村観光協会の取組について「観光客の満足度向上に繋がると感じたか」(80%以上)を含め、村内観光事業者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続してアンケートを実施し、効果を測定することにより、観光客の満足度向上を図る。	【R2成果目標の考え方】 大多数の事業所から評価が得られたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。村内事業所の意見を聞くことで、観光協会職員の意識向上、スキルアップを図る。
1			座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備	H29～R3	平和学習を目的とした修学旅行の誘致を図るため、村内に点在する戦跡や記念碑等の周辺環境整備を行う。	案内看板・説明看板設置及び進入路・周辺整備工事の発注及び施工管理委託発注	戦跡等の周辺環境整備の完了	【R4成果目標】 修学旅行学校数 10校 小中学生対象 理解度アンケート実施	【R4成果目標の考え方】 修学旅行誘致の見込みが減少傾向にあるため、観光協会との協議を踏まえて目標を設定している。 村内の小中学生を対象に、アンケートを実施。戦跡を活用した平和学習により座間味村の沖縄戦に関する歴史への理解が深まったか(80%以上)を含め、成果を検証する。
1			座間味村ウェルカム・パーク整備事業	R1～R3	座間味港背後地において、環境省による博物展示施設の整備にあわせ、観光客や村民が憩い、交流できる場を創出するため、交流施設「ウェルカム・パーク」を整備する。	座間味村ウェルカム・パークの実施設計の完了	島の玄関形成地区としてふさわしい緑地公園の整備に向け、実施設計を行う。	【R3成果目標】 公園利用者に対しアンケート調査を実施する。「憩い、交流の場として活用出来たか(80%)」を目標とする。	【R3成果目標の設定の考え方】 数値については、概ね肯定的であると考えられている数値として、80%以上と設定。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			座間味村観光イベント施設整備事業	R1～R3	歴史文化・健康づくり拠点施設に隣接して、主に観光客を対象としたイベントを実施するための野外ステージを整備する。	・野外ステージ設置に伴う磁気探査業務 ・出演者控室や音調設備など建物の建築	・磁気探査業務の実施、完了 ・出演者控室等建物の工事、完了	[R4成果目標] ・イベントへの参加者数(観光客) 5,040人 【今後のスケジュール】 R2～3 野外ステージの設置工事 R4 供用開始	[R4成果目標の設定の考え方] 客席部分が現行のイベント広場(座間味港ターミナル:480席)より1.5倍の広さ(720席)となるため、平成30年度動員実績の1.5倍とした。なお、安全面に考慮して、上限を720人として積算した。
2			座間味村サンゴ(海の花)育成・植付事業	H24～R3	海水温上昇や台風被害による白化現象などで減少や荒廃している慶良間諸島海域のサンゴの種苗生産を行うことで、サンゴ礁の修復・再生をはかる。また、生産や植付を行う人材の育成システムを構築する。	安定したサンゴ種苗の育成と植え付けを行い、定着率向上を目指す。	・育成するサンゴの種類を増やす ・植え付けサンゴの定着率50%	【今後のスケジュール】 サンゴ着生(定着)数を上げることで年間の種苗生産数を増加させる。種苗数の増加によって、植付に回せる種苗を安定的に確保でき、植付ダイビングの安定的な実施につながる。	[R2成果目標の設定の考え方] 台風被害などの有無により定着率は左右されるが、サンゴ礁の再生をはかるために、植え付けサンゴの半数が定着することを目指す。
3			座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24～R3	定期船欠航時等の沖縄本島への移動手段を確保し、離島の不利性解消を図るため、那覇～座間味村間のヘリコプターチャーター便利用に係る運賃負担に補助を行う。	村営船舶航路欠航時等におけるヘリコプターチャーター費用の支援実施	利用者アンケートを行い、「利便性が確保された」との回答 80%以上を目標とする。	【今後のスケジュール】 利用者アンケート内容も参考に、運航会社に機材の追加導入や、予約時の利便性向上を求めていく。	[R2成果目標の設定の考え方] 大多数の利用者の満足が確保されたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
3			座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25～R3	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、座間味村～那覇港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。	車両航送運賃の低減化支援	利用者アンケートを行い、「事業に満足している」との回答 80%以上を目標とする。	【今後のスケジュール】 定住促進のため、経済的な負担を軽減し、住みよい環境づくりにつなげることで、定住を促す。本事業について住民がどの程度継続を希望しているかも含めて、アンケート分析を行う。	[R2成果目標の設定の考え方] 大多数の利用者の満足が確保されたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
4			座間味村外来植物討伐事業	H24～R3	伝統的な景観の保全・再生を通して、魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内に生息している外来植物の伐採・駆除を行う。	外来植物討伐事業の実施(2地区) 討伐数500本を目標とする。	観光客アンケートを行い、「魅力的な観光地景観となっている」との回答 80%以上を目標とする。	【今後のスケジュール】 外来植物の討伐を継続し、座間味村らしい景観の保全を目指す。	[R2成果目標の考え方] 大多数の観光客の満足が確保されたと考えられる数値として「80%以上」と設定し、また本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		座間味村平和・未来プロジェクト事業	H30 ～ R2	本村で起きた悲慘な戦争事実や歴史等の継承・保存を図るため、文献・書籍・体験者証言を集約し、これらのデジタルコンテンツ化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・村内全3校での平和学習会 ・各種イベントの実施(平和コンサート、タイムカプセル等) ・各コンテンツについての情報発信 ・戦跡ガイドの育成 ・インタビュー映像の英語翻訳 	<ul style="list-style-type: none"> ・平和学習会時におけるアンケートの実施。(本村における戦争事実について理解深まったか・80%以上) 	<p>[R3成果目標] 年間ホームページ閲覧数:8万件 各教育機関へのデジタル媒体の配布:100件 年間パンフ・マップ配布数:5000枚</p> <p>[今後のスケジュール] R3年度以降の取組:ホームページの情報追加、歴史文化・健康づくり拠点施設の開設後の戦争体験者インタビュー映像の放映等、各教育機関へのデジタル媒体配布及びパンフ・マップ配布の継続。</p>	<p>[R2成果目標の考え方] 平和学習会に参加した小中学校の大多数が理解が深まったと考えられる値として「80%以上」と設定した。</p>

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

栗国村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
1		環境美化促進事業	H24 ～ R3	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	・美化・緑化活動の実施 観光地：5箇所 アクセス道路：13路線	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R2～R3: ・美化・緑化活動の実施 観光地：5箇所 アクセス道路：13路線	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		栗国村「ア」のくにづくり推進事業	H26 ～ R3	イベントを通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、栗国村「ア」の国まつりの開催及び広報周知活動を実施する。	イベント開催：1回(2日間) フェア出展：1回(3日間)	・イベント出演者(栗国島芸能)：演舞者：35人(むんじゅる節、むんじゅる太鼓、マースヤー、エイサー) ・イベント来場観光客数：94人(2日間) ・フェア全体での来場客数(3日間で15万人)の1割である15,000人に観光PR用の配布物を提供する。	【今後のスケジュール】 R3年度までイベントを開催し、観光入客数増加及び定住の促進に向けて、村民との交流型イベントを行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1		ハブ対策事業	R2 ～ R3	地域住民や観光客の安全確保の為、ハブの捕獲・駆除を行う。	・作業員の配置(1人) ・捕獲器の設置(130台)	・ハブ咬傷被害：0件	【今後のスケジュール】 個体数の減と咬傷被害ゼロのため捕獲事業を継続して実施し、観光客地域住民の安全安心を確保する。	【R2成果目標設定の考え方】 本村ではハブが生息していない地域とされていたが、平成29年9月に初めて発見されてから、県の協力を得て生息調査を行ってきた。これまでに村内全域に60器の捕獲器を設置し、調査した結果13匹のハブが捕獲された(R元年12月現在)。ハブが定着している可能性が高いとして、今後はハブ駆除を積極的に行う。これまで咬傷被害は発生していないが、個体数の減と咬傷被害ゼロを目指す。

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	国際交流支援事業	H27 ~ R3	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。	・海外ホームステイ生徒派遣 5名 ・報告書作成20部	・帰国後、以下の点に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。 派遣対象生徒へホームステイ実施前後の意識調査を行い、授業等への取組姿勢などが向上したと答えた割合が80%以上 派遣対象生徒保護者へのアンケートで、国際的な広い視野がより広まったと感じた割合が80%以上 ・英語検定受検者の増加 令和2年度英検受検を生徒の70%が受検	【今後のスケジュール】 ・派遣予定者数 令和3年度まで各年度5名	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の生徒が「授業等への取組姿勢などが向上した」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 英語検定受検者の増加については、過去の実績を勘案して設定した。	
2	学力向上支援事業	H27 ~ R3	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する。	5月から翌年3月まで月80コマの村営塾の実施	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校:2ポイント以上 中学校:3ポイント以上	【今後のスケジュール】 県学力到達度調査で県平均以上を上回る状況を継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	児童・生徒派遣事業	H27 ~ R3	島外のひととの競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	・児童・生徒の島外の大会及び教育活動への参加への参加の支援	・対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の派遣を今後も継続し村外での教育活動を通じ、交流活動を続けていく。児童生徒の生きる力を育む。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	粟国村交通移動手段安定化対策事業	H27 ~ R3	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、航空路線の運航日以外にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。	・航空路線の運航日以外の島民及び来島者のチャーターヘリ利用料金支援	・ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 週7日の定期航空路が再開するまで事業を継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の利用者が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	粟国村自動車航送運賃低減化事業	R2 ~ R3	村民が沖縄本島と粟国間の移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図る為、粟国～那覇間の車両航走利用者に対して往復運賃の半額補助を行う。	自動車航送運賃を低減するための支援実施	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 定住促進のために、経済的・精神的負担を軽減し、住みよい環境を整備することで、村の総合計画にて目標としている人口増加に努める。	【R2成果目標設定の考え方】 利用者の大多数が移動しやすい環境が構築されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡名喜村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	環境保全・美化推進事業	H24 ～ R3	集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。	過去の観光客数などから、80%の方が当該施設を訪れると予測し、利用者数を積算した。	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 これまで同様事業を実施し、渡名喜らしい観光地づくりをめざし、観光客や地域の方々が安心・快適に過ごせるよう事業を継続していく。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、アンケートを実施し、効果の測定及びあり方の検証を行う。	
2	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ R3	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を一部支援する。	観光客及び島民に対するフライト実施に係る支援回数50回	フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・年間フライト数(見込み) R2年度 50回 R3～4年度 50回	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が本事業の目的である利便性が確保されていると感じたと考えられる値として設定した。また当該事業に関するアンケートを実施し、効果の測定及びあり方の検証を行う。	
3	児童・生徒の教育活動助成事業	H26 ～ R3	村外での教育諸活動(スポーツ・文化)及び交流学習へ参加する児童生徒に対し、船運賃等の補助を行う。	・スポーツ大会参加 (小学生18名、中学生28名) ・文化発表等 (小学生18名、中学校13名) ・交流学習 (小学生10名)	申請した保護者へのアンケートで、児童生徒の視野が広がったとの回答割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 島外の人との競争や交流の機会を増やす事で、自分自身の学習への興味関心やレベルアップへ繋げられるよう質の向上へ促す。	【R2成果目標設定の考え方】 保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか等を含め、アンケートによる本事業のあり方を検証する。	
4	観光振興整備事業	H27 ～ R2	観光案内所や観光スポットである東浜周辺の整備を行うことで、受入体制を整え、観光客の利便性を確保する。	・島尻毛散策道の整備 ・ターミナル周辺の整備	利便性の確保が図られていると評価する観光客の割合80%以上(アンケートにより算出)	【R2成果目標】 令和2年度: ・ターミナル周辺工事 ・散策道整備工事	【R2成果目標設定の考え方】 前年度に引き続き対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡名喜村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			渡名喜村旅客ターミナル整備事業	R1 ~ R2	島の玄関であるフェリーターミナルは、現在庇の一部欠落や、壁のひび割れ等が複数見られ、危険な状態となっていることから、フェリーターミナルを改築し、利用する観光客や村民の危険性除去・利便性向上を図るとともに、観光客誘致や情報提供の場として活用できるよう、整備する。	・旅客ターミナル改築工事監理業務の実施 ・旅客ターミナル改築工事の実施	・旅客ターミナル改築工事監理業務の完了 ・旅客ターミナル改築工事の完了	<p>【R3成果目標】 供用開始後1年目（R3年度）に観光客や村民に対して安心・安全に利用できているか等のアンケートを実施し、満足度（80%以上）を調査し、事業や施設のあり方を検証する。</p> <p>利用者数の増加見込みを踏まえて特産品販売額を以下の数値を参考に設定した。 旧ターミナル座席数：76席 新ターミナル座席数：100席 （約1.3倍利用者数増見込み） 過去3年（H28～H30）特産品販売上げ：2,677千円 2,677千円×1.3＝3,480千円 R3年度目標額：3,480千円</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 観光客及び村民の大多数が概ね満足とれる値で設定した。また、アンケートを実施し、効果の測定及び事業のあり方について検証する。</p> <p>利用者数の増加見込みを踏まえて特産品販売額を設定した。</p>
6			渡名喜村フォトツーリズム事業	H30 ~ R2	フォトツーリズム事業を行うため、作成した冊子や装飾品を用いて県内外へ周知していく。	・イベント出展 ・フォトツアーの実施 ・雑誌等メディアとのタイアップ	フォトツーリズム関連（カメラを目的とする）の観光客数：25人以上	<p>【今後のスケジュール】 令和2年度： ・イベント出展 ・フォトツアーの実施 ・雑誌等メディアとのタイアップ</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 フォトツーリズム関連の類似事業の実績を参考に設定した。</p>
7			渡名喜村多目的拠点施設整備事業	H26 ~ R3	村民の子育て環境の整備、健康増進、観光振興に加え、村民や観光客を自然災害から守るため、子供預かり所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。	渡名喜村歴史民俗資料館の実施設計業務、展示制作工事及び工事監理業務委託の実施。	渡名喜村歴史民俗資料館の実施設計業務、展示制作工事及び工事監理業務委託の実施。	<p>【R4成果目標】 供用開始後1年目 年間利用者数 1,100人</p> <p>【今後のスケジュール】 R2年度：展示実施設計、展示制作工事、展示工事施工監理業務 R3年度：展示ガイダンス作成業務委託、収蔵品管理業務委託 R4年度：供用開始</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 過去の観光客数などから、80%の方が当該施設を訪れると予測し、利用者数を積算した。</p>

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業	H24 ~ R3	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。又、検診等に使用する胸部レントゲンを南大東村診療所より保守管理料の1/2を2年に1度使用料として折半する。	1. 胸部レントゲン使用料の折半。 2. 検査技師等スタッフ来島渡航費の支援。	集団検診受診率32%以上。	【今後のスケジュール】 引き続きR元年度以降も過去の集団健診受診率を上回るようにし、最低限過去の受診率の平均を下回らないように努める。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の集団検診受診率の実績を勘案して設定した。	
1	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ~ R3	定住促進を図る為、沖縄本島で専門の治療や検査の受診を余儀なくされている住民や、40歳以上の胃がん及び乳がん(マンモグラフィ)検診受診者の渡航費を支援する。	専門病院受診等渡航費助成の実施。	渡航費支援が必要な人への支援率100%。	【今後のスケジュール】 引き続き渡航費支援が必要な人への支援を行い、継続した医療受診につなげる。	【R2成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療等を受けなければならない人に対して、全員が中断することなく受診できる環境の提供を目標として設定した。	
1	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ~ R3	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援。	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅21.4ポイント以上。	【今後のスケジュール】 今後も沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ~ R3	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 10箇所、アクセス道路 2箇所)	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃や植栽を行い観光地としての魅力向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	人材育成派遣事業	H25 ~ R3	子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施。	派遣された児童生徒が広い視野を持ってたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する	【今後のスケジュール】 引き続き各種大会派遣に対する支援を実施し、島外での交流等により広い視野を持たせ人材育成につなげる。	【R2成果目標設定の考え方】 引き続き対象者のうち大多数が広い視野を持ってたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		南大東村安らぎ空間複合施設整備事業	H30 ~ R2	本村には、葬祭場がなく、葬儀に関しては各家庭で行う習慣があるが、近年は集合住宅での定住者も増えており、時代的な背景や生活形態の変化から簡易葬祭場の整備が望まれている。併せて納骨堂の整備や待合室、駐車場など一体的な複合施設を整備することにより利用者への利便性の向上と管理コストの低減が図られるため複合型施設整備に向けた基本計画を策定する。	建築工事の着手。	建築直接工事、電気設備直接工事、機械設備直接工事完了。	<p>【R3成果目標】 複合施設の火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合80%以上。</p> <p>【今後のスケジュール】 令和元年度 建築工事 令和2年度 建築工事完了 令和3年度 供用開始</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 大多数が葬儀に係る負担が軽減されたと考えられる数値として80%以上とした。</p>

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24 ～ R3	伝統文化である大東太鼓の担い手を育成・確保し、魅力を積極的に発信することによって観光誘客を図るため、島外の文化交流イベント等に参加する演者の渡航費を補助する。	・文化交流イベントの開催:4回(県内:1回)	・島の観光入客者数:1,100人以上	【今後のスケジュール】 ・文化資源の担い手育成と他団体との文化交流事業を継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ～ R3	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・アクセス道路及び周回道路の美化実施:2,500m(10箇所) ・作業員配置4名	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・修景及び美化の実施を継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ～ R3	村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導、及びICTを活用した現役東大生によるオンライン双方向授業を実施することにより、児童生徒の学力向上を図る。	・学習支援員(塾講師)配置:1名 ・東大生によるオンライン双方向授業:授業数66授業/年、講師10名	・令和2年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 小学校 県平均以上 ・3年生:国語、算数 ・4年生:国語、算数 ・5年生:国語、算数、理科 ・6年生:算数 中学校 県平均以上 ・1年生:数学 ・2年生:国語、数学、理科、社会、英語	【今後のスケジュール】 ・今後も支援員配置及びオンライン双方向授業等を実施し児童生徒の学力向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ～ R3	安心・安全に子育てできる環境を整備するため預かり保育支援員を配置し、預り保育を実施することで、保護者の育児への負担感を軽減する。	・預かり保育支援員配置:5名	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・預かり保育を継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	離島の児童生徒の交流促進事業	H24 ～ R3	児童生徒の島外・県外へのスポーツや交流学习における派遣渡航費の補助を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。	・渡航助成の実施	・派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 ・スポーツや交流学习派遣を継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	離島特別医療質確保推進事業	H24 ~ R3	島内で対応できない専門医療を受ける際の渡航費の一部助成を行うとともに、専門医療従事者を招聘して相談や検診を行うことにより村民の心身の健康に関する不安を解消する。	・特定重病患者等の検診助成の実施 ・専門医療従事者の招聘	・渡航費支援が必要な人への支援率:100% ・心身の健康に関する不安が解消されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・特定重病患者等の検診の際の渡航費・滞在費助成を継続する。 ・専門医療従事者招聘のための渡航費・滞在費助成を継続する。	【R2成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療等を受けなければならない人全員が中断することなく受診できる環境を提供することを目標として設定した。	
4	北大東村景観形成事業	H26 ~ R3	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・村一周海岸道路の植樹環境整備工事の実施:300m ・過年度実施箇所の給水	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・村特有の岩礁や風景を活かした景観形成を行う事で、観光客の誘致、観光産業の振興に繋げる。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	北大東村水産業施設等海水供給施設整備事業	R1 ~ R2	鮮度保持を行う水産施設等へ海水を供給するため、海水供給施設を整備し、鮮魚の島外出荷量の増加を図る。	・海水供給施設の整備	・鮮魚の島外出荷量 27.7t以上/年	【今後のスケジュール】 ・R2:施設整備 ・R3:供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 鮮魚の島外への出荷量が増加することで、水産業の振興が図られると考え設定した。 指標については、R2年漁獲量見込量の額から島内の鮮魚消費量を差し引き算出した。 27.7(t) = 46.2(t) - 18.5(t)	
6	北大東村認定子ども園整備事業	H30 ~ R2	待機児童を解消するため、認定子ども園を整備する。	・認定子ども園の施設整備	・認定子ども園の施設整備	【R3成果目標】(保育部分) ・待機児童0名(幼稚園部分) ・発育度が向上したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 ・R2:施設整備 ・R3:供用開始	【R3成果目標設定の考え方】(保育園部分) 入園対象児童数を勘案して設定した。(幼稚園部分) 対象者のうち大多数が発育度が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7		北大東小中学校地域副読本制作事業	R1 ~ R2	北大東島の歴史や文化をまとめた副読本を制作し、郷土学習を行うことにより、島の歴史、文化の継承を図る。	・副読本(中学生用)の制作 ・小学校3,4年生、5,6年生用の副読本を使用した授業開始	北大東島の歴史・文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・R2:中学生用の副読本の制作、小学校3,4年生、5,6年生用の副読本を使用した授業開始 ・R3:中学生用の副読本を使用した授業開始	【R2成果目標設定の考え方】 本事業の目的「歴史・文化の継承」をはかるため、児童に「歴史・文化への理解が深まったか」どうかを含めてアンケートを行うことにより、事業の効果を検証する。 目標値については、児童の大多数が歴史・文化への理解が深まったと考えられる「80%」とした。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	1	商工観光産業支援事業	H24 ～ R3	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	・1団体約250名規模の大型の修学旅行を誘致すべく、参画民家50軒を維持できるよう地域(各戸別訪問)を継続的に実施 ・年間受入観光客数 延べ800人以上の受入を目指し他県でのPR活動を実施	民泊利用者数 4,983人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に伊平屋島観光協会の活動を支援し、民泊利用者の増加を図る。	【R2年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	1	観光地等イメージアップ推進事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光ルート等の雑草の除去および清掃作業を実施する。 ・観光地：8カ所 ・アクセス道路：10路線	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃作業を実施し、観光地としての魅力向上を図る。	【R2年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	1	誘客イベント推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、イベントの開催及び開催支援等を行う。	・委託事業8件 ・補助事業4件	村内入域観光客数 24,273人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントの開催及び開催支援を行い観光誘客を図る。	【R2年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	1	公園修景等整備事業	H28 ～ R3	国指定を受けた念頭平松を中心とした、景観に配慮した、休憩施設の多目的広場等の整備を行い、快適性、利便性の向上とともに観光地としてのイメージアップ、伊平屋らしい原風景の創出を図る。	多目的広場工事 発注 東屋撤去 発注	多目的広場工事 完了 東屋撤去 完了	【R4成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。 【今後のスケジュール】 令和2年度及び令和3年度も引き続き残工事の実施を行う。公園整備(R2年:広場整備工事、駐車場 R3年:園路下地工事、防風緑陰・修景植栽工事、園路仕上工事、防火水槽工事) 令和4年度4月から供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	1	伊平屋村「琉球の兆し」普及啓発事業	H30 ～ R3	文化資源及び観光資源としての価値を高めるために村文化財の保存継承を図り、観光客の利便性の向上に取り組む。	・螺鈿蔵修理の実施	螺鈿蔵修理の完成	【R4成果目標】 歴史民俗資料館の入館者数1,300人以上とする。 【今後のスケジュール】 螺鈿靴修復以降も継続的に文化財の価値向上、案内サイン版設置等により利便性向上を図り、観光客数の増加を目指す。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	病害虫防除事業	H24～R3	さとうきびの生産量低下の原因となっている病害虫の防除を図るため、ほ場に薬剤を設置する。	薬剤(性フェロモンチュープ)設置:160ha	さとうきびの生産量 5,500トン	【今後のスケジュール】 生産量の安定確保に努めるべく、適宜JAと調査・指導を行う	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26～R3	農家の経営の安定化に向けて子牛のブランド化を推進するため、引き続き優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入の支援 14頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 102%以上	【今後のスケジュール】 今後も畜産振興を図るため、農家に導入支援を行う。	【R2年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	新伊平屋村製糖工場建設工事	R2	本村の基幹産業であるさとうきび・糖業の安定した生産体制を確立し、継続的なさとうきび・糖業の振興を図るため、含みつ糖製糖施設を整備する。	・外構工事の実施 ・現場技術業務委託の実施	・製糖期間におけるさとうきびの受入可能割合 100% (受入可能割合=農家によるさとうきび生産量のうち、製糖工場が受入できた割合)	【今後のスケジュール】 R2:整備工事 R2.12月:供用開始 製糖期間におけるさとうきびの受け入れ可能割合 100%	【R2年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	伝統文化継承支援事業	H24～H33	伝統芸能及び文化の保存継承を図るため、保存会及び各集落の活動に対して支援を行う。	・伝統文化学習の日の開催(毎月第3水曜日) ・各支部・団体への支援(6団体) ・伊平屋島記念公演(人間国宝の独演会)の開催	伝統文化教室への参加率 100% 伝統芸能演舞者数 80名 来場者数 300名	【今後のスケジュール】 児童・生徒の要望等も鑑み多様な学びの機会を提供する。長期的な展望をもち、継続して後継者を育成する。 今後も、芸能保存活動並びに独演会等の企画運営を支援していく。	【R2年度目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	特別支援教育支援員配置事業	H25～H33	特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。また、児童生徒の学力に応じた学習指導を行うことで学力及び学習意欲の向上を図る。	・特別支援を必要とする児童へ支援員の配置 1名 学習支援員の配置 3名	対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか(80%以上)を含め、当事業のあり方を検証する。 沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校(国語・算数・理科) - 5.9ポイント以上 中学校(国語・数学・理科・社会・英語) - 2.7ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒に応じた支援指導を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善、学力及び学習意欲向上を図る。	【R2年度目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	英語学習支援事業	H25～H33	海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材を育成する。	・海外短期留学(アメリカ)派遣 3名 ・イングリッシュキャンプ開催 30名	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に海外での生活体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材育成を図る。	【R2年度目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
3	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26～H33	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(小学生9回・135名) 島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(中学生6回・324名)	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に島外で実施される各種大会への参加を支援し、児童生徒に広い視野を持たせる。	【R2年度目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
3	伊平屋島起業家人材育成事業	H26～R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	・商品開発を通じた生徒への研修 ・パッケージデザイン決定 ・本島への職場体験(商品の販売)及びマナー講座 ・商品開発、職場体験を通じた発表会	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(85%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的にキャリア教育を実施し、児童生徒の就業意識向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	幼稚園預かり保育支援事業	H24～R3	保護者の育児における負担軽減を図るため、預かり保育を実施する。	嘱託保育士配置 1名	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児における負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に預かり保育を実施し、保護者の育児における負担の軽減を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が育児における負担感が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。	
4	自動車航送コスト負担軽減事業	H24～R3	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、自動車航送に係る運賃の支援を行う。	自動車航送運賃の低減 R1年度:年間6,300台	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光地等クリーンアップ事業	H24～R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設等の美化緑化作業を実施する。	花木の植栽及び肥培管理：16箇所 緑化除草作業及び海浜清掃：16箇所	観光地等の環境美化を行い、観光地としてのふさわしい景観形成がなされているか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケート調査により本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光施設等の環境美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 島内を訪れる観光客を対象に魅力的な観光地としてふさわしい景観形成が図られたと考えられる値として設定し、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	いぜな尚円王まつり支援事業	H24～R3	伝統文化の継承と観光客の誘致を図るため、いぜな尚円王まつりの開催を支援する。	いぜな尚円王まつりの開催支援	来場者数 2,475人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にまつりを開催し、観光誘客を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	いぜな88トライアスロン大会支援事業	H24～R3	観光客の誘致を図るため、いぜな88トライアスロン大会の開催を支援する。	いぜな88トライアスロン大会の開催支援	大会参加者の満足度(80%以上)を含め、当該事業のありかたについて、アンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 大会参加者が満足することで本村の魅力が伝わり、観光誘客が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24～R3	観光誘客を図るため、尚円王に関する旧蔵品等の整備・復元を行う。	旧蔵品修復・復元業務	旧蔵品を活用した祭事への来場者数 250人以上	【今後のスケジュール】 計画的に旧蔵品等の整備・復元を行い、観光誘客を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 R1の実績を勘案して設定した。	
1	伊是名モータースポーツ支援事業	H26～R3	観光客の誘致を図るため、モータースポーツ大会の開催を支援する。	ドラックレース大会の開催:1回 スーパードリフト大会の開催:1回 ジムカーナ大会の開催:1回	来場者数 415人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	いいな運天港いちゃり場まつり支援事業	H26～R3	観光客の誘致を図るため、いいな運天港いちゃり場まつりの開催を支援する。	いいな運天港いちゃり場まつりの支援	来場者 1,121人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にまつりを開催し、観光誘客を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24～R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観形成活動を行う団体に支援する。	景観形成への支援 団体支援 5団体	観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、観光地としての魅力向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			尚円王マラソン大会支援事業	H28 ～ R3	観光客の誘致を図るため、尚円王マラソン大会の開催を支援する。	伊是名尚円王マラソン大会の開催支援	島外からのエントリー者数 231人	【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R3	村民に対し、フェリー自動車航送運賃を軽減し、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	自動車航送往復船運賃(伊是名運天港)の負担軽減	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して自動車航送往復船運賃の負担軽減し、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 事業の目的である沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証するものとした。数値については、概ね肯定的であると考えられる数値として80%以上を設定した。
2			定住促進住宅整備事業	H30 ～ R3	1ターン・リターンによる移住者等の定住促進を図るため、定住促進住宅を整備する。	定住住宅の整備(仲田区)	入居世帯数:2世帯	【今後のスケジュール】 今後も計画的に整備し、定住促進を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 定住促進住宅への入居世帯数を設定することで、定住促進の目的が達成されていると考え設定した。
3			人材育成事業(日高小との交流事業)	H24 ～ R3	児童に広い視野を持たせるため、伊是名小学校6年生を北海道に派遣し、日高小学校との交流学习・体験学習を実施する。	日高小学校との交流・体験学習の実施 児童:10人 引率者:5人	保護者へのアンケートで、県外での交流により、児童の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に交流・体験学習を行い、人材育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	島外教育活動への派遣費の支援 活動団体数:7団体	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験ができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、人材育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が島内ではできない経験ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R3	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	保育士の雇用:2人	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に雇用し、保護者の負担感の軽減を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が負担感の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	小学校:ジョブシャドウイングの実施 小学校5年生:18人 中学校:職場体験学習の実施 中学校2年生:14人	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に体験学習等を実施し、人材育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	学習支援事業	H24 ～ R3	学校への学習支援員の配置及び放課後教室・学習塾の開講を行い、学力の向上を図る。	週4日程度の学習塾を開講 学習支援員の確保:3人	令和元年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -11.4ポイント以上 中学校 -0.2ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習塾を開講し、人材育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	伊是名村土づくり支援事業	H24 ～ R3	さとうきびの生産量の増加を図るため、ほ場に堆肥の散布を行う。	堆肥導入数量:2,000t	さとうきびの単収 5,600kg	【今後のスケジュール】 今後も継続的に堆肥を導入し、生産物の増量を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	伊是名村優良繁殖雌牛導入促進事業	H25 ～ R3	畜産業の振興を図るため、肉用牛繁殖農家等に対し、導入費用の一部を支援する。	優良繁殖雌牛導入頭数:5頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合107%以上	【今後のスケジュール】 計画的に繁殖牛を導入し、畜産振興を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			優良雌牛導入事業	H26 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛を導入する畜産農家または優良繁殖雌牛を導入し農家へ貸付を行う団体に対し、導入に係る経費の支援を行う。	R2導入目標:60頭	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:105%以上	【今後のスケジュール】 R3までの導入頭数(累計):510頭	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			久米島紬販売促進事業	H24 ～ R3	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、久米島紬事業協同組合が実施する販促活動を支援する。	物産展等への出展 呉服店(問屋)へのセールス 新商品開発(6反)	久米島紬及び関連商品の年間売上高 反物売上額 6,150万円以上 小物売上額 1,550万円以上	【今後のスケジュール】 久米島紬に係る商品の売上増加に繋げる。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			久米島特産品販路開拓事業	H25 ～ R3	島の特産品の売上増加を図るため、久米島商工会が行う特産品の販促活動やPR活動へ支援を行う。	県内外での物産展開催、出展(7回) 特産品紹介パンフレット製作(英語版:10,000部)	開催、出展した物産展における島特産品の販売額:3,165万円以上	【今後のスケジュール】 島特産品の売上増加を図るため、県内外で開催される物産展へ出展する事業所を支援する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			久米島観光誘客支援事業	H26 ～ R3	観光客の利便性確保を図るため、久米島空港内に観光案内所を設置し観光案内等を行う。 また、観光地としての知名度向上を図るため、観光広報活動として「久米島観光の日」イベントの開催や各種観光イベントへ出展し、PR活動を行う。	・久米島空港観光案内業務 ・観光広報活動(「久米島観光の日」イベント開催、県内イベント出展4件)	来島した観光客へアンケートを実施し、観光案内所があることで利便性が確保されていると回答した割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 島外でのイベント来場者にアンケートを実施し、久米島に旅行で訪れてみたいと回答した割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 策定した第二次久米島観光振興計画に基づいた観光入域数の目標達成に向けて、観光振興施策を実施する。 【目標】 ・R2 118,000人 ・R3 122,000人	【R2成果目標設定の考え方】 アンケート対象者の大多数にとって利便性が確保された、観光地として認知されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
3			体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ R3	観光関連商品の売上増加を図るため、観光体験プログラムの開発及び販売促進を行う。	・観光体験プログラムの販売促進	観光体験プログラム売上額 17,393,921円以上	【今後のスケジュール】 ピーク期以外のシーズンに訪れる観光客数の底上げをし、観光入域数の平準化を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ～ R3	久米島へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。	交流人口を対象とした航空運賃割引の実施	久米島町への観光入域者数:118,000人以上	【今後のスケジュール】 ・第二次観光振興基本計画に基づき、入域観光客数の増加を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 久米島町観光振興基本計画に基づき設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	子育て支援事業	H28 ~ R2	町民や観光客等が安心して遊べる場所を提供し、利便性の確保を図るため、公園(児童遊園)を整備する。	公園整備工事の実施	公園整備工事の完了	<p>【R3成果目標】</p> ・当該施設の整備により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	<p>【R3成果目標設定の考え方】</p> ・利用者の大多数にとって利便性が確保されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
4	防災情報収集発信体制整備事業	H29 ~ R2	災害時における町民及び観光客等の安全を確保を図るため、災害発生時における情報の収集及び発信を効率的・効果的に行うための防災情報システムを整備する。	防災情報システム機器整備実施	防災情報システム機器整備の完了	<p>【R3成果目標】</p> 町民及び観光客等が参加する避難訓練を実施(1回以上/年)し、参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか(80%以上)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。	<p>【R3成果目標設定の考え方】</p> 大多数の参加者が安全・確実に避難行動をとることができたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
5	文化遺産保存活用事業	H24 ~ R3	地域の歴史文化の継承を図るため、古文書の修復及び翻刻並びに口語訳を行う。	・古文書修復 件数:230件 ・翻刻・口語訳 件数:30件 ・修復資料速報展示を行う	・修復を行った古文書の利用件数120件以上 ・調査利用者5名 以上 ・修復資料の見学者数4300人以上	<p>【今後のスケジュール】</p> 修復した割合 R2年度:86% R3年度(最終年):100% 翻刻・口語訳した割合 R2年度:90% R3年度(最終年):100% 修復した古文書の公開活用	<p>【R2成果目標設定の考え方】</p> 過去の実績を勘案して設定した。	
6	英語指導員配置事業	H24 ~ R3	小学生の英語への興味・関心を高めるため、小学校に英語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	英語指導員を配置し、外国語授業等での支援実施	管内6小学校の児童が英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】</p> ・中学校の外国語教諭とより連携を密にし授業改善(内容・単語・センテンス等)について検討する。 ・アンケートにより本事業のあり方について検証する。	<p>【R2成果目標設定の考え方】</p> ・対象児童の大多数が興味・関心が高まったと考えられる数値として設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ R3	児童の学力向上を図るため、小学校に学習指導員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を対象とした学習支援を行う。	基礎学力学習支援員を配置し、学習支援を実施	・沖縄県達成度調査において、国語・算数で 中学年(3年生・4年生) 県平均+8点以上 高学年(5年生・6年生) 県平均+1点以上にする。	【今後のスケジュール】 継続実施し、更なる学力向上を目指す。中学年までは県平均以上であっても高学年になり県平均以下となる傾向がある。落ち込みのある教科の原因分析をしっかりと行い、学習支援のあり方について検討していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
6	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を各学校に配置する。	特別支援教育支援員を配置し、必要とする児童生徒の支援を行う。	・特別支援教育支援員の対応への満足度(85%以上)を含め、対象児童生徒の保護者へのアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、困難を抱える児童生徒に対して支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
6	児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を確保し、生徒に広い視野を持たせるため、課外活動として島外で開催される各種大会・コンクールへ参加する生徒に対し、派遣旅費の支援を行う。	中学校の課外学習である久米島町外開催の各種大会等への渡航費用等への補助金支給。	派遣によって生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 派遣旅費の補助により多くの生徒に派遣機会をもたらす。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者児童・生徒の大多数が広い視野を持ってたと考えられる数値として設定した。 また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	R2成果目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		八重瀬町国際交流人材育成事業	H24 ~ R4	海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成するため、中学生をハワイに派遣する。	海外短期派遣生徒数 12人	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方について検証する。	【今後のスケジュール】 海外短期派遣生徒(累計) R3年度:120人 ・派遣者のみならず、報告会等の実施による波及効果により町内の児童生徒の英語への学習意欲を高める	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が生徒の国際的な視野が広がったと考えられる数値として設定。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		八重瀬町少年少女人材育成交流事業	H26 ~ R4	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外の児童生徒との交流を実施する。	(夏)児童生徒交流者数 12人 (冬)児童生徒交流者数 42人	保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童生徒の視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方について検証する。	【今後のスケジュール】 R2~R3 延べ派遣者数162人	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が児童生徒の視野が広がったと考えられる数値として設定。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ~ R3	小中学校の発達過程に応じ、外国文化への興味関心や英語能力を高め、国際化社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、英語指導助手を配置する。	英語指導助手:5人配置 小学校4校: (3人配置し分担) 中学校2校: (2人配置し分担)	小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差 ±0ポイント以上	【今後のスケジュール】 小中学校全ての児童生徒に外国語にふれ合う機会を与える。 ・英語興味・関心アンケート調査の実施・話すこと、書くことコミュニケーション能力の定着を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 英語に対する興味・関心度をアンケートにより数値化し、また、学力到達度テストにより本町と本県の児童の学力の差を計ることで本事業のあり方を検証する。
1		八重瀬町ICT支援員配置事業	H24 ~ R3	児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図るための支援を行い、教員による電子黒板などのICT機器を活用した分かりやすい授業が展開できるよう支援を行うため、小中学校にICT支援員を配置する。	ICT支援員:2人配置 小学校4校・中学校2校へ2人配置し巡回	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ICT支援員の配置を継続し、教員のICT活用力向上のために、わかりやすい授業支援については教員の補助等に努め、自立した授業が行えるよう取り組んでいく。	【R2成果目標設定の考え方】 授業が分かりやすかったかをアンケートにより数値化し、ICT機器を用いた授業の活用度を計ることで本事業のあり方を検証する。
1		八重瀬町学力向上支援事業	H25 ~ R3	学習の遅れがちな児童生徒へ授業中や放課後学習の支援を行い、基礎基本の学力を定着させ学力の向上を図るため、小中学校へ学習支援員を配置する。	学習支援員:14人配置 小学校4校:9人配置 中学校2校:5人配置	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数) ±0ポイント以上 中学校(国語・数学) -1.6ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も同様な人数の確保及び増員をし、引き続き支援体制を維持し基礎学力の定着を図り、全体の底上げを目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 学力到達度テストにより本町と本県の児童の学力の差を計ることで本事業のあり方を検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
1		八重瀬町特別支援員配置事業	H27 ～ R3	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を配置する。	特別支援員を30人配置 幼稚園:14人配置 小学校4校:10人配置 中学校2校:6人配置	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して特別支援員を配置し、特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 特別支援員の対応に満足したかをアンケートにより数値化し、本事業のあり方を検証する。
1		切磋琢磨学力パワーアップ事業	H26～ R3	生徒の学力の向上を図るため、町内中学生に対して放課後や休日等に学習支援を行う。	町内中学校で各種講座の実施する。 ・平日(放課後)講座 ・長期休業中講座 ・定期テスト補習講座 ・高校入試模試	沖縄県学力到達度調査(国語・数学)において町平均正答率と県平均正答率の差を-1.6ポイント以上にするを目標とする。	【今後のスケジュール】 個別指導の充実などにより基礎学力の定着を確実にし、全体の底上げを図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
1		ICT教育強化事業	H26～ R3	各小中学校へ電子黒板を配置したが、未設置の教室がある為、引き続き配置しICT活用状況と学力の向上を図る。 また、タブレット及び無線環境を整備することにより情報活用能力の促進を図る。	ICT機器の整備 ・電子黒板6台 ・電子黒板用PC6台 ・タブレット端末240台 ・無線AP102台 ・タブレット端末充電保管庫6台	・町内小中学校の教室への電子黒板及びパソコン導入率100%を目指し整備を進める。 ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合「80%以上」を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ICT機器等を活用した授業を実施する中で児童生徒の授業に対する興味・集中力を高めるとともに、情報活用能力の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 児童生徒の大多数が分かりやすい授業の展開が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
2		八重瀬町イベント事業	H24～ R3	伝統芸能の継承と観光客の誘致を図るため、町内イベントの開催支援を行う。	下記イベントの開催支援。 ・八重瀬町青年エイサー祭り ・やえせ桜まつり	開催支援を行ったイベントへの来場者数 19,900人以上	【今後のスケジュール】 引き続き、地域資源を活用したイベントの開催支援を行うとともに、実施体制・内容の検証、イベント内容の見直しを行い、観光客の誘致・町産品PRを実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		八重瀬町観光地美化作業事業	H24～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観光地:13箇所 アクセス道路:45箇所	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して美化清掃を行い、観光地としての魅力向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として、ふさわしい景観及び道路環境であると数値として設定。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2		港川フィッシャー遺跡整備事業	H24～ R2	港川人の出土地である「港川フィッシャー遺跡」の教育及び観光資源としての活用に向けて周辺整備を行う。	・港川遺跡公園整備工事 ・港川遺跡公園便益施設新築工事 ・港川遺跡公園便益施設設計監理業務委託	港川遺跡公園の整備完了	【R3成果目標】 観光、研修等で訪れた方を対象にアンケート調査を実施。観光地、学習施設としての満足度を調査する(満足度80%以上)	【R3成果目標設定の考え方】 教育・観光資源として活用できているか満足度調査を行う。 概ね肯定的であると考えられる値として目標値を設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			運動公園施設等整備事業	H24 ～ R3	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。	・サッカー場プロ仕様芝生整備 ・寒冷地型芝生種子等の購入 ・野球場防球ネット改築工事	・野球キャンプの受入れ 5件以上 ・サッカーキャンプの受入れ 3件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して運動施設の整備を行い、スポーツキャンプの誘致を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			八重瀬町サッカーキャンプ事業	H26 ～ R3	本町でキャンプを行うチームとの事前受入調整を行いキャンプ受入時に必要なものを揃える。また、チームの集客力を活かした誘客と来場者が町内周遊できる仕組みづくりを実施する。	・サッカーキャンプの誘致 ・観光客の誘客と周遊・消費を促す	・サッカーキャンプチーム3チーム誘致 ・周遊ツールを活用し、150万円以上の消費を促す。	【今後のスケジュール】 キャンプチームの定着を図り、誘客のプロモーションを強化する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ R3	町内への観光誘客のため、観光プロモーションを実施する。	・プロモーション企画実施 6回以上 ・SNS等による情報発信 100回以上	主要観光施設の入域客数 290,000人以上	【今後のスケジュール】 今後も八重瀬町観光拠点施設を中心とした誘客プロモーションを継続し、観光キャラクターや地域資源を活用した観光PRを実施することにより、観光地としての認知度向上及び八重瀬町観光ブランドの構築を図る。	【R2成果目標の設定の考え方】 平成30年度の八重瀬町観光拠点施設の実績を勘案し設定した。 H30実績：約263,000人
4			八重瀬町地産地消費フェア事業	H26 ～ R3	町民や観光客等に町産品を広く知ってもらうため、地産地消費まつりへ支援を行い、農林水産業の振興を図る。	・地産地消費まつり開催支援 ・農作物のPR	・地産地消費まつり来場者数：4126人以上	【今後のスケジュール】 八重瀬町の認知度向上、農作物のPR効果を測定し、今後の事業展開を適切に見直していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			八重瀬町和牛改良支援事業	H31 ～ R3	農家の経営安定化に向けて子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入頭数：25頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して県内外の優良母牛の導入を行うことで、価値の高い子牛を生産し、町のブランド牛としての確立を図っていく。	【R2成果目標設定の考え方】 本事業の目的は子牛のブランド化であるが、子牛の価値を測るセリ価格等は、他の要因に影響されるため、代替の指標として、優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を確認することにより、ブランド化の進捗状況が把握可能となるものと考え設定した。 数値は過去2ヶ年の実績の平均値を踏まえ設定した。

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
4		乳用牛改良支援事業	H29 ～ R3	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付ける者に対し支援を行う。	優良乳用牛導入頭数：30頭	生産乳量：4,680,000kg以上 乳質(脂肪率)：4.0%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して優良乳用牛の導入を行うことで、生産乳量の増加、乳質の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 本事業の目的は、生産乳量の増加と乳質の向上により経営安定を図ることであるので、過去実績の増加量を維持していくことを目指して設定した。
5		「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ R3	八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手の活躍を支援する。	バスケットボール・陸上のクリニック開催 児童生徒の県外派遣費の助成	スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持ってたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続してトップアスリートによるスポーツ教室を開催し、児童生徒のスポーツへの意識を高める。また、県外で実施される各種大会参加への支援を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。	【R2成果目標設定の考え方】 スポーツへの意識や広い視野が持てたかを数値化し本事業のあり方をアンケートにより検証する。
6		運動公園省エネ化推進事業	H28 ～ R3	運動公園の既存照明をLED化することにより、二酸化炭素と消費電力を削減し、地球温暖化の防止を図るため運動公園の省エネ化の推進を図る。	東風平運動公園野球場のLED照明設置及び具志頭運動公園多目的広場のLED照明設置に係る設計	東風平運動公園野球場の1ヶ月あたりの二酸化炭素排出削減量3.3t/月	【今後のスケジュール】 R3 東風平運動公園外灯取替工事・具志頭運動公園多目的広場照明取替工事	【R2成果目標設定の考え方】 二酸化炭素排出量を勘案して設定した。
7		若い世代からの健康づくり推進事業	H31 ～ R3	健康相談や育児教室等の保健事業にて実物大のフードモデル(食育SATシステム：体験型栄養教育システム)を活用し、事業参加者の食に対する意識や健康観の向上を図る。	食育SATシステムを活用した理解しやすい事業の展開	各種事業参加者の食に対する意識や健康観の向上(80%以上)を含め、アンケートにより当事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 アンケート調査による事業の検証を行い、継続的にSAT(体験型栄養教室システム)を各保健事業にて有効に活用し、沖縄県や町の現状を伝え、食や健康に関する意識を高め、生活習慣病の予防を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 参加者のうち大多数が食に対する意識や健康観の向上が図られたと考えられる値として設定した。また本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8		八重瀬の沖縄戦資料収集調査事業	R1 ～ R2	前年度で収集した証言や資料を元に平和学習に関する企画展の開催と報告書の作成を行う。	収集した資料をもとに、展示会を1回開催する。 ・報告書(200頁～300頁程度)を200部印刷する。	八重瀬の沖縄戦について後世へ伝えるために収集してきた資料を活用して展示会の開催と報告書の活用を行うが、展示会についてアンケートを実施し、興味関心度が高まったかどうか(80%以上)を目標とし、報告書については、八重瀬の沖縄戦について調査・研究、学習などに活用できるような資料の作成を目的とする。	【今後のスケジュール】 調査で得られた八重瀬の沖縄戦についての情報は、毎年行われる学校の平和学習や展示会などの基礎資料として、学生をはじめ一般の方々に広く公開する予定。	【R2成果目標設定の考え方】 戦争体験者が高齢化しており証言や資料を収集するのが年々困難になってきている中、R1で調査した資料を整理しまとめ、報告書の刊行につとめる。

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
9		「義人謝花昇」映像資料制作事業	R2 ～ R3	八重瀬町の偉人、謝花昇生誕155年の節目に、幅広い世代に向けた映像コンテンツを制作、放映、各教育機関また公共機関で継続的に映像を使用し、偉人顕彰の機運を醸成する。	・映像資料制作の実施 ・町内4小学校、2中学校で学習教材として活用 ・観光拠点施設で、放映 ・町内34自治会で上映会実施	授業実施後、地域の偉人に対する理解度等の向上(80%以上)、観光拠点施設で視聴後、八重瀬町に対する印象、興味関心度が高まったか(80%以上)自治会上映会後、地域の偉人に対する理解度、地域に対する愛着心が高まったか(80%以上)を含めアンケートにより当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 映像資料を、教育現場や観光資源として活用する。 謝花昇記念館建設後の重要な展示物として活用する。	【R2成果目標設定の考え方】 これまでの地域の偉人に対する刊行物や展示資料学習に加え、新たに分かりやすい映像資料を活用し児童生徒の理解度等の向上を図る。 観光資源としては、訪れた観光客に対して、沖縄県の自由民権等に関わる偉人として新たに認識してもらうことで、印象や興味関心の向上を図りたい。 各自治会において多くの町民に視聴していただき、地域への愛着心等の向上を図る。
10		輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R3	近年沖縄県内において、外国からの観光客が急増しており、麻しん及び風しんの感染拡大が懸念されることから、効果的な予防対策として、予防接種事業をさらに強化することにより、感染症の蔓延防止を図る。	・麻しん及び風しん予防接種の実施(接種率95%以上)	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	【今後のスケジュール】 流行による感染拡大が起らないよう、引き続き対象者への接種勧奨を積極的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 感染拡大を防止するために必要な接種率は95%以上であることから、目標値として設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	美化緑化推進事業	H25 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行う。	公園9ヵ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用できるように取り組む。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 来村者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観及び道路環境と感じていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ～ R2	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。	優良繁殖雌牛の導入頭数:20頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合121.6%以上	【今後のスケジュール】 H27～R2の5年間で95頭の優良繁殖雌牛の導入計画達成に向けて推進していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	児童生徒島外教育諸活動助成事業	H27 ～ R3	島外の人と競争や交流する機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、本村の児童生徒がスポーツ、文化活動において、島外へ派遣される際の渡航費を支援する。	児童生徒の島外派遣に係る渡航支援	派遣された児童・生徒及び教諭、保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒が広い視野を持つことを目標に大会派遣への支援を行う	【R2成果目標設定の考え方】 派遣対象児童生徒のうち大多数が広い視野を持たたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	学力向上推進ALT活用事業	H27 ～ R3	児童生徒の英語への興味関心や英語学力の向上を図るため、ALTを招聘する。	ALT招聘:年間20回	小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 中学校 英検4級の保有割合:30%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にALTを活用し、国際化社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 (小学生) 対象児童のうち大多数が英語に対する興味関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 (中学生) 過去の実績を勘案して設定した。	
3	村営学習塾開設事業	H28 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数(数学)・英語を中心とした学習支援を実施する。	村営学習塾の開設	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -5ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語) -6ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に村営学習塾を開設し、学習支援員(2名)を配置することにより、効果的に学習できる環境を整え、学校外学習支援を強化することで、児童生徒の学力向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			多良間中学校グラウンド全天候型改修事業	H29 ～ R2	村民等の交流機会や運動機会の確保を図るため、多良間中学校グラウンドを全天候型に改修する。	施設整備工事の実施	整備工事の完了	【R3成果目標】 村内で開催する大会の雨天後のグラウンド環境の悪化による中止・日程変更等の回数 0回 年に1回以上グラウンドを利用した村民の割合60%以上 【今後のスケジュール】 令和2年10月供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			多良間村就業意識向上支援事業	H30 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、職業体験等のキャリア教育を行う。	・沖縄本島へ小学6年生(15名)、引率者(5名) ・宮古島市へ中学1年生(10名)、引率者(5名) ・沖縄本島へ中学2年生(8名)、引率者(5名)	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的にキャリア教育を行い、児童生徒の就業意識の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象児童のうち大多数の就業意識が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			多良間村自然文化継承事業	H30 ～ R3	多良間村の歴史・文化・自然の継承及びこれらを活用した観光誘客を図るため、ふるさと民俗学習館の郷土資料の修復や自然環境の調査等を行い、資料を整理する。	・郷土資料等の修復、公開及びシンポジウム開催 ・自然図鑑の制作発行	ふるさと民俗学習館の村民利用者数 182人以上 ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 651人以上 シンポジウム来場者数 60人以上	【今後のスケジュール】 R3年度 修復電子化・現代語訳・WEB公開システム作成・資料の翻刻・解説版の出版・企画展等	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			多良間村自動車航送コスト負担軽減事業	H27 ～ R3	村民が島外へ移動しやすい環境を構築することで、小規模離島における定住環境の改善を図るため、村民の自動車航送に係る運賃の一部を補助する。	宮古島 多良間島間の自動車航送運賃の補助	運賃補助によって島外へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 自動車航送コストの負担軽減により、離島の地理的条件の不利性を軽減し定住環境の改善に繋げる。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって宮古島へ移動しやすい環境となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5			多良間村防災体制構築事業	R2	災害時における村民及び来訪者の安全・安心を確保するため、地域防災計画及び各種対応マニュアル等の見直し、策定を行う。	・地域防災計画の見直し ・職員初動マニュアルの見直し ・津波避難計画の作成 ・防災マップの作成 ・避難所運営マニュアルの作成	地域防災計画・職員初動マニュアル・津波避難計画・防災マップ・避難所運営マニュアルの策定完了	【R3成果目標】 計画をもとに避難訓練(1回/年)を実施し、安全に避難及び避難誘導できたか(90%以上)を訓練参加者及び職員を対象にアンケート調査により確認する。	【R3成果目標設定の考え方】 マニュアル等策定後、初の訓練となることを勘案し、適切な対応をとれた住民・職員の割合の目標として90%以上と設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1		西表東部公園整備事業	H29 ~ R3	西表東部に公園を整備し、地域住民の福祉の向上を図る。	公園整備工事、トイレ(追加分)設計の実施	公園整備工事、トイレ(追加分)設計の完了	<p>【R3成果目標】 大部分の供用開始後1年目(令和3年度)の目標を以下のとおりとする。施設利用者満足度(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。</p> <p>【事業スケジュール】 H29 西表東部公園基本設計 H30 西表東部公園実施設計 R1~R3 西表東部公園整備工事</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が施設に満足していると考えられる値として設定した。また、当該施設のあり方について、アンケート調査により検証する。</p>
1		健康診査用機材搬送事業	H26 ~ R3	島嶼地域において健康診査を受ける機会を確保し、健康診査の受診促進を図るため、検診に必要な検診車両を各島へ海上輸送する。	<p>集団検診時に検診車両を輸送</p> <p>年3回×5島6地区=18回 ・がん検診、健康診断 ・婦人がん検診 ・胃がん検診</p> <p>石垣発 竹富島 黒島 小浜島 波照間島 西表島(上原) 西表島(大原)</p>	<p>特定健診対象者の受診率 60%以上</p> <p>婦人がん検診対象者の受診率 31.5%以上</p> <p>胃がん検診対象者の受診率 13%以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 令和2年度の各種健診実施について、早期にスケジュールの確定を行い、各種お知らせ、広報誌、インターネット、SNSを通じて広く告知をし、成果目標の達成を図る。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 国が定めている特定健診受診率の目標値及び過去の実績を参考に設定した。</p>
1		竹富町民等船賃負担軽減事業	H27 ~ R3	町民が島嶼間を移動しやすい環境を整備し、生活の利便性を確保するため、町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃の一部を補助する。	町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃の一部を補助する。	本事業について、利用者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 運賃補助による利便性確保状況を検証しながら、より効率的・効果的で持続可能な住民の利便性確保策を検討する。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。</p>

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			複合型福祉施設整備事業	H27 ~ R3	保護者の育児負担の軽減、児童の就学前教育機会の確保及び高齢者の健康増進を図るため、保育所、幼稚園及び高齢者の交流施設の各機能を含んだ複合型福祉施設を整備する。	解体工事、仮設工事、建設工事、(西表上原)	建設工事の完了(西表上原)	<p>【R3成果目標】 整備完了後(令和3年度)の目標を以下のとおりとする。 (保育所機能) 本事業について、保育利用児の保護者へアンケートを行い、育児負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 (幼稚園機能) 本事業について、幼稚園機能利用児の保護者へアンケートを行い、児童の教育機会が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 (高齢者交流機能) 介護認定率20%以下</p> <p>【今後のスケジュール】 西表上原 R2: 建設工事 R3: 供用開始 小浜、竹富 R3: 建設工事 R4: 供用開始</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 (保育所機能、幼稚園機能) 利用児の保護者のうち大多数が「育児負担が軽減された」、「教育機会が確保された」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 (高齢者施設) 過去の介護認定率の実績を勘案して設定した。</p>
2			竹富町観光誘客・受入対策事業	H24 ~ R3	滞在型・着地型観光を推進し、観光客の満足度の確保を図るため、竹富町観光に関する情報発信や受入体制強化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光関連イベントに出展PR ・自然・文化を活用した観光案内を行う ・人材の育成 ・町内での消費を促すポイントカードシステムの運用 ・観光ポータルサイトの運営 	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、「非常に満足」(5段階評価の最高評価)と回答した割合(60%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 満足度調査を継続的に実施しながら取組の効果を検証し、将来的には観光消費額の目標値を設定して持続可能な観光振興に取り組む。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 半数以上の観光客が5段階評価の最高評価をつけることを目標に設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
2			船浮イダの道散策路整備事業	R1 ~ R2	イダの浜に訪れる観光客等の利便性確保を図るため、船浮集落からイダの浜へのアクセス通路を散策路として整備する。	整備工事の実施	整備工事の完了	<p>【R3成果目標】 アンケート調査により利便性が確保されているか80%以上</p> <p>【今後のスケジュール】 R2 工事 R3 供用開始</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 事業の目的である利用者の利便性確保について本事業に関するアンケートを実施し、効果を測定するものとした。数値については、大多数の利用観光客等にとって利便性が確保されていると考えられる数値として80%以上とした。</p>

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業	R2 ～ R2	竹富町の自然・歴史・文化の継承及びそれらを活用した観光客の満足度向上を図るため、住民の学習機能と観光交流機能を有する複合施設を整備する。	基本構想策定	基本構想策定の完了	【R3成果目標】 策定する基本構想の中で、来館者数等、文化振興及び観光交流に係る目標値を設定し、当該数値の達成に向けた整備につなげる。 【今後のスケジュール】 R2 基本構想策定 R3 基本計画作成・基本設計まで	【R3成果目標設定の考え方】 当該構想で設定した目標値の達成に向け整備事業を実施していくことを成果目標として設定した。	
3	児童生徒派遣費補助事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、児童生徒がスポーツ、文化活動で島外へ派遣される際の渡航費を補助する。	派遣費補助児童生徒人数 600名/年度	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒に広い視野を持たせるを目標に大会派遣への支援を行う	【R2成果目標設定の考え方】 派遣された児童生徒のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	外国語指導助手派遣事業	H27 ～ R3	幼稚園児及び小学児童の外国語への興味・関心を高めるため、小学校と幼稚園に英語指導助手を派遣し、外国語学習のサポートを行う。	英語ネイティブの外国語指導助手を町内幼稚園・小学校に派遣 150回/年度	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒は年度ごとに年次があがっていく、新入園入学・卒園卒業もあるため、継続して取り組む必要がある。各幼稚園・学校教諭へ担当者が日本語でヒアリングを行い、改善点を見つけてより良い体制をつくっていく。	【R2成果目標設定の考え方】 授業を受けた児童生徒のうち大多数が外国語への興味関心が高まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
4	竹富町和牛生産推進事業	H24 ～ R3	町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、農家が優良繁殖雌牛を導入する際の導入費用を支援する。また、離島港湾入口に靴底消毒用マットを設置する。	・優良母牛導入支援 ・離島港湾靴底消毒用マット設置6箇所(竹富、小浜、黒島、波照間、西表大原・上原)	導入した優良母牛から産れた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 114.5%以上	【今後のスケジュール】 発育能力の高い優良繁殖牛の導入を継続して支援し、母牛から産まれた子牛の平均価格の向上を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	文化財美化保全事業	H24 ～ R3	観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光スポットとして観光客が訪れる文化財等の美化保全(除草・清掃)を行う。	美化保全(除草・清掃)業務の実施	事業対象の文化財について、観光スポットとしてふさわしい景観となっているか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 美化保全を引き続き実施しながら文化財巡視や観光コース化等、文化財の活用を図る	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	H24 ～ R4	イリオモテヤマネコの生息環境を保護するため、逸失した飼い猫等によるイリオモテヤマネコへの病気感染等を防ぐ。	逸失ペットの生息状況確認のための調査を実施する。 目撃情報もとに逸失ペットの保護収容を実施する。 保護収容個体及び新規登録個体の各種ウイルス検査等を実施する。 適正飼養普及啓発講演会等を開催する(4回)。 ペット適正使用推進協議会を開催する(1回)。 竹富町ねこ飼養条例の改正に向け、検討会を開催する(2回)。	逸失ペットの発生件数 8頭以内 西表島においてネコの重大な感染症(ネコエイズ、ネコ白血病)の感染個体が新たに確認された件数 0件 適正使用普及啓発講演会(4回)への参加者数 延べ150人以上	【今後のスケジュール】 令和元年度より所有者不明ねこの生息状況の確認調査を実施しているが、取り組みの最終目標である逸失ペットが全ていなくなる状況達成の最終局面に達していると考えられることから、最後まで手を抜かずに取り組んでいきたい。また、最終目標の達成後もその良好な状況を継続していくために、担保となる条例の強化について検討したい。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考		
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		R2成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1			地域振興対策事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」の開催経費の一部を補助する。	カジキ釣り大会の補助(7月) 一周マラソン大会の補助(11月)	イベント開催月入域観光客数 カジキ釣り大会:3,000人(7月) 一周マラソン大会:3,600人(11月) 合計:6,600人	【今後のスケジュール】 今後も継続してイベントへの補助を行い、観光誘客を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1			与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ～ R3	与那国島産品の売上増加を図るため、商工会等が実施する物産展出展や特産品の商品力及び販売力強化の取組を支援する。	講習会の開催、特産品の県内及び県外の物産展への出展 講習会4回 県内出展1回、県外出展1回	全体参加の物産展ごとの売上200万円以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して物産展への出展を行い、与那国島産品の売上増加を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1			与那国町誘客促進活性化事業	H30 ～ R3	与那国島の認知度を向上させ、観光誘客を図るため、県内外において観光誘客プロモーション活動を行う団体に対して活動に係る経費を補助する。	・与那国島観光物産・伝統芸能フェアの開催 ・トップセールスによる空路開拓、商品造成 ・PRツール作成 ・既存事業の内容充実とPR強化 ・観光客意識調査や市場調査等による情報収集と分析	・物産・伝統芸能フェア来場者数 2,500/日*2=5,000人 ・チャーター便確保 25便/年 平均搭乗率70人*25回=1,750人 ・クルーズ船2回/年 平均来島者数300人*2=600人	【今後のスケジュール】 今後も継続して県内外へのプロモーションを実施し、観光誘客を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 類似事業の過去の実績等を勘案して設定した。	
1			与那国町観光地整備事業	H29 ～ R3	観光客等の利便性を確保するため、町内の観光地に便益施設を整備する。	西崎展望台トイレの実施設設計及び整備工事の実施	東崎展望台施設及びトイレ設計業務委託 完了 東崎展望台施設及びトイレ整備工事(解体含む)完了 西崎展望台施設及びトイレ施設整備工事(解体含む)完了	【R3成果目標】 利便性と安全性が確保されたか(80%以上)を含め、トイレ整備について観光客等へのアンケートで検証する。 【今後のスケジュール】 西崎展望台トイレの整備完了後、東崎展望台、ティンダバナ展望台の各景勝地にある観光施設の整備を順次実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2			優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛導入を支援する。	・優良母牛導入の支援:30頭	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して優良母牛導入の支援を行い、子牛のブランド化を推進することで農家の経営の安定化を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
パ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			農水産物輸送コスト負担軽減事業	H25 ~ R3	本町で生産または水揚げされた生鮮農水産物の販路確保を図るため、農水産業団体等が与那国町から沖縄本島への生鮮農水産物を出荷する際の輸送費の一部を補助する。	・生鮮水産物の空路輸送費支援の実施 ・農産物の空路輸送費支援の実施	・生鮮水産物：出荷量に占める沖縄本島への出荷割合：30.4% ・農産物：出荷量に占める沖縄本島への出荷割合：58.8%	【今後のスケジュール】 生鮮水産物及び農産物の出荷量に占める沖縄県内への出荷割合が、過去3年の平均値以上となることを目指し、島外への出荷量を増加させ、農水産業の活性化を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ~ R3	漁業従事者の維持確保を図るため、漁業の担い手に漁船や漁業設備を貸し付ける団体に対し、漁船等の導入費用の一部を補助する。	・漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入支援の実施	・漁業従事者数の維持確保：37人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して与那国町の漁業従事者団体による漁業設備の貸し付けに対して支援を行い、漁業従事者の維持確保を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			家庭学習支援モデル事業	H24 ~ R3	学校外でも学びたい児童生徒の学習環境を整備し、学力向上を図るため、町営学習塾を開設し、児童生徒を対象に学習指導を行う。	・学期末テストの実施(3回) ・タブレットを活用した学習の実施 ・児童生徒の学習進捗に応じた指導の実施	学習塾で実施される学年末テストにおいて、正答率の全国比を以下のとおりとする。 小学生：81ポイント以上 中学生：69ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も児童生徒の学習習慣確立を図るため、町営学習塾を継続して実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			教育諸活動助成事業	H24 ~ R3	島外の人との競争や交流の機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、児童生徒がスポーツ、文化活動で島外へ派遣される際の渡航費を補助する。	令和2年度：230名目標(小学校)令和2年度：300名目標(中学校)(参考：平成30年度実績487名)	保護者にアンケートを実施【アンケート結果】 児童生徒の視野が広がったか(80%以上)	【今後のスケジュール】 今後も事業を継続し、教育環境の充実を図っていく。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			地域国際交流事業	H24 ~ R3	本町の児童を台湾花蓮縣に派遣し地元小学生との交流授業やホームステイ等を実施し、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	・ホームステイの実施：22人 ・テレビ会議システムによる交流授業の実施(派遣前後) ・報告会の実施 ・報告書の作成 ・新聞社へ感想文を寄稿 ・児童、保護者、教員向けの事後アンケート調査実施	事後アンケート調査での「外国・異文化への興味、関心の高まり」の肯定回答(80%以上)を含め、保護者へのアンケート調査により、本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して台湾でのホームステイとテレビ会議システムによる交流事業を実施し、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 当該児童の成長成長を最も身近に感じることができる保護者へアンケート調査を実施することで、本事業の効果を図ることとする。 80%以上の数値設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値とした。

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	H24～R3	中学生を英語圏の語学研修へ派遣し、海外での生活や体験をとおして、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	・研修派遣の実施(4名) ・報告会の実施 ・報告書の作成 ・感想文を新聞社へ寄稿 ・生徒、保護者、教員(校長、担任、英語担当)への事後アンケート調査	事後アンケート調査での「国際社会への興味、関心の高まり」の肯定回答(80%以上)を含め、保護者・教員へのアンケートにより、本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して中学生を英語圏へ派遣し、語学力向上と国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 当該生徒の人格・学力面の成長を最も身近に感じることができる保護者と教員にアンケートを実施することで本事業の効果を図ることとする。 80%以上の数値設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値とした。	
4	安心・安全のまちづくり支援	H25～R3	教育時間終了後の幼稚園児等及び小学校低学年児童の安全な居場所を確保し、子育てに関する負担軽減を図るため、指導員を配置し預かり保育を行う。	○指導員(3名) ○バス運行(燃料費の確保)	利用者にアンケート実施 子育てに対する負担感の軽減が感じられた(85%)	【今後のスケジュール】 子育てへの負担軽減のみならず、指導員の質の向上も図り、子どものみならず、保護者も満足できる環境の整備を図っていく。	【R2成果目標設定の考え方】 本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	少子高齢化対策事業	H24～R3	島内の妊産婦が良質かつ適切な医療を受ける機会を確保するため、妊産婦が島外の病院へ通院する際に必要な渡航費等の経費を補助する。	・妊産婦定期健診の実施 ・妊産婦一人当たり受診回:12回/人	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合 100%	【今後のスケジュール】 平成30年度より高度周産期医療の必要があり、石垣島での出産が困難な状態にあると認められた場合に限り、沖縄本島で出産待機する際の石垣島発の航空券及び宿泊費を助成対象とすることとし、また生まれた児が新生児集中治療室で医療を受けていた期間(30日を限度)の宿泊費を対象とすることで、出産後に起こりえる精神的負担にも対応していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定	
6	公共交通路線支援事業	H24～R3	島内を移動しやすい環境を整え、島民及び来島者の利便性を確保するため、島内を巡回する無料路線バスを運行する。	公共交通路線バス運行費用への支援	利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 生活路線バスの安定的な運営を維持し、島民及び来島者の利便性の確保を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定	
6	与那国町古民家活用型定住促進事業	H26～R3	移住定住促進を図るため、古民家の解体古材を活用した定住促進住宅を整備する。	シニア型住宅1棟の工事の実施	「シニア型夫婦向け定住用住宅」1棟の整備工事了	【今後のスケジュール】 供用開始後1年目(令和3年度)の目標を以下のとおりとする。 島外からの体験型住宅入居人数 2人	【R2成果目標設定の考え方】 シニア型夫婦向け定住用住宅であることから、1世帯2人を基準に設定した。	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。